公表資料

２０２５年３月１７日（月）

定例理事会

会　議　資　料

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会

第１号議案

２０２５年度事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認の件

２０２５年度事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について

２０２５年度事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について、定款第４１条第１項に基づき、理事会の承認を求める。

【参考】
・定款
（事業計画及び収支予算）
第 41 条 協会の事業計画書及び収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
２　前項の書類については、直近に開催される社員総会に報告しなければならない。
３　第１項の書類については、主たる事業所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会

２０２５年度 事業計画書

（２０２５年４月１日から２０２６年３月３１日まで）

２０２５年度の事業計画について、次の視点から策定する。

１ 安全安心かつ円滑な会場運営と来場者輸送の実現
２ さらなる広報・プロモーションによる集客活動の展開
３ 大阪・関西万博の記録の継承と会期後を見据えた業務執行
４ 資源循環に係る取り組み推進とその発信
５ 確実な収納の推進と財政基盤の確立と維持

１ 安全安心かつ円滑な会場運営と来場者輸送の実現

（１）机上リハーサル/テストランの実施

ア テストランは、開幕前に実際に会場を運営し、課題の発見・改善につなげる取り組みとして４月４日～６日に実施する

（２）開閉会式の開催

ア 開会式は、大阪・関西万博の開幕を祝う式典として、開幕前日の 4 月 12 日に、閉会式は、大阪・関西万博の閉幕を祝う式典として、閉幕日の 10 月 13 日に開催する

（３）会場の維持管理

ア 会場内施設等の維持管理に関する発注及び撤去、維持管理及び撤去業務の実施

イ 環境影響評価書・事後調査計画書に基づく事後調査の継続実施

（４）来場者輸送対策の実施

ア 万博来場者の安全・円滑な移動の実施及び働きかけ TDM の実施

（５）会期中における万博ＩＣＴシステム及び万博通信インフラの運用

ア 万博ＩＤを管理するＩＣＴ-ＰＦシステムを安定的に運用する

イ データ利活用参加者サービスの安定運用および可視化したデータの情報提供を行う

ウ 会場内ネットワークの運用及び監視を確実に実施する

エ 会場内での無線機利用に関して、効率的な周波数利用及び良好な電波利用環境の維持管理を行う

オ バーチャル万博会場の催事や配信などの円滑な運用を実施する

（６）会期中におけるサイバーセキュリティ対策

ア 会期中の各システムの安心・安全な運用に向けて、サイバーセキュリティ対策を協会内外と連携して実施する

（７）会場運営の円滑な実施
ア　来場者サービスやサービス施設、サービス提供の実施
イ　情報提供サービスの実施
ウ　ユニバーサルサービス実施
エ　ボランティア活動の管理・運営
オ　AD 証の発行および関係者ゲート（AD 証認証）の運営
カ　清掃・廃棄物処理等、会場管理の実施
キ　営業施設の運営と事業収入の確保
ク　場内輸送の実施
ケ　物流の円滑な実施
（８）会期中の危機管理体制の運営
ア　会場警備対策
イ　災害対策
ウ　医療救護対策
エ　会場衛生対策
オ　危機管理センターの運用
カ　事業リスク対策
（９）迎賓・接遇の実施
ア　賓客接遇の実施
イ　迎賓館運営の実施
ウ　賓客利用施設日本館・ND ホールとの連携実施
エ　賓客の警護体制を危機管理局と連携し実施
（１０）公式参加者への対応
ア　万博の実施に当たり、博覧会国際事務局（BIE）と連絡・調整を行う
イ　公式参加者宿舎を運営し、入居する公式参加者を支援する
ウ　公式参加者支援のためのワンストップショップ（OSS）の運営を軸に、公式参加者に寄り添った形での運営支援を実施する
（１１）公式参加者への展示・運営支援
ア　公式参加者パビリオンの展示・運営及び会期後の撤去がスムーズに行われるよう支援する
（１２）事務局体制の整備・強化
ア　会期中、閉幕後の運営体制の構築
イ　会期中、閉幕後の運営に適した人員配置
ウ　会期中のコンプライアンスの徹底

２ さらなる広報・プロモーションによる集客活動の展開

（１）戦略的ＰＲの継続実施

ア　各種メディアを活用した広報の継続実施

イ　メディアセンター、サテライトスタジオ及び会場内放送設備の運用・活用の推進

ウ　公式 Web サイト、公式 SNS 等での多言語展開による国内外への情報発信

エ　海外広報・プロモーションの継続実施

オ　自治体や関係団体等と連携したプロモーション活動の推進

カ　意義のある万博教育旅行実施に向けた情報提供・受け入れ準備

キ　万博を契機とした日本全国の観光推進

（２） 機運醸成のための各種プログラム、イベントの実施

ア　ミャクミャクの活用（来場者撮影スポット・事務局の運営など）

イ　会場内外オフィシャルストアの運営

ウ　アンバサダー、スペシャルサポーターや公式テーマソングを活用した機運醸成活動の実施

エ　協会ＩＰ（ロゴマークやキャラクター等）を活用したライセンス事業の展開

オ　広報・プロモーション協賛などによる万博ＰＲの拡大

カ　「TEAM EXPO 2025」プログラムの推進

キ　「TEAM EXPO パビリオン」の運営

（３）シグネチャープロジェクトの発信

ア　会期中のシグネチャーパビリオンの運営や接遇を確実に実施、また、シグネチャーイベントを計画通り実行することで、来場者に対して万博のテーマについての深い理解を促す

イ　テーマ事業プロデューサーのメディア露出など効果的なプロモーション活動を実施することで、機運醸成をはかり万博全体の集客増につなげる

（４）未来社会ショーケース事業の発信

ア　開幕後の更なる万博の機運醸成を図るため、未来を感じさせる次世代技術や社会システムを体験できる未来社会ショーケース事業の内容をウェブやイベントで発信する等、効果的なＰＲ活動を展開して集客につなげる

（５）イベントの円滑な運営、情報の発信

ア　会期中のイベント（参加催事）を安全かつ円滑に実施する

イ　開会式、協会主催者催事、閉会式を安全かつ円滑に実施する

ウ　イベントの効果的なＰＲ活動を継続し、会期中の来場者増加につなげる

（６）企業・団体等の参加促進

ア　企業・団体等は、ともに万博の成功を目指すパートナーであり、万博の盛り上げのため、協賛事業ＰＲ活動の推進、来場の促進、万博レガシーの検討等を行う

イ　民間パビリオン出展参加者とともに、パビリオンをより多くの来場者に体験してもらい、

万博の魅力を発信する

ウ　キャッシュレス決済及び EXPO 2025 デジタルウォレットサービスを効率的、効果的に運営する

（７）入場券・パビリオン予約に関する取組

ア　販売体制の充実

イ　入退場ゲートの円滑な運用

ウ　販売戦略の遂行

エ　パビリオン・イベント予約制度の運用

（８）テーマウィークの発信

ア　協会主催のテーマウィークプログラム「アジェンダ 2025 主催プログラム」の実施

イ　テーマウィークスタジオでのテーマウィークプログラムの円滑な実施

ウ　テーマウィークプログラムの魅力発信やアーカイブ化

３ 大阪・関西万博の記録の継承と会期後を見据えた業務執行

（１）各種記録の保存に係る取組

ア　公式記録集（書籍・映像）の編集業務の円滑な実施

イ　公式記録の撮影業務の円滑な実施

ウ　各種記録の収集、保管の実施

エ　レガシーの記載

（２） データ利活用の取り組み推進

ア　データ連携の推進と安全な運用

イ　データの見える化とノウハウの社会還元

（３） 会期後を見据えた適切な会計業務の実施

ア　関係法令や会計基準に則り、適切な決算処理を行う

イ　専門家等の意見を仰ぎながら、会計検査等に適切に対応する

４ 資源循環に係る取り組み推進とその発信

（１）持続可能性管理システム（ESMS）の運用

ア　ISO20121 の認証を踏まえ、個別の取組・指標及び万博全体の指標に係る取組について、進捗管理を図り、ESMS を運用する

イ　物品やサービスの調達プロセスにおける持続可能性への配慮を図るため、持続可能性に関する基準や担保方法等を定めた調達コードを運用する

ウ　大阪・関西万博に係るあらゆる人の人権を尊重し、博覧会協会の人権方針に従って、人権デューデリジェンスを実施する

（２）会期後の財産処分のための体制整備

ア　リユース・リサイクルのあり方検討

イ　マッチングプラットフォームの効率・効果的運用

（３）SDGs の取り組みの継承

ア　ジュニア SDGs キャンプの実施

５ 確実な収納の推進と財政基盤の確立と維持

（１）財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行

ア　博覧会基本計画に沿った資金の調達

イ　予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減、収支管理

ウ　収納債権管理の円滑運用

（２）財政基盤強化に向けた具体的な資金調達

ア　寄附金の目標金額の達成に向けた募集活動の推進

イ　補助金等各種資金の活用

2025年度収支予算書等

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会

議1-7

目　　次

	項
１．正味財産増減予算書（案）	1
２．資金調達及び設備投資の見込み（案）	3

１．正味財産増減予算書（案）

2025年4月１日から2026年3月31日まで

（単位：千円）

科　　目	公益目的事業会計	法　人　会　計	合　　計
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
１.経常増減の部			
(1)経常収益			
事業収益	167,999,336	0	167,999,336
入場券販売収益	88,090,909		88,090,909
ロイヤリティ収益	7,272,727		7,272,727
ライセンス事業収益	2,727,272		2,727,272
協賛等収益	21,519,737		21,519,737
受取賃貸料収益	2,659,486		2,659,486
受託事業収益	35,652,842		35,652,842
その他事業収益	10,076,363		10,076,363
受取補助金等	133,505,066	0	133,505,066
受取国庫補助金振替額	66,752,533		66,752,533
受取地方公共団体補助金振替額	66,752,533		66,752,533
受取民間補助金	270,000	0	270,000
受取民間補助金等振替額	270,000		270,000
受取寄付金	66,756,807	675,726	67,432,533
受取寄付金	680,000		680,000
受取寄付金振替額	66,076,807	675,726	66,752,533
経常収益計	368,531,209	675,726	369,206,935
(2)経常費用			
事業費	365,495,879	0	365,495,879
役員報酬	60,534		60,534
給料手当	740,511		740,511
賞与引当金繰入額	117,325		117,325
福利厚生費	394,360		394,360
会議費	100		100
旅費交通費	182,189		182,189
通信運搬費	178,691		178,691
減価償却費	218,384,433		218,384,433
備消品費	5,252		5,252
光熱水料費	2,000,000		2,000,000
賃借料	8,171,665		8,171,665
保険料	77,259		77,259
租税公課	3,695,620		3,695,620
委託費	126,274,262		126,274,262
支払手数料	2,007		2,007
支払報酬	130,086		130,086
広告宣伝費	4,344,902		4,344,902
接待交際費	408		408
販売手数料	736,275		736,275

１．正味財産増減予算書（案）

2025年4月１日から2026年3月31日まで

（単位：千円）

科　　目	公益目的事業会計	法　人　会　計	合　　計
管理費	0	675,726	675,726
役員報酬		10,310	10,310
給料手当		185,086	185,086
賞与引当金繰入額		30,231	30,231
福利厚生費		93,219	93,219
会議費		75	75
旅費交通費		41,654	41,654
通信運搬費		19,400	19,400
減価償却費		23,563	23,563
備消品費		36,285	36,285
光熱水料費		1,580	1,580
賃借料		42,996	42,996
租税公課		2,179	2,179
委託費		110,107	110,107
支払手数料		1,576	1,576
支払報酬		47,639	47,639
広告宣伝費		19,265	19,265
接待交際費		121	121
支払利息		10,440	10,440
経常費用計	365,495,879	675,726	366,171,605
当期経常増減額	3,035,330	0	3,035,330
２.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2)経常外費用			
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	3,035,330	0	3,035,330
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	28,098,000		28,098,000
受取国庫補助金	14,049,000		14,049,000
受取地方公共団体補助金	14,049,000		14,049,000
受取寄付金	7,349,691	675,726	8,025,417
受取寄付金	7,349,691	675,726	8,025,417
一般正味財産への振替額	199,851,873	675,726	200,527,599
当期指定正味財産増減額	△ 164,404,182	0	△ 164,404,182

２．資金調達及び設備投資の見込みについて（案）

2025年4月１日から2026年3月31日まで

（１）資金調達の見込みについて

借入れの予定	あり	
借入先	金額	使途
りそな銀行	26,000百万円	運営費

（２）設備投資の見込みについて

設備投資の予定	あり	
設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
会場整備にかかる工事・維持補修等	42,147百万円	補助金等

（注） 収支予算書は令和７年度予算政府案成立を前提としております。

第２号議案

会期中の協会事務局組織体制の件

会期中の協会事務局組織体制について

協会事務局の会期中組織体制への移行については、昨年 11 月の書面理事会でご承認いただいたところですが、その後、段階的に組織移行を進め、3 月 1 日から別紙１のとおり新体制に移行しました。

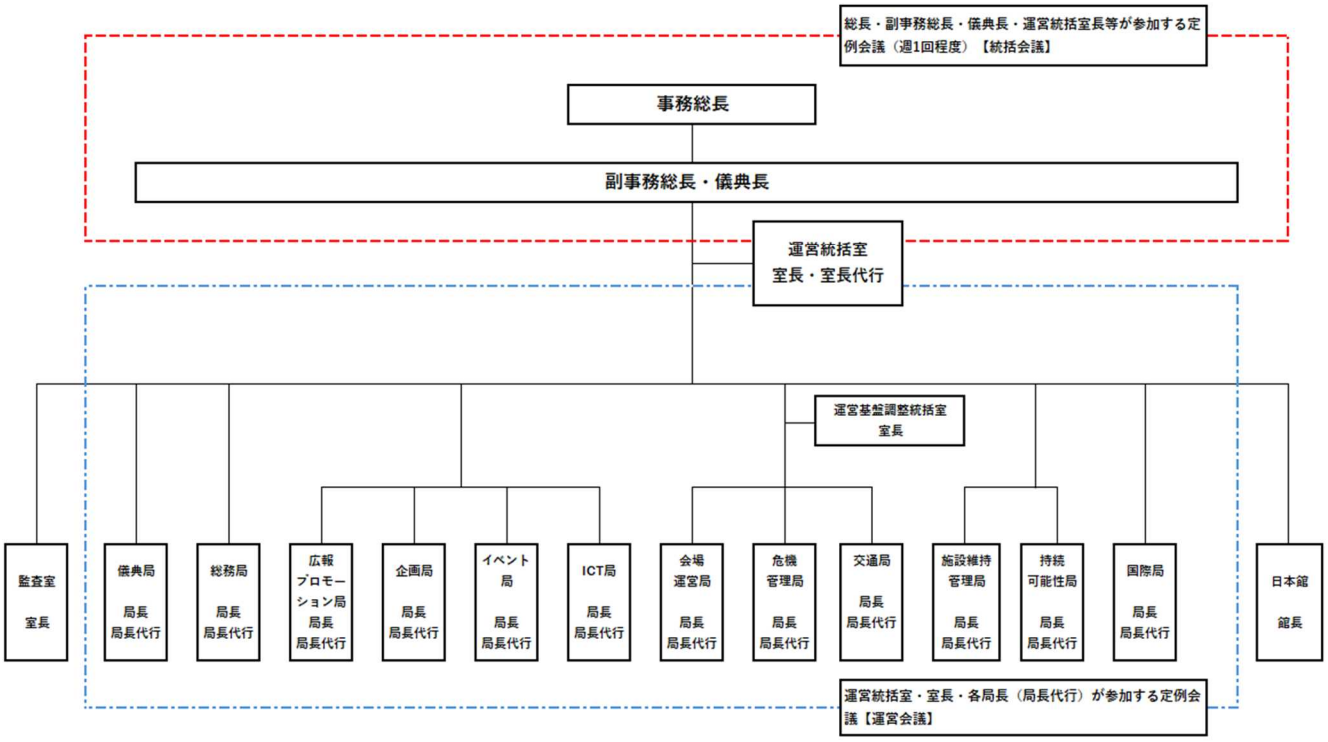
また、これと合わせ、協会事務局の業務執行体制整備の一環として、内部監査業務の独立性をより一層確かなものとするため、監査室を事務総長の直轄組織とすることとし、公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会理事会運営規程第１０条第１項第３号に基づき、副事務総長の職務権限規程を別紙２のとおり一部改定いたします。

なお、新体制への移行後の事務局組織規程は別紙３のとおりです。

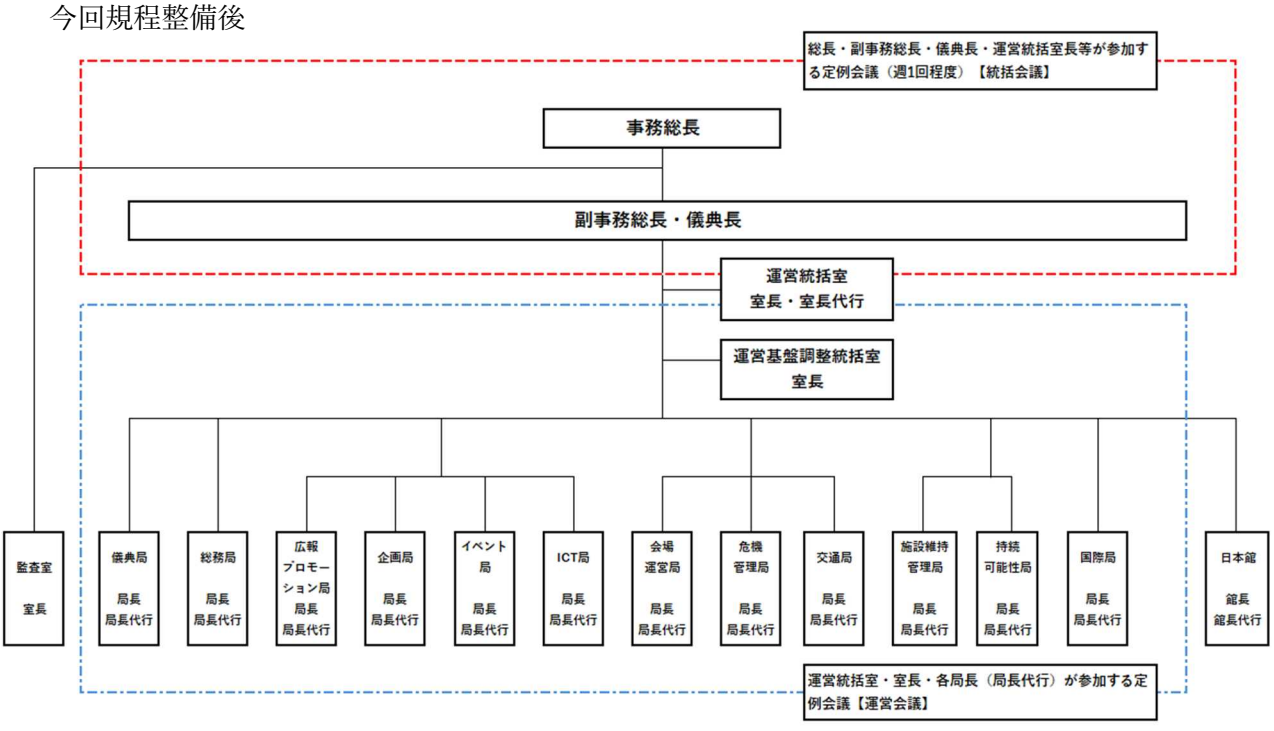
<別紙１>

事務局体制図

11 月理事会提示



今回規程整備後



〈別紙２〉　　公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会副事務総長の職務権限規程の一部改定について

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会副事務総長の職務権限規程（令和７年１月１日施行）を下記改定案のとおり一部改める。

<table>
<tr><th>現　　行</th><th>改　定　案</th></tr>
<tr><td>略
（所掌事務）
第２条　副事務総長の所掌事務は、次の表に定めるとおりとする。
<table><tr><th>担　　当</th><th>所　掌　事　務</th></tr><tr><td>小野平八郎副事務総長</td><td>運営統括室、監査室及び総務局の事務に関すること。</td></tr><tr><td>髙科淳副事務総長</td><td>広報・プロモーション局、企画局、イベント局、ＩＣＴ局及び日本館の事務に関すること。</td></tr><tr><td>東川直正副事務総長</td><td>運営基盤調整統括室、会場運営局、危機管理局及び交通局の事務に関すること。</td></tr><tr><td>田中清剛副事務総長</td><td>施設維持管理局及び持続可能性局の事務に関すること。</td></tr><tr><td>櫟真夏副事務総長</td><td>国際局の事務に関すること。</td></tr><tr><td>水谷徹副事務総長</td><td>マーケティング戦略に関すること。</td></tr></table>監査室及び総務局の事務については、小野平八郎副事務総長を主担当とし、髙科淳副事務総長を副担当とする。
略</td><td>略
（所掌事務）
第２条　副事務総長の所掌事務は、次の表に定めるとおりとする。
<table><tr><th>担　　当</th><th>所　掌　事　務</th></tr><tr><td>小野平八郎副事務総長</td><td>運営統括室及び総務局の事務に関すること。</td></tr><tr><td>髙科淳副事務総長</td><td>広報・プロモーション局、企画局、イベント局、ＩＣＴ局及び日本館の事務に関すること。</td></tr><tr><td>東川直正副事務総長</td><td>運営基盤調整統括室、会場運営局、危機管理局及び交通局の事務に関すること。</td></tr><tr><td>田中清剛副事務総長</td><td>施設維持管理局及び持続可能性局の事務に関すること。</td></tr><tr><td>櫟真夏副事務総長</td><td>国際局の事務に関すること。</td></tr><tr><td>水谷徹副事務総長</td><td>マーケティング戦略に関すること。</td></tr></table>総務局の事務については、小野平八郎副事務総長を主担当とし、髙科淳副事務総長を副担当とする。
略
附　則
この規程は、令和７年●月●日から施行する。</td></tr>
</table>

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会　副事務総長の職務権限規程（案）

（目　的）

第１条　この規程は、公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会（以下、「協会」という。）定款第２２条第２項の規定に基づき、副事務総長の所掌業務を定めることを目的とする。

（所掌事務）

第２条　副事務総長の所掌事務は、次の表に定めるとおりとする。

担　　当	所　掌　事　務
小野平八郎副事務総長	運営統括室及び総務局の事務に関すること。
髙科淳副事務総長	広報・プロモーション局、企画局、イベント局、ＩＣＴ局及び日本館の事務に関すること。
東川直正副事務総長	運営基盤調整統括室、会場運営局、危機管理局及び交通局の事務に関すること。
田中清剛副事務総長	施設維持管理局及び持続可能性局の事務に関すること。
櫟真夏副事務総長	国際局の事務に関すること。
水谷徹副事務総長	マーケティング戦略に関すること。

総務局の事務については、小野平八郎副事務総長を主担当とし、髙科淳副事務総長を副担当とする。

ただし重要事項及び各局にまたがる事項については、上記の規定にかかわらず、相互に連携するものとする。

２　博覧会の開場時間中は、副事務総長のうち１名が交代で会場内に常駐し、会場内で発生した重大な事象への対応（記者会見等の情報発信を含む）を担う。

（副事務総長に事故があるとき等の措置）

第３条　副事務総長に事故があるとき又欠けたときは、その副事務総長の分担事務については、代表理事が定めるところにより他の副事務総長が代わって処置するものとする。

（細則）

第４条　この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

（改廃）

第５条　この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附　則

この規程は、令和元年６月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和元年７月５日から施行する。

附　則

この規程は、令和元年１０月２１日から施行する。

附　則

この規程は、令和２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和３年７月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和４年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和４年７月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和４年７月１５日から施行する。

附　則

この規程は、令和５年５月８日から施行する。

附　則

この規程は、令和５年６月１５日から施行する。

附　則

この規程は、令和５年９月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和５年９月１９日から施行する。

附　則

この規程は、令和５年１０月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和６年２月７日から施行する。

附　則

この規程は、令和６年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和６年７月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和６年１０月１５日から施行する。

附　則

この規程は、令和７年１月１日から施行する。

附　則

この規程は、令和７年●月●日から施行する。

〈別紙3〉

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会事務局組織規程

（目的）

第１条 この規程は、公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会（以下、「協会」という。）の定款第３９条第３項の規定に基づき、協会の組織及び職制に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（組織）

第２条 協会の事務局には、本部事務所のほかに、必要に応じて事務所その他の組織を置くことができる。

２　代表理事は、この規程により業務を処理しがたいものについては、特別の組織又は顧問その他の職制を設けることができる。

（職員）

第３条 協会の事務局に次の職員を置くことができるものとする。

一　事務職員

二　技術職員

２　前項に定めるもののほか、別に定めるところにより、協会に必要な職員を置くことができる。

（職制）

第４条 前条第１項に規定する職員の職は、次表の左欄とし、その職務は同表右欄に掲げるものとする。

職　　名	職　　務
事務総長	協会事務局の局務を掌る。
副事務総長	上司の職務を補佐し、協会事務局の局務を掌る。
儀典長	上司の命を受け、賓客の接遇及びその総合調整を掌る。
局長	上司の命を受け、局の事務を統括し所属の職員を指揮監督する。
担当局長	上司の命を受け、担任事務を統括し担当の職員を指揮監督する。
上席審議役	上司の職務を補佐し、担任事務を処理する。
担当部長	上司の命を受け、担任事務を統括し担当の職員を指揮監督する。
審議役	上司の職務を補佐し、担任事務を処理する。
担当課長	上司の命を受け、担任事務を統括し担当の職員を指揮監督する。
参事	上司の職務を補佐し、担任事務を処理する。
課長代理	上司の職務を補佐し、担任事務を処理する。
係長	上司の職務を補佐し、担任事務を処理する。
係員	上司の命を受け、担任業務を処理する。

２　前条第２項に規定する職員の職は別に定める。

（本部事務所の組織）

第５条 事務総長は、事務総長が直轄する補佐機関を置くことができる。

２ 協会の組織及び本部事務所の位置は次表のとおりとする。

名　　称	位　　置
運営統括室	大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎 43 階
運営基盤調整統括室	
監査室	
儀典局	
総務局	
広報・プロモーション局	
企画局	
イベント局	
ＩＣＴ局	
会場運営局	
危機管理局	
交通局	
施設維持管理局	
持続可能性局	
国際局	
日本館	

（運営統括室の分掌事務）

第６条　運営統括室においては、次の事務をつかさどる。

一　万博運営における複数局に跨る業務管理・運営の調整に関すること。

二　万博会期中に発生した重大な事案や緊急を要する事案への対応にあたり、関係各局を統括すること。

三　協会の総合企画及び調整に関すること。

四　事務総長、副事務総長、関係局長等で構成する運営本部の事務局に関すること。

五　国等関係機関との連絡調整及びプロデューサーに関すること。

（運営基盤調整統括室の分掌事務）

第７条　運営基盤調整統括室においては、次の事務をつかさどる。

会場運営、危機管理、交通、公式参加者等との連絡・調整、来場者満足度の向上等博覧会運営の基盤に関する事務の総合調整及び統括に関すること。

（監査室の分掌事務）

第８条　監査室においては、次の事務をつかさどる。

内部監査に関すること。

（儀典局の分掌事務）

第９条　儀典局においては、次の事務をつかさどる。

一　協会の定める「賓客」（海外・日本国内）の接遇に関すること。

二　ナショナルデイ・スペシャルデイの代表団公式行事での接遇に関すること。

三　皇族ご訪問時の接遇に関すること。
四　迎賓館の運営・管理業務に関すること。
五　博覧会会場での協会旗・参加国国旗・国歌（各国パビリオンは除く）の管理に関すること。

（総務局の分掌事務）
第１０条　総務局においては、次の事務をつかさどる。
一　法人運営に関すること。
二　社員総会及び理事会に関すること。
三　公益法人認定、特別措置法に関する調整に関すること。
四　定款、諸規程等の制定及び改廃に関すること。
五　公印の保管及び文書管理に関すること。
六　役職員の人事管理、給与、労務、福利厚生その他人事一般に関すること。
七　物品の出納及び管理に関すること。
八　事務局の施設及び設備の管理に関すること。
九　協会のリスクマネジメントに関すること。
十　情報セキュリティ及び個人情報保護の運用に関すること。
十一　法務・コンプライアンス・ハラスメント対策に関すること。
十二　監事に関すること。
十三　役員の秘書に関すること。
十四　内部統制に関すること。
十五　協会全体の収支管理に関すること。
十六　予算に関すること。
十七　補助金申請に関すること。
十八　決算及び経理に関すること。
十九　資金の調達及び運用に関すること。
二十　財産の取得、管理及び処分（リユースを除く）に関すること。
二十一　現金、預金、有価証券の出納及び保管に関すること。
二十二　監査及び会計検査に関すること。
二十三　会計監査人に関すること。
二十四　債権管理に関すること。
二十五　保険に関すること。
二十六　財務委員会の運営に関すること。
二十七　寄附制度の統括管理に関すること。
二十八　寄附制度の企画・運営に関すること。
二十九　指定寄附に関すること。
三十　寄附収入管理に関すること。
三十一　公営競技に関すること。
三十二　運営費執行管理会議に関すること。
三十三　原課が行う調達の支援・最適化に関すること。（他局分掌のものを除く。）
三十四　現物協賛の統括管理に関すること。（他局分掌のものを除く。）
三十五　契約事務審査会の企画・運営に関すること。
三十六　工事及び物件の入札、契約に関すること。

三十七　協会全体の契約業務に関すること。
三十八　財産管理にかかる制度企画に関すること。
三十九　財産台帳の統括管理に関すること。（他局分掌のものを除く。）
四十　前各号に掲げるもののほか、他局の分掌に属しないこと。

（広報・プロモーション局の分掌事務）
第１１条　広報・プロモーション局においては、次の事務をつかさどる。
一　機運醸成戦略策定に関すること。
二　局内の企画・調整に関すること。
三　機運醸成に関する協会横断的案件、戦略的案件の推進に関すること。
四　ライセンス関連事業（ＭＬＯ）の推進に関すること。
五　知財（ＩＰ：ロゴマーク･キャラクター･ＥＸＰＯ ２０２５ Ｄｅｓｉｇｎ Ｓｙｓｔｅｍ等）に関すること。
六　アンバサダー、スペシャルサポーターに関すること。
七　テーマソングに関すること。
八　広告用コンテンツ・ツールの制作に関すること。
九　ＰＲ露出戦略・シティドレッシングに関すること。
十　外部団体が主催するイベント等との連携に関すること。
十一　後援・協力名義に関すること。
十二　講演依頼に関すること。
十三　ＴＥＡＭ ＥＸＰＯ ２０２５の企画・運営に関すること。
十四　ＴＥＡＭ ＥＸＰＯパビリオンの運営管理に関すること。
十五　ＥＸＰＯ　ＣＯＭＭＯＮＳの企画・運営に関すること。
十六　政府と連携した地方創生ＳＤＧｓの発信、ＰＬＬ Ｔａｌｋｓの企画・運営に関すること。
十七　ベストプラクティスの企画・運営に関すること。
十八　レガシーの検討に関すること。
十九　協会における広報に関すること。
二十　報道機関との連絡調整に関すること。
二十一　協会公式Ｗｅｂサイト、ＳＮＳ等の運営に関すること。
二十二　メディアセンター、公式記録、メディアポータル等の計画・運営に関すること。
二十三　海外広報に関すること。
二十四　海外プロモーション活動に関すること。
二十五　公式参加者と連携したプロモーション活動に関すること。
二十六　多言語コンテンツ制作に関すること。
二十七　東北復興に関すること。
二十八　国内の各地域との連絡調整に関すること。
二十九　自治体・経済団体（中小企業含む）と連携した全国でのプロモーションに関すること。
三十　教育機関連携に関すること。
三十一　教育プログラムに関すること。
三十二　観光プロモーション戦略、万博をきっかけとした地方への誘客に関すること。
三十三　入場券に関すること。
三十四　入場制度（来場者平準化策、パビリオン予約含む）に関すること。

（企画局の分掌事務）
第１２条　企画局においては、次の事務をつかさどる。
一　２０２５年日本国際博覧会事業の企画及び調整に関すること。（他局分掌のものを除く。）
二　協賛制度の運用に関すること。（他局分掌のものを除く。）
三　２０２５年日本国際博覧会事業への提案対応に関すること。
四　シニアアドバイザーに関すること。
五　２０２５年日本国際博覧会事業のテーマ事業及びテーマ事業プロデューサーに関すること。
六　国内出展（政府・民間）に関すること。
七　未来社会ショーケース事業に関すること。
八　テーマウィークに関すること。

（イベント局の分掌事務）
第１３条　イベント局においては、次の事務をつかさどる。
一　各種計画等に基づく催事・関連事業の企画及び調整に関すること。（他局分掌のものを除く。）
二　催事企画プロデューサーに関すること。
三　催事検討会議に関すること。
四　催事施設の運営管理に関すること。

（ＩＣＴ局の分掌事務）
第１４条　ＩＣＴ局においては、次の事務をつかさどる。
一　万博事業ＩＣＴシステム・インフラに関すること。
二　協会内のＩＣＴ活用への技術支援に関すること。
三　サイバーテロ対応（システム的セキュリティ対策）に関すること。
四　バーチャル万博に関すること。（他局分掌のものを除く。）
五　データ利活用に関すること。

（会場運営局の分掌事務）
第１５条　会場運営局においては、次の事務をつかさどる。
一　２０２５年日本国際博覧会事業の各種計画その他の関連計画の作成に関すること。（他局分掌のものを除く。）
二　２０２５年日本国際博覧会事業の各種計画その他の関連計画に関する企画及び調整に関すること。（他局分掌のものを除く。）
三　来場者サービス、ユニバーサルサービス、情報サービスに関すること。
四　ユニフォームに関すること。
五　スタッフ、ボランティアに関すること。
六　デジタル万博に関すること。（他局分掌のものを除く。）
七　ＸＲ演出に関すること。（他局分掌のものを除く。）
八　アクレディテーションに関すること。
九　会場運営・管理に関すること。
十　会場内輸送に関すること。
十一　会場内清掃に関すること。

十二　サービスロボットに関すること。
十三　会場内営業施設に関すること。（他局分掌のものを除く。）
十四　物流に関すること。

（危機管理局の分掌業務）
第１６条　危機管理局においては、次の事務をつかさどる。
一　会場警備、消防、防災に関すること。
二　サイバーセキュリティ対策に関すること。（他局分掌のものを除く。）
三　会場衛生（感染症対策を含む。）、医療救護に関すること。

（交通局の分掌業務）
第１７条　交通局においては、次の事務をつかさどる。
一　２０２５年日本国際博覧会事業の来場者輸送計画・交通対策の企画及び調整に関すること。
二　道路交通対策、夢洲交通ターミナル、会場外駐車場等の運営に関すること。
三　夢洲交通ターミナル、会場外駐車場等の工事及び工事の実施に伴う関係機関との調整、技術的な支援に関すること。
四　来場者輸送情報センターに関すること。
五　環境影響評価に関すること。（会場外駐車場に関すること。）

（施設維持管理局の分掌事務）
第１８条　施設維持管理局においては、次の事務をつかさどる。
一　２０２５年日本国際博覧会事業の会場維持管理の企画及び調整に関すること。（他局分掌のものを除く。）
二　環境影響評価に関すること。（他局分掌のものを除く。）
三　会場内施設等の工事の検査に関すること。（他局分掌のものを除く。）
四　会場内施設や基盤インフラ（上下水道、植栽、電気・ガス、熱供給設備等）の維持管理に関すること。（他局分掌のものを除く。）
五　会場内施設や基盤インフラ（上下水道、植栽、電気・ガス、熱供給設備等）の撤去に関すること。（他局分掌のものを除く。）
六　出展者（海外・企業）との撤去手続きに関すること。（他局分掌のものを除く。）

（持続可能性局の分掌事務）
第１９条　持続可能性局においては、次の事務をつかさどる。
一　持続可能性管理システム（ＥＳＭＳ）の構築と運用に関すること。
二　ＩＳＯ２０１２１認証取得に関すること。
三　ＥＳＭＳ・持続可能性有識者委員会に関すること。
四　持続可能性の観点からの調達コードに関すること。（他局分掌のものを除く。）
五　持続可能性の個別目標の設定と進捗管理に関すること。
六　持続可能性についての過去のイベント分析に関すること。
七　持続可能性に関する総合的な方針及び計画の立案及び推進に関すること。
八　持続可能性の個別分野に関する計画の立案及び個別事業の推進に関すること。

（国際局の分掌事務）
第２０条　国際局においては、次の事務をつかさどる。
一　ＢＩＥとの連絡調整に関すること。
二　公式参加者運営委員会・褒賞委員会等に関すること。
三　途上国支援プログラムに関すること。
四　公式参加者向けワンストップショップに関すること。
五　公式参加者の宿舎に関すること。
六　各種ガイドラインに係る検討・調整に関すること。
七　公式参加者との出展に係る連絡調整に関すること。（他局分掌のものを除く。）

（日本館の分掌事務）
第２１条　日本館においては、次の事務をつかさつかさどる。
一　日本館に係る経済産業省等との連絡調整に関すること。
二　日本館に係る総務に関すること。
三　日本館に係る広報に関すること。
四　日本館に係る接遇に関すること。
五　日本館の運営に関すること。

（改廃）
第２２条　この規程のうち重要な事項の改廃は、理事会の決議を経て行う。

（補則）
第２３条　この規程に定めるもののほか、協会の事務局組織に関し必要な事項は、代表理事が定める。

附 則
この規程は、平成３１年１月３０日から施行する。

附 則
この規程は、平成３１年３月２９日から施行する。

附 則
この規程は、令和元年５月２８日から施行する。

附 則
この規程は、令和元年７月１日から施行する。

附 則
この規程は、令和元年７月９日から施行する。

附 則
この規程は、令和元年７月１６日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年１０月２１日から施行する。

附 則

この規程は、令和２年４月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和２年１０月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和３年４月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和３年７月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和４年１月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和４年４月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和５年４月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和５年６月１５日から施行する。

附 則

この規程は、令和５年９月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和５年９月１９日から施行する。

附 則

この規程は、令和５年１０月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和６年４月１日から施行する。

附 則

この規程は、令和６年７月１日から施行する。

附　則

（施行期日）

１．この規程は、令和７年１月１日から施行する。

（職制）

２．本規程の改正前の組織において「部長」であった職員は、改正後の組織において「担当部長」となり、改正前の組織において「課長」であった職員は、改正後の組織において「担当課長」となる。

附　則

（施行期日）

１．この規程は、令和７年３月１日から施行する。

（職制）

２．本規程の改正前の組織において「部長」であった職員は、改正後の組織において「担当部長」となり、改正前の組織において「課長」であった職員は、改正後の組織において「担当課長」となる。

第３号議案

「大阪・関西万博日本政府出展事業（仮称）」の受託及び「日本政府館展示制作・施工及び運営実施業務（仮称）」の委託契約の件（令和６年度補正予算）

「大阪・関西万博日本政府出展事業(仮称)」の受託及び「日本政府館展示制作・施工及び運営実施業務(仮称)」の委託契約について

① 「大阪・関西万博日本政府出展事業(仮称)」の受託に係る契約について、理事会の承認を求める。

項目	内容
案件名称	大阪・関西万博日本政府出展事業(仮称) の受託に係る契約について
案件概要	円滑かつ充実した出展を実現できるよう、日本館の展示・行催事・広報・運営等の各種出展業務を実施するもの。 日本政府が2025年大阪・関西万博への出展に際し、 ・令和３年（2021年）4月に策定された「日本政府出展事業（日本館）基本構想」 ・令和４年（2022年）3月に策定された「日本政府出展事業基本計画」 ・令和４年度大阪・関西万博日本館政府出展事業 ・令和４年度補正大阪・関西万博日本政府出展事業における検討結果 ・令和５年度補正大阪・関西万博日本政府出展事業における出展準備 に基づいて実施。
契約先	経済産業省
受託期間	2025年4月1日～2026年3月末（年度毎に契約を締結）　※令和６年度補正予算
契約種別	業務委託・特命随意契約
スケジュール	2025年4月1日付にて契約を締結する

「大阪・関西万博日本政府出展事業(仮称)」の受託及び「日本政府館展示制作・施工及び運営実施業務(仮称)」の委託契約について

② 「日本政府館展示制作・施工及び運営実施業務(仮称)」の委託契約について、理事会の承認を求める。
（財源は①の大阪・関西万博日本政府出展事業(仮称)）

項目	内容
案件名称	日本政府館展示制作・施工及び運営実施業務(仮称)の委託契約について
案件概要	日本館の展示調整および補修、日本館の運営を行う業務。 ・令和６年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」展示制作・運営等業務にて具体化した展示の内容 ・令和６年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」展示制作・運営等業務にて計画した運営実施計画 に基づいて実施。
契約先	日本館展示等コンソーシアム 共同企業体（代表者　丹青社）
委託期間	2025年4月1日～2026年3月末（年度毎に契約を締結）
契約種別	業務委託・特命随意契約
スケジュール	2025年4月1日付にて契約を締結する

第４号議案

途上国出展支援事業（令和７年度当初予算）の受託契約（経産省）の件

途上国出展支援事業の受託契約（経産省）について

２０２５年度に実施する途上国支援にかかる経済産業省と協会との受託契約の締結について、理事会の承認を求める。

■概要

◆事業内容：

特別規則１２号第１４条（※）に基づき、途上国支援対象国約９０か国に対して、途上国の出展にかかるＰＲ施策（バーチャル展示空間の保守、公式参加者自主催事等の実施、広報資料の作成補助）を実施する。

◆契約時期：

２０２５年３月
～　２０２６年３月末（※）
※令和７年度予算成立が前提
　経済産業省と調整中

※特別規則12号　第14条　途上国支援

開催者は、国、国際機関、民間出展者の参加条件に関する特別規則第２号に基づき、特定の開発途上国に対し、支援の手法並びに適用の手続及び基準を詳述した支援プログラムに従った財政的支援を提供する。

◆契約方法：

経済産業省との特命随意契約

報告事項１

運営費及び建設費の執行状況の件

会期中の予算執行について

会期中の予算執行について

- 会期中においては**予見できない事象や不測の事態**が生じる可能性がある一方で、万博自体は休みなく開場することから、**緊急で対応せざるを得ない**事態も想定される。
- この対応内容によって**理事会決議が必要**となる場合、緊急性が高い等やむを得ない事由があれば、理事会運営規程第10条2項に基づき**同決議を経ず業務執行することも生じる**

＜但し、この場合は次理事会での付議・承認が必要＞。

〇公益社団法人2025年日本国際博覧会協会理事会運営規程（抄）

（決議事項）
第１０条　次の事項は理事会の決議を経なければならない。
（１）社員総会の招集等に関する事項
（２）会長、副会長、事務総長及び副事務総長の選定・解職
（３）組織及び人事に関する事項
（４）財産・財務に関する事項
（５）重要な業務執行に関する事項
（６）その他法令及び定款に定める事項
２　代表理事は、理事会の決議事項（法定事項を除く。）であっても、緊急の処理を要するため、理事会に付議できないやむを得ない事由があるときは、理事会の決議を経ずに、業務を執行することができる。ただし、この場合にあっては、代表理事は、次の理事会にその内容を付議し、承認を得なければならない。

運営費の執行状況について

運営費の執行状況について（2025年2月末）

（単位：億円）

執　行　項　目	契約済(2025年2月末) 金額	前回報告以降の主な内容	前回比（2025年1月末）	今後の予定 直近の発注予定額（2025年3~5月）	主な内容	予定額（2025年6月～）	総合計
会場管理費	**331**		**11**				
会場運営管理・来客対応費	174	ラウンジ＆ダイニングにかかるレセプションエリアの設置、大型パラソルのレンタル、(変更契約)保税管理・倉庫管理業務、大屋根リング上人数カウンター設置及び保守業務　ほか	5	**17**	ゲート前大型荷物預かり業務、(変更契約)ゲート前チケット引換所実施計画策定・実施運営業務、アルコール消毒液調達業務、「大地球儀」内外装工事及び運営管理業務、(変更契約)入場券販売関連システムサービス提供業務、(変更契約)ICT-PFサービス提供業務、情報通信インフラ整備業務における関係サービス類の回線契約　ほか	**126**	**474**
ICT関連費	157	ICTプロジェクト支援業務、ICTシステム運用保守支援業務、バビリオン・イベント認証端末調達運用業務、(変更契約)万博アプリ・万博ポータル開発保守運用業務　ほか	6				
事業運営費	**120**		**2**				
共創事業費	22	Prominent Partners万博来訪対応業務　ほか	1	**10**	空飛ぶクルマ広報PR等業務、展示施設内装工事及び運営管理業務、フューチャーライフヴィレッジ交流イベントの運営業務、ベストプラクティス記念イベント企画運営業務、地方創生SDGsフェス企画エリアにおける企画・設営・運営業務、シグネチャーオープニングイベント企画・運営業務、 EXPOアリーナ等舞台装置備品賃貸借、ウォータープラザにおける水質改善、カートの運営等業務、公式参加者関連会議通訳関連業務　ほか	**33**	**163**
テーマ事業費	40	―	―				
催事費	43	EXPOナショナルデーホール　音響・映像・照明機材賃貸借、派遣職員の雇用　ほか	0				
住宅・公式参加国関係費	15	賃貸借契約（守口宿舎）賃料、OSS仏語人材派遣、建築技術指導顧問業務　ほか	1				
営業関係費	**67**		**1**				
広報宣伝費	22	公式Webサイトトップページ及び下層ページデザイン制作業務、アニメーションコンテンツ制作業務　ほか	1	**11**	(変更契約)入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務、(変更契約)メディアプラン業務、公式記録（ムービーカメラ）および公式記記録映像集の制作、公式記録集および公式記録写真集制作等業務　ほか	**23**	**101**
入場券関係費	45	アプリケーション利用料　ほか	0				
輸送管理費	**147**	給水及びし尿汲み取り・運搬業務、会場外施設水道使用料　ほか	**1**	**16**	(変更契約)会場外駐車場等警備業務、(変更契約)来場者輸送に係る交通運営本部体制運営業務　ほか	**47**	**210**
管理関係費	**182**	BIE納付金、職員手当・旅費、オフィス賃料　ほか	**20**	**10**	音楽著作物利用許諾契約、職員手当・旅費、オフィス賃料　ほか	**20**	**212**
合　計	**847**		**35**	**64**		**249**	**1,160**

執行額累計　**911**

執行率(2月末)　**73.0%**

執行率(5月末)　**78.5%**

※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わりうるもの

※2 一部、内訳端数調整有

報1-4

運営費執行管理会議資料
（2025年２月19日開催済分）

報1-5

【開催報告】運営費執行管理会議第５回について

●日時：令和７年２月19日（水）　11：00～11：45

●場所：Teamsオンライン

●議事：

・運営費の執行状況について、2025年月１末までの契約実績額及び今後の予定として直近の発注予定額（２～４月分）を報告した。

・開幕に向けた運営費予算の管理体制の変更及び管理方針（案）について説明した。

・入場券の販売状況について報告を行った。

・委員からの主なご意見は以下のとおり。

＊運営費の支出について透明性と公平性が確保できるような体制の確保を引き続きお願いしたい。

＊当日券については、要望を幅広く聞き取っていくことが望ましい。

＊来場者に積極的に評価してもらうようなモニタリングの実施や情報発信してもらう工夫が必要ではないか。

＊パビリオン予約が必要なのかが分かりにくいため改善をお願いしたい。

＊予約システムが認知されていないので、再度周知をお願いしたい。

運営費の執行状況について（2025年1月末）

資料2

（単位：億円）

執　行　項　目	契約済(2025年1月末) 金額	契約済(2025年1月末) 前回報告以降の主な内容	契約済(2025年1月末) 前回比（2024年11月末）	今後の予定 直近の発注予定額（2025年2～4月）	今後の予定 主な内容	今後の予定 予定額（2025年5月～）	総合計
会場管理費	**320**		**22**				
会場運営管理・来客対応費	169	(変更契約)来場者サービス実施計画策定・実施運営委託業務、会場内パーソナルモビリティ運営にかかる実施計画策定・運営実施業務、EXPOサロン内装工事及び運営管理業務、ゲート前チケット引換所実施計画策定・実施運営業務　ほか	15	**22**	ICTプロジェクト支援業務(SES)、ICTシステム運用保守支援業務、(変更契約)入場券販売関連システムサービス提供業務委託、大型パラソルのレンタル、(変更契約)万博IDユーザ対応業務、「大地球儀」内外装工事及び運営管理業務、保税管理・倉庫管理業務変更契約(車両管理システム)　ほか	**140**	**482**
ICT関連費	151	バーチャル万博コンテンツ制作・運営管理業務、万博ICT-PFサービス提供業務委託（変更契約）、バーチャルカレンダーページ制作、関係者ポータル向けSalesForceライセンス追加　ほか	7				
事業運営費	**118**		**8**				
共創事業費	21	労働者派遣契約、CDCアドバイザー会議に係るアドバイザーへの謝礼金　ほか	0	**12**	休憩/催事施設内外装設備工事等及び運営管理業務、フューチャーライフヴィレッジ交流イベントの運営業務、協力催事に係る制作協力金、展示施設内装工事及び運営管理業務、EXPOナショナルデーホール　音響・映像・照明機材賃貸借、BIE委員会、褒章委員会に係る）訪日支援　ほか	**27**	**157**
テーマ事業費	40	―	―				
催事費	43	OWOP管理運営業務に係る変更契約、催事施設用備品賃貸借、地方自治体によるEXPOメッセ分割利用にかかる会場運営等業務　ほか	5				
住宅・公式参加国関係費	14	タイプC共同館運営管理業務、公式参加者宿舎コールセンター運営業務　、賃貸借契約（守口宿舎）賃料　ほか	3				
営業関係費	**66**		**10**				
広報宣伝費	21	大阪・関西万博の概要説明資料の多言語（韓国語、中国語(繁体字･簡体字)）翻訳業務委託、広報ＰＲ用パンフレット印刷業務、広報・プロモーションディレクター業務　ほか	1	**16**	(変更契約)メディアプラン業務契約、(変更契約)入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務委託、公式記録（ムービーカメラ）および公式記記録映像集の制作、公式記録集および公式記録写真集制作等業務、OOH等による入場チケット広報・プロモーション業務　ほか	**13**	**95**
入場券関係費	45	【変更契約】万博メディアプラン業務契約、【変更契約】入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務委託、デジタルサイネージ等への掲出による入場チケット広報・プロモーション業務　ほか	9				
輸送管理費	**146**	尼崎会場外駐車場シャトルバス運行業務委託（船シャトルバス）、マルビル大阪・関西万博バスターミナルの運営、会場外施設にかかる電気調達　ほか	**16**	**18**	(変更契約)会場外駐車場等警備業務、給水及びし尿汲み取り・運搬業務委託、(変更契約)万博Ｐ＆Ｒ駐車場予約システム、(変更契約)万博交通情報システム　ほか	**45**	**209**
管理関係費	**162**	開幕レセプション運営業務、職員手当・旅費、オフィス賃料　ほか	**8**	**26**	BIE納付金、職員手当・旅費、オフィス賃料　ほか	**29**	**217**
合　　計	**812**		**64**	**94**		**254**	**1,160**

執行額累計　**906**

執行率(1月末)　**70.0%**

執行率(4月末)　**78.1%**

※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わりうるもの
※2 一部、内訳端数調整有

報1-7

開幕に向けた運営費予算の管理体制変更について

資料3

予算管理体制の変更

- 2024年10月に予算の適正執行を目的として『局配賦型の予算マネジメント』から『**一括管理型の全体予算マネジメント**』に予算管理体制を変更。
- 協会全体で適正な予算執行を行うことで**運営費総額1,160億円のフレームを堅持**。

予算管理フレームの変更

会期前（～24.9月）

＜局配賦型マネジメント＞
・各局配賦の予算内で対応
・各局内での流用も可

会期直前、会期中（24.10月～）

＜一括管理型マネジメント＞
・財務部門での一括管理
・予算流用は不可
・全体最適化の予算運用

会期中予算の管理方針について（案）

課　題

- **会期中**においては、突発的な事象が多いことから**即時即応が必要**。
- 過去の大規模イベント事例から、即時対応に伴って決裁を経ない・口頭での発注(証跡が残らない)といった**不適切な会計処理**も想定され、収支悪化やトラブル発生要因となり得る。

会期中の予算管理方針

- 決裁権者の承認　及び　書面発注の徹底＝**適切な内部統制を維持**し
- **決裁審査が即応できる体制**を確保する（事案発生当日又はその翌日まで）
- 予算管理を財務部門に集約させることで、**支出金額の総額管理**を行う

運営費
<主に会場運営>

- **協議プロセスの効率化** ➤ 運用ガイドラインの策定、携帯端末アプリの活用
- これまでの発注実績も活用した**価格検証** ➤ 既契約、類似契約、査定業者の知見

建設費
<主に施設修繕>

- 応急処置：**既契約※で対応**　※施設維持補修業務として契約締結済
- 小修繕　：**既契約※の変更契約**で対応
- 修繕工事：損傷箇所の施工経験がある等、**即応可の事業者で対応**

効　果

- **適正な収支管理**の実現
- **機動的且つ有効的な予算執行**により来場者の利便性を高める

緊急執行の運用ガイドライン（案）

◆ 緊急執行は、不測・緊急の事態が発生し即時対応が求められるものを対象とする。

運用ガイドラインのポイント

① 随意契約の可否に係る判断を適切に行う

➢緊急執行の対象事案の類型に基づき、判断を行う

② 事業者への発注・契約を適切なプロセスで行う

➢緊急指示書の様式や事業者と契約手続きをすべき時期等をあらかじめガイドラインに定め、それに沿った運用を徹底する

③ 執行後、速やかに事務手続きを行う

➢緊急執行を行う案件は、契約事務審査会の決議を経ずに執行し、事後報告とする

➢契約締結に必要な各様式は緊急執行後に整えるが、抜け漏れなく確実かつ速やかに行う

会場建設費の執行状況について

会場建設費の執行状況について（2025年2月末）

（単位：億円）

執　行　項　目	契約済 金額	契約済 主な内容	契約済 前回比（2024年11月末）	今後の予定 小計	今後の予定 主な内容	執行予定額
大工区	1,198		＋38	180	・会場安全対策等の軽微変更工事 ・会場附帯施設整備 ・空区画等利活用整備 ・メタン対策 ・施設等維持補修 ・リユース対応 ・会場基盤撤去工事　他	1,378
PW北東工区	348	・大屋根（リング） ・パビリオンB、C ・管理施設、ゲート施設等の整備 ・メタン対策 ・附帯整備 （各種サイン・舗装・休憩所等）	＋17			
PW南東工区	279		＋1.5			
PW西工区	330		＋8			
GW工区	165		＋0.7			
静けさの森工区等	33		＋3			
会場附帯施設等整備	26		＋7			
会場施設等維持補修業務	16.5		＋0.3			
会場基盤撤去	0.5		＋0.5			
主要施設	285		＋7	10	・各施設の安全対策等の軽微変更工事 ・メタン対策　他	295
大催事場	93	・各施設整備	＋2			
小催事場	50		＋3			
迎賓館	39		＋1			
テーマ館	53					
若手建築家施設	50	・サテライトスタジオ、休憩所等(20棟)	＋1			
土木工区	110	・園路基盤整備、水道引込 ・雨水管、汚水管、給水管、 熱供給管、電気管路、通信管路	0	▲ 1	・水道分担金還付　他	109
インフラ設備 （電気・熱供給、通信、警備設備　等）	240	・電気(引込含)・熱供給・通信設備 ・水質改善設備 ・警備設備等	＋3	17	・附帯設備整備 ・各工事工程に伴う変更対応 ・メタン対策　他	257
交通施設	171	・会場外駐車場等整備、付帯設備 ・桜島駅乗降場整備 ・万博アクセスルート整備	＋17	8	・各施設の工事工程に伴う変更対応 ・維持補修、解体工事変更対応　他	179
環境評価、委託関係	58	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務		6	・現契約案件の継続追加業務　他 （プロジェクトマネジメント、コストマネジメント等）	64
合計	**2,062**		**＋65**	**220**		**2,220**
					予備費※	**130**
					総　計	**2,350**

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。
※一部、内訳端数調整有

※予備費執行となり得るのは「**約87億円**」。**現時点の予備費執行は、**隙間が約25億円のため**「約62億円」の見込。**

■2,350億円の執行率：　**87.7%**

（参考）前回からの進捗内容

- 前回(2024年11月末)からの執行状況＋65億円について
  1．工事工程に合わせた変更契約：約52億円
  （※追加に際し、資材等を実勢単価で積算又はコストマネジメントを活用し、物価高も反映済）
  2．計画通り発注を行った新規工事等の契約締結：約13億円

※いずれも2,350億円の範囲内で執行を予定していたものであるため、会場建設費の新たな増額となるものではない。

1．工事工程に合わせた変更契約：約５２億円

（1-1）大工区（ＰＷ北東工区）　【約１６億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
PW北東工区（工事請負）	工事進捗に伴う各施設の消防協議対応等における仕様の軽微な変更に係る工事請負及び解体撤去工事の契約変更を行ったもの。	2024/12/13	30,953,016,600	31,036,976,300	83,959,700
PW北東工区（解体撤去）			1,467,005,100	1,467,606,800	601,700
PW北東工区（工事請負）	東エントランス広場のランドスケープ工事追加及び工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更並びにスライド条項適用等に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/22	31,036,976,300	32,035,983,100	999,006,800
PW北東工区（解体撤去）			1,467,606,800	1,468,614,400	1,007,600
PW北東工区（工事請負）	工事進捗に伴うゲート施設仕様の軽微な変更や工事仮設の変更等に係る工事請負及び解体撤去工事の契約変更を行ったもの。	2025/2/7	32,035,983,100	32,094,231,400	58,248,300
PW北東工区（解体撤去）			1,468,614,400	1,454,264,900	▲ 14,349,500
PW北東工区（工事請負）	工事進捗に伴う各施設やリング仕様の軽微な変更及びランドスケープ工事の追加変更等に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/21	32,094,231,400	32,606,143,900	511,912,500
合　計					1,640,387,100

（参考）前回からの進捗内容

（1-2）大工区（ＰＷ南東工区）　【約０.８億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
PW南東工区（工事請負）	工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更及び施工環境改善に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/27	25,998,021,500	26,075,358,100	77,336,600

（1-3）大工区（ＰＷ西工区）　【約７億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
PW西工区（工事請負）	工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更及び施工環境改善としての工事動線確保(舗装養生等)並びにスライド条項適用等に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/17	29,524,893,700	30,131,983,700	607,090,000
PW西工区（解体撤去）			1,601,116,000	1,653,806,000	52,690,000
PW西工区（工事請負）	空地舗装整備対応等の追加及びメタンガス対策（道路舗装面削孔）の追加並びに施工環境改善としての現場管理費の変更等に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/26	30,131,983,700	30,201,503,700	69,520,000
PW西工区（解体撤去）			1,653,806,000	1,653,830,200	24,200
合　計					729,324,200

（1-4）大工区（ＧＷ工区）　【約０.７億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
GW工区（工事請負）	工事進捗に伴う設備仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/16	15,485,809,699	15,532,805,874	46,996,175
GW工区（工事請負）	工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更及びメタンガス対策の詳細検討に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/28	15,532,805,874	15,556,236,510	23,430,636
合　計					70,426,81

（参考）前回からの進捗内容

（1-5）大工区（静けさ森工区等）　【約３億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
屋外ファニチャーの購入（概算契約）	来場者の休憩スペース(ベンチ設置)の追加整備に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/27	459,640,500	565,076,380	105,435,880
つながりの海外周フェンス設置工事	ゲートや駐車場増設に伴うセキュリティフェンス追加整備等に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/9	79,284,700	124,933,160	45,648,460
樹木移植業務（万博記念公園）	移植樹木数確定等に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/21	256,020,600	254,911,800	▲ 1,108,800
静けさの森工区（建設工事）	工事進捗に伴う仕様等の変更及び建設発生土の運搬等業務の追加並びにスライド条項適用等に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/27	1,487,200,000	1,676,155,800	188,955,800
合　計					338,931,340

※上記の屋外ファニチャーの購入に関する変更については、一部他財源を充当しているため、会場建設費対象金額を掲載。

（1-6）大工区（会場附帯施設等整備）　【▲約０.０２億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
タイプC共同館(国際機関共同館・CS2館)共用部等整備業務	工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/7	184,076,776	183,886,978	▲ 189,798
		2025/2/28	183,886,978	181,911,422	▲ 1,975,556
合　計					▲ 2,165,354

（参考）前回からの進捗内容

（２-１）主要施設（大催事場）　【約２億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
大催事場（工事請負）	催事設備の追加及びメタンガス対策(侵入防止等)並びにスライド条項適用等に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/24	8,219,781,100	8,430,475,100	210,694,000

※上記の工事請負に関する変更については、一部他財源を充当しているため、会場建設費対象金額を掲載。

（２-２）主要施設（小催事場）　【約３億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
小催事場（基本協定）	基本協定における客席椅子の物品賃貸借契約を取り止め、工事請負契約に含めることとしたため、変更を行ったもの。	2025/1/9	3,300,000	0	▲ 3,300,000
小催事場（工事請負）	行政協議を踏まえた仕様変更、設備追加工事やスライド条項適用等に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/31	4,279,184,790	4,605,533,890	326,349,100
合　計					323,049,100

（２-３）主要施設（迎賓館）　【約１億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
迎賓館（工事請負）	工事進捗に伴う設備運用の見直しや行政協議を踏まえた仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/18	3,512,402,950	3,580,471,132	68,068,182

（参考）前回からの進捗内容

（２-４）主要施設（テーマ館）　　【約０.１億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額（①）	変更後金額（②）	変更金額（②-①）
テーマ館（河瀬P）建設工事	静けさの森工区にて施工予定であった一部の舗装や植栽工事に関して、安全性の観点から河瀬館外構工事にて施工するため契約変更を行ったもの。	2025/1/21	700,000,000	714,630,000	14,630,000
テーマ館（中島P）付属工事	工事進捗に伴う基礎や排水仕様の見直しに係る契約変更を行ったもの。	2025/2/26	329,670,000	329,540,236	▲ 129,764
合　　計					14,500,236

※テーマ館（河瀬P）建設工事に関する変更については、一部他財源を充当しているため、会場建設費対象金額を掲載。

（２-５）主要施設（若手建築家施設）　　【約１億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額（①）	変更後金額（②）	変更金額（②-①）
展示施設（工事監理）	メタンガス対策に係る図面作成業務の追加、工事期間の延長に伴う契約変更を行ったもの。	2024/12/9	8,910,000	10,543,920	1,633,920
ギャラリー（工事監理）	メタンガス対策に係る図面作成業務の追加、工事期間の延長に伴う契約変更を行ったもの。	2024/12/10	6,429,000	6,759,000	330,000
休憩所３（工事監理）	設備工事変更に係る図面作成業務の追加、工事期間の延長に伴う契約変更を行ったもの。	2024/12/11	6,906,616	7,346,616	440,000
休憩所２（工事監理）	建築物の安全対策に係る図面作成業務の追加、工事期間の延長に伴う契約変更を行ったもの。	2024/12/13	6,600,000	7,150,000	550,000
トイレ７（工事請負）	園路舗装の追加や工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/27	102,074,500	118,413,900	16,339,400
サテライトスタジオ（東）解体撤去	建物内装（防音仕様）変更及び設備仕様の見直し等に伴う契約変更を行ったもの。	2025/1/7	5,517,044	6,728,331	1,211,287
ポップアップステージ（東）工事請負	催事設備の追加や工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に伴う契約変更を行ったもの。	2025/1/15	57,200,000	63,140,000	5,940,000
トイレ５（工事請負）	給水設備の追加や工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/17	158,092,000	181,654,000	23,562,000
トイレ５（工事監理）	工事変更に伴う図面作成業務等の追加、工事期間の延長に伴う契約変更を行ったもの。	2025/1/17	3,369,400	4,370,400	1,001,000
休憩所４（工事請負）	工事進捗に伴う追加工事や仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/27	366,520,000	376,365,000	9,845,000
休憩所２（工事請負）	工事進捗に伴う追加工事や仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/31	424,118,835	439,845,535	15,726,700
ギャラリー（工事監理）	工事変更に伴う図面作成業務等の追加に伴う契約変更を行ったもの。	2025/2/7	6,759,000	7,519,000	760,000
トイレ１（工事請負）	工事進捗に伴う追加工事や仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/13	62,678,000	69,757,531	7,079,531
ギャラリー（工事請負）	メタンガス対策に係る追加工事や仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/18	409,750,000	447,131,300	37,381,300
ポップアップステージ（北）工事請負	工事進捗に伴う設備追加や施工範囲の変更等に係る工事請負及び解体撤去工事の契約変更を行ったもの。	2025/2/28	78,537,525	81,981,820	3,444,295
ポップアップステージ（北）解体撤去			10,802,000	9,857,705	▲ 944,295
休憩所３（工事請負）	工事進捗に伴う設備追加等に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/28	414,330,180	416,305,230	1,975,050
トイレ５（工事請負）	工事進捗に伴う設備追加等に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/28	181,654,000	182,908,000	1,254,000
合　　計					127,529,18[illegible]

（参考）前回からの進捗内容

（３）インフラ設備　　【約１０万円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額（①）	変更後金額（②）	変更金額（②-①）
トレーラーハウス賃貸借	災害時等を考慮した仕様の追加に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/23	17,545,000	17,622,000	77,000

（４）交通施設　　【約１６億円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額（①）	変更後金額（②）	変更金額（②-①）
尼崎地区会場外駐車場整備工事	工事進捗に伴う関係者協議や舗装、設備配置等の設計変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/6	666,930,000	829,290,000	162,360,000
堺地区会場外駐車場整備工事	工事進捗に伴う関係者協議や舗装、設備配置等の設計変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/6	439,941,009	525,085,000	85,143,991
高速道路通行履歴照合システムサービス提供等業務Ｂ	駐車場管理に必要となるETC機設置・撤去等の追加整備に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/11	3,390,200	42,000,200	38,610,000
堺地区会場外駐車場建築物の賃貸借	工事進捗に伴う駐車場関連附帯設備の追加整備等に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/24	544,995,000	603,735,000	58,740,000
尼崎地区会場外駐車場等建築物の賃貸借	工事進捗に伴う駐車場関連附帯設備の追加整備等に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/24	219,824,000	278,366,000	58,542,000
夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借	工事進捗に伴う駐車場関連附帯設備の追加整備等に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/24	2,081,530,000	2,406,580,000	325,050,000
夢洲地区交通ターミナル等整備工事	メタンガス対策設備の追加及び工事進捗に伴う関係者協議や関連附帯設備の追加等の設計変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/25	2,716,087,000	3,491,807,000	775,720,000
桜島駅シャトルバス仮設乗降場整備工事	工事進捗に伴う関係者協議や施設配置等の設計変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/12/26	497,200,000	592,548,000	95,348,000
会場外駐車場及びバスターミナル入退場予約・決済システムサービス業務Ｃ	工事進捗に伴う設備の追加や仕様変更等に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/7	143,641,000	171,190,000	27,549,000
合　　計					1,627,062,991

（５）委託関係　　【約１０万円】

（単位：円）

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額（①）	変更後金額（②）	変更金額（②-①）
施設整備事業に係るコストマネジメント業務（建設工事段階）	GW工区（格納庫整備追加）工事変更に係るコストマネジメント業務の追加を行ったもの。	2024/12/24	66,682,000	67,452,000	770,000
工事車両運行管理システムゲートカメラ設置調整業務	会場整備の進捗に伴い設置期間短縮や台数減に係る契約変更を行ったもの。	2025/1/22	11,902,000	5,753,000	▲ 6,149,000
環境影響評価業務	工事の進捗状況や出展内容の変更等により、調査内容等に係る契約変更を行ったもの。	2025/2/7	178,332,000	175,802,000	▲ 2,530,000
施設整備事業に係るコストマネジメント業務（建設工事段階）	会場整備の進捗に伴う履行期間延長及び大屋根リングリユース解体に係る業務追加を行ったもの。	2025/2/19	67,452,000	75,482,000	8,030,000
合　　計					121,000

（参考）前回からの進捗内容

２．計画通り新規発注を行った工事等の契約締結：約１３億円

（1-1）大工区（ＰW北東工区）　【約０.８億円】

（単位：円）

案件名称	案件概要	契約日	契約額
解体変更実施設計等業務（PW北東工区）	大屋根リングのリユース解体に係る実施設計業務	2025/1/30	84,421,700

（1-2）大工区（ＰW南東工区）　【約０.６億円】

（単位：円）

案件名称	案件概要	契約日	契約額
解体変更実施設計等業務（PW南東工区）	大屋根リングのリユース解体に係る実施設計業務	2025/1/10	60,995,000

（1-3）大工区（ＰW西工区）　【約０.７億円】

（単位：円）

案件名称	案件概要	契約日	契約額
解体変更実施設計等業務（PW西工区）	大屋根リングのリユース解体に係る実施設計業務	2025/1/17	69,300,000

（参考）前回からの進捗内容

（1-4）大工区（会場附帯施設等整備）　【約７億円】

（単位：円）

案件名称	案件概要	契約日	契約額
EXPOサロン内装工事	EXPOサロンの設計・整備及び撤去等業務	2024/12/3	189,271,972
フューチャーライフ万博「未来の都市」展示施設整備事業（建設工事）	「未来の都市」展示施設のメタンガス対策工事	2024/12/10	76,554,023
会場内デジタルサイネージ設置・配信システム構築等業務	機器の設置工事及び撤去工事並びに運用保守業務	2024/12/13	104,680,400
子ども向け案内サイン制作・設置等業務	案内サイン等の制作、設置、撤去業務	2024/12/18	187,205,040
格納庫設置に係る附帯整備事業	格納庫に要する管路等の附帯整備業務	2024/12/23	2,695,000
格納庫設置に起因するポート工事期間延長に伴う費用清算契約	格納庫設置に伴い隣接する協賛者工事に影響する期間の維持管理費用を負担するもの	2024/12/23	1,650,000
「スマートモビリティ万博 空飛ぶクルマ」埋立ガスに係る追加対応及び費用負担契約	「スマートモビリティ万博 空飛ぶクルマ」会場のメタンガス対策工事費用を負担するもの	2024/12/25	3,300,000
飲食施設（未来型営業施設）メタンガス対策整備に係る協定書	GW工区内にセルフビルドで建設する飲食施設のメタンガス対策工事費用を負担するもの	2025/2/10	37,338,290
「ロボット＆モビリティステーション」内外装設備工事等業務（設計）	展示施設の内装・外装等工事に係る設計業務	2025/2/13	6,534,000
「ロボット＆モビリティステーション」内外装設備工事等業務（施工及び撤去等）	展示施設の内装・外装・その他必要な設備工事・撤去等業務	2025/2/14	96,227,065
合　　計			705,455,790

※上記の子ども向け案内サイン制作・設置等業務については、一部他財源を充当しているため、会場建設費対象金額を掲載。

（1-5）大工区（会場施設等維持補修業務）【約０.３億円】

（単位：円）

案件名称	案件概要	契約日	契約額
電気本管桝蓋有孔蓋等の整備（物品購入）	メタンガス等対策として滞留を防止する観点から電気本管桝蓋等の有孔蓋を整備するもの	2025/2/21	33,185,900
電気引込桝蓋有孔蓋の整備（物品購入）	メタンガス等対策として滞留を防止する観点から電気引込桝蓋の有孔蓋を整備するもの	2025/2/21	245,575
雨水桝万博デザイン有孔蓋の整備（物品購入）	メタンガス等対策として滞留を防止する観点から雨水桝万博デザイン蓋の有孔蓋を整備するもの	2025/2/21	990,220
合　　計			34,421,69[illegible]

（参考）前回からの進捗内容

（1-6）大工区（会場基盤撤去）　【約0.5億円】

（単位：円）

案件名称	案件概要	契約日	契約額
会場基盤施設等撤去工事積算補助業務	万博会場内の基盤インフラ、ランドスケープ等の撤去に必要な設計書及び関連資料の作成業務	2024/12/25	54,021,000

（2）インフラ設備　【約3億円】

（単位：円）

案件名称	案件概要	契約日	契約額
催事施設（屋外イベント広場）運営管理業務	催事計画の深度化に伴い施設に必要となる舞台関係設備等の追加工事	2024/12/11	121,411,907
催事施設（大催事場・小催事場・小規模ステージ）運営管理業務	催事計画の深度化に伴い施設に必要となる舞台関係設備等の追加工事	2025/1/10	122,096,024
電気工作物使用前安全管理審査業務	電気事業法に基づく会場の電気工作物を対象とした使用前安全管理審査業務	2025/1/28	4,136,285
合　計			247,644,216

（3）交通施設　【約0.3億円】

（単位：円）

案件名称	案件概要	契約日	契約額
EVバス充電設備管理システム等委託業務	交通ターミナル等に設置するEVバスの充電設備管理システム構築業務	2025/1/20	31,570,000

協会発注施設の工事進捗状況

○大工区の進捗状況

R7.2末現在

名　称	進捗率
大工区（PW３工区及びGW工区）	99%
PW北東工区(大屋根650m、Bパビリオン２棟、Cパビリオン１棟ほか)	99%
PW南東工区(大屋根740m、Bパビリオン１棟ほか)	99%
PW西工区(大屋根730m、Bパビリオン２棟、Cパビリオン３棟ほか)	100%
GW工区（屋外イベント広場、西ゲートほか）	99%
※大屋根リング（木造建築部分が完成　8/21）	100%

※進捗率は、「工事費用（出来高分）／総工事費用」で算出。
ただし、大屋根リングは、「建て方着工長さ/リング長」で算出。

（参考）協会発注施設の工事進捗状況

○個別の施設の進捗状況

R7.2末現在

	施設名称	進捗状況	工事着手
催事施設	大催事場	建設工事：　2/25竣工（検査後手直及び舞台設備工事中）	R5.12
	小催事場	建設工事：　3/　7竣工予定（外構工事及び舞台設備工事中）	R5.10
	迎賓館	建設工事：12/20竣工	R6.1
テーマ館	宮田館	建設工事：10/31竣工　→展示工事中	R5.12
	※石黒館	建設工事：10/17竣工　→展示工事中	R5.9
	※中島館	建設工事：12/13竣工　→展示工事・外構工事中	R5.10
	落合館	建設工事：　2/　6竣工　→展示工事中	R6.1
	福岡館	建設工事：　2/　7竣工　→展示工事中	R5.11
	河森館	建設工事：12/20竣工　→展示工事中	R6.1
	河瀬館	建設工事：　3/　6竣工予定（エントランス棟：外装完了、内装工事中、対話シアター棟：展示工事中、森の集会所：外装完了、内装工事中）	R6. 1
	小山館	建設工事：　3/13竣工予定（雑工事、展示工事中）	R6.1
供給施設	電気供給施設	高圧地中幹線完了、各施設へ順次送電工事中	R5.6
	熱供給施設	熱源設備工事概成（一部建物との試験調整中）	R5.3
土木	基盤整備	基盤整備工事完了	R4.10
	静けさの森	植栽工事完了、建設工事：3/　6竣工予定	R5.10

※石黒館、中島館は現物協賛

会場全体（南西から市内中心方向）

撮影日　2025/2/19



©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition, All rights reserved.

会場全体（南東から西方向）

撮影日　2025/2/19



©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition, All rights reserved.

シグネチャーパビリオン（南→北）

撮影日 2025/2/19



©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition, All rights reserved.

報告事項２

　会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件

２０２５年3月１７日
公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会
会長　　十倉　雅和
事務総長　　石毛　博行
副事務総長　小野　平八郎
副事務総長　　髙科　　淳
副事務総長　　東川　直正
副事務総長　　田中　清剛
副事務総長　　櫟　　真夏
副事務総長　　水谷　　徹

職務執行状況報告書

この報告書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第９１条第２項及び定款第２２条第３項の規定に基づく代表理事及び代表理事以外の業務執行理事の自己の職務の執行の状況に関する報告であり、報告事項は下記のとおりです。

記

１．事業活動の概況
　２０２４年度事業活動概況報告書（第２回）のとおり
２．事業及び経理上生じた重要事項
　該当なし
３．重要な組織の活動状況
　該当なし
４．理事会の決議事項のうち特に重要な事項の経過
　該当なし

以上

２０２４年度事業活動概況報告書
（第２回）

自　２０２４年９月　１日

至　２０２５年２月２８日

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会

報2-2

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会
２０２４年度 事業活動概況報告書（第２回）
（２０２４年９月１日から２０２５年２月２８日まで）

１ 博覧会開催に向けた万全な準備

（１）シグネチャープロジェクトの具体化

ア　プロデューサーと協働してテーマ館の建築・展示の施工ならびにイベントの実施計画を完成させ、会期中の運営に向けた体制整備・スタッフトレーニングを実施する。

２０２４年１０月７日および１月１７日にプロデューサー会議を実施した。

２０２５年１月１４日にシグネチャーパビリオンのアテンダント募集を終了した。

さらに、２０２５年１月１６日の国際参加者会議 2025 年（ＩＰＭ ２０２５）の Pavilion Showcase Forum のセッションにおいてテーマ事業プロデューサーによる発表を実施し、公式参加者との連携を呼び掛けた。

イ　ますますの万博の機運醸成を図るため、テーマ事業の進捗をウェブやイベントで発信する等、テーマ事業の効果的なＰＲ活動を展開する。

２０２４年９月２４日に河森プロデューサーによるユニフォーム発表会を実施した。

２０２４年１０月１７日に河瀬プロデューサーによる近鉄電車ラッピング車両お披露目会を実施した。

２０２４年１０月３０日に NewsPicks によるウェブ番組「WeeklyOchiai」で８名のテーマ事業プロデューサーが登壇するプログラムを公開した。

２０２４年１１月２６日に福岡プロデューサーによる展示実機初公開・メディア向け取材会を実施した。

２０２４年１２月１２日に宮田プロデューサーによるアテンダントスタッフユニフォーム発表会を実施した。

（２）未来社会ショーケース事業の具体化

ア　スマートモビリティ万博

外周バス事業を担う大阪市高速電気軌道株式会社・関西電力株式会社・株式会社大林組・株式会社ダイヘンと２０２４年１２月２６日に協賛契約を締結した。

会場内で主に長距離歩行が困難な方を対象としたパーソナルモビリティにかかる協賛契約書を２０２５年１月３１日にダイハツ工業株式会社と協賛契約を締結した。また同事業にかかる運営委託業者を公募により決定した。

【空飛ぶクルマ】

会場内ポート運営については、オリックス株式会社と、運航事業については、ANA ホール

ディングス株式会社・Joby Aviation,Inc.、株式会社 Soracle、丸紅株式会社、及び株式会社 SkyDrive と実施内容等について協議・調整を行った。

イ　デジタル万博

無線 LAN 環境・ローミング基盤の Wi-Fi アクセスポイント協賛台数増加について、シスコシステムズ合同会社と２０２４年１０月１１日に変更契約を締結した。自動翻訳システムについて、新たに「SoundUD コンソーシアム」（代表企業：ヤマハ株式会社）と２０２４年１１月１５日に協賛契約を締結した。

また、事業を支える各アプリの名称について、来場者向けパーソナルエージェント（日本電信電話株式会社協賛）は「EXPO2025 Personal Agent」、自動翻訳システム（TOPPAN ホールディングス株式会社協賛）は「EXPO ホンヤク」等にそれぞれ決定した。

ウ　バーチャル万博

バーチャル万博の実現に向け、ＩＰＭ ２０２４ Summer などにてバーチャルパビリオン展示制作に向けた周知やサポートを行い、出展者によるコンテンツ制作を推進するとともに、バーチャル催事の募集と内定通知を行った。

EXPO 共創事業については、新たに２０２４年１０月７日に株式会社ププルインターナショナル、２０２４年１１月１４日にハイセンスジャパン株式会社と協賛契約を締結した。

また、会期中の交流イベントに関する運営事業者を公募し、株式会社セレスポを最優秀事業者として選定した。

エ　アート万博

【ウォータープラザ水上ショー】

協賛者であるサントリーホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社と実施に向け実施内容、運営計画等について協議・調整を行った。

また、２０２４年９月２５日超早割抽選にあわせイベント予約を開始するとともに、２０２４年１２月２４日にショーの詳細情報としてキャラクターデザイン、声優、昼の演出等について発表した。

【静けさの森インスタレーション】

協賛者であるアサヒグループジャパン株式会社と実施内容等について協議・調整を行った。また、個々のアーティストとの作品制作の契約を締結、実施委託事業者とともに、インフラ整備等、作品設置に向けた調整を行った。

【プロジェクションマッピング事業】

プロジェクションマッピング作品の公募に向け、実施委託事業者を決定。２０２４年１１月１５日より作品募集を開始した。

【パブリックアート事業】

２０２４年１２月１８日、株式会社アートローグ（大阪関西国際芸術祭）をはじめとする各者と協賛契約を締結。設置場所や内容等、実施に向けた調整を行った。

オ　グリーン万博

新たにエア・ウォーター株式会社・戸田工業株式会社、積水化学工業株式会社、九州大学及び名古屋大学と協賛契約を締結した。また、ENEOS 株式会社と協賛契約締結に向けた協議・調整を行った。

また、会場内で発生する廃棄物の削減対策の一つとして、建物、建材・設備、什器・備品のリユースを促進するためにWebサイトを利用したリユースマッチングサイトの構築を株式会社 JEMS ほか１１社と、難再生古紙の再資源化に向けては、コアレックス信栄株式会社と契約を締結した。

なお、協賛が決定した事業については、具体的な設計・施工・展示に向けた調整及び検討を行い、施設の建設等を進めた。

さらに、脱炭素・資源循環に関する取り組みについて、２０２５年１月３１日にシンポジウムを開催し、取り組み状況について広く情報を発信した。

その他、小中高生向けの展示と体験型プログラム及び環境・建築に関する会場内ツアー事業「ジュニア SDGs キャンプ」については、２０２４年１１月１４日に会場施設であるサステナドームを鹿島建設株式会社より受領し、個別プログラムの制作について公式参加者等関係者との調整を行った。

カ　フューチャーライフ万博

【未来の都市】

メディア関係者向けのパビリオン展示内容発表会を第１弾（２０２４年7月１７日大阪）、第２弾（２０２４年８月２８日東京）、第３弾（２０２４年１２月３日東京）を立て続けに実施した。

協会委託の運営スタッフ、アテンダントの内定式を２０２４年１１月３０日コングレスクエア中之島にて実施し、１００名が参加した。

２０２４年１１月にパビリオンの建屋外観が完成し、１１月３０日より展示エリア施工を開始し、２０２５年１月末に完了した。

「未来の都市共通展示の企画・設計及び映像コンテンツの企画・制作等業務」に展示工事等調整業務を追加する変更契約を２０２４年１２月に締結した。

【フューチャーライフエクスペリエンス】

２０２４年１２月１５日に参加募集を終了。常設展示７枠、期間展示１５４枠、ステージ１９０枠が決定。

広報プロモーションについて、２０２５年１月２０日に期間展示とステージの第６弾参加者を発表。２０２５年１月２１日に道修町オフィスにて常設展示の出展企業・団体の

プレス発表会、また２０２５年２月１２日に東京でＦＬＶ全体の展示交流会を実施した。

（３）催事計画の具体的推進

ア　催事基本計画に基づき、万博に相応しい催事の企画内容を決定の上、その推進体制を構築し、実施に向けた準備を行う。

万博にふさわしい多彩な催事を検討することを目的に設置した「大阪・関西万博催事検討会議」の第６回（９月３日）第７回（１２月２日）に開催し、イベントの内定状況や編成状況、協会主催者催事（OneWord,OnePlanet）（Physical Twin Symphony）（万博サウナ）の具体的な企画内容の説明、会場視察（Expo アリーナ、Expo ホール等）を実施。各委員からご意見を頂いた。

イ　ナショナルデー及びスペシャルデーなどをイベントガイドラインに基づき、公式参加者（国・地域・国際機関）を募集し、それを推進する。

１２月１０日時点で１５６か国・地域・国際機関のナショナルデー・スペシャルデーを公表した。

１１月にはナショナルデー・スペシャルデーの実施にあたり、当日の代表団の動き、各種関連ガイドラインの情報も盛り込み、１冊で実施のためにまとめた「ナショナルデー・スペシャルデー基本プログラムガイドブック」とナショナルデー・スペシャルデーや自主催事について、催事の実務担当者向け ND ホールでの開催を例に、当日のスケジュール、イベント開催のヒント、AD 証等の関連ガイドラインによる注意点をまとめた「催事制作ガイド」を発出した。

ウ　開会式実施計画の策定及び実施準備を行う。

事業者決定後、開会式実施本部会議を中心に開会式の実演コンテンツや映像コンテンツの内容を決定した。

国内外へ発信し、参加者へ「大阪・関西万博 2025」のメッセージを伝え、感動を与える式典内容。NHK の中継放送も決定した。

エ　閉会式基本計画及び実施計画策定に向けた準備を行う。

愛・地球博の「閉幕祭」を参考に、閉会式の必要コンテンツの整理を実施。組織体制の構築と役割分担、予算の配分、テーマ・方針・全体スケジュールの検討に入った。

オ　催事編成カレンダーの策定

９月３日に公表の許諾を得られた企画に関し、主要イベント施設のイベントカレンダーを公表した。

その後も主要なイベントは個別にホームページで紹介しているほか、公式アプリ

「EXPO2025 Visitors」で適宜公表している。

（４）テーマウィークの推進

ア　協会主催のテーマウィークプログラム「アジェンダ 2025」の実施に向けた準備を行う。

２０２４年１１月２１日に、アジェンダ 2025 主催プログラムにおける最終企画会議を実施し、企画内容を固めるとともに、招聘準備をすすめ、全モデレーターを決定、パネリストについても目途をつけた。

また、決定した企画内容を元に、モデレーターも含めてプログラム進行台本の準備を進めた。

さらに、決定したモデレーター・パネリストと順次、旅程等の調整を進め、円滑な実施にむけた準備を行った。

イ　テーマウィークの全体事務局を設置し、主催者に加え、公式参加者、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業などのテーマウィークプログラムも集約し発信する。

２０２４年９月２５日にテーマウィーク特設 WEB サイトを開設するとともに、７月より開始していたテーマウィークプログラムエントリーを経て準備が整った８３プログラム（アジェンダ 2025 主催プログラム含）について公表・発信し、プログラム実施主催者との実施にむけた調整に着手した。

その後も集約をすすめ、２０２５年１月１０日には１４７プログラムをカレンダー形式で、同サイトにて公表・発信するとともに、１月１５日開催のＩＰＭ　２０２５において、全公式参加者にさらなるテーマウィークへのプログラムエントリーを呼びかけるなどプログラムの充実に努め、約３００プログラムの開催見込みとなった。

２０２４年１１月には、テーマウィークプログラムの主要会場の一つとなる「テーマウィークスタジオ」について、工事に着手し、２０２５年２月に完成した。

ウ　全国からテーマウィークの会場外関連プログラムとして参加できる「テーマウィーク コネクト」の集約を進め発信する。

テーマウィークコネクト登録にかかる判断要素について、より魅力的なプログラム参加につながるよう、プロデューサーなどとも連携・工夫しながら、受付・審査を継続実施した。

２０２４年９月２５日のプログラム公表では、６プログラムの公表を行うとともに、内閣官房や経済産業省等、またイベント関連会社等との連携もすすめ、１０プログラムを超える参加を見込むこととなった。

（５）会場整備

ア　会場施設の建築工事完了

大屋根リングをはじめとした各工区の施設及び大催事場、小催事場、迎賓館、シグネチャーパビリオンについて、２０２５年２月２８日までに建物工事が完了した。

また、若手建築家設計施設（休憩所・トイレ等）２０件のうち展示施設、ポップアップステージ西、トイレ１を除く１７件についても２０２５年２月２８日までに工事が完了した。

さらに、各工区のランドスケープ工事、静けさの森工区についても、会場全体の状況に合わせて工事を進め、２０２５年２月２８日までに完了した。

イ　仮設インフラ工事の完了

会場基盤整備（園路基盤整備、雨水管・汚水管等設置）は完了し、２０２４年１２月２日に熱（冷・温水）、２０２４年１２月２７日に給水及び下水（汚水）の供用を開始した。

電気についても準備が整った施設から順次送電を開始した。

ウ　環境影響評価書・事後調査計画書に基づく事後調査の継続実施

公表済みの事後調査計画書に基づき、建設工事中における鳥類の飛来状況を含め、環境影響要因を調査し、調査が終了した陸域動物の調査結果を事後調査報告書としてとりまとめ、２０２４年１２月２７日に公表した。

エ　会場内施設等の維持管理に関する発注、維持管理業務の開始

完成引渡しを受けた施設から順次維持管理（巡回、点検、植栽管理等）業務を開始した。２０２５年１月６日から管理本部中央棟施設管理事務所に業務受託事業者が常駐し業務を実施した。

大屋根リング屋上緑化の維持管理を２０２５年３月１日から実施するため、２月２０日から管理本部中央棟施設管理事務所に業務受託業者が常駐し、業務を開始した。

（６）来場者輸送対策の実施

ア　来場者輸送対策協議会にて、施設管理者や交通事業者等とともに輸送計画を具体化し、その推進を図る。

２０２４年１２月１０日に第７回協議会を開催し、具体方針（第４版）における課題等の検討を進め、「大阪・関西万博来場者輸送具体方針（アクションプラン）第５版（最終版）」を策定し、万博開催期間中の輸送状況等を報告するための「輸送対策部会」の設置を決定した。

＜来場者輸送対策協議会の関係検討会等＞

２０２４年９月１３日に、『「桜島駅シャトルバス 運転士出向契約に関する合意書」

説明会・調印式』を開催し、全国の貸切バス事業者等から運転士を出向していただく運転士斡旋スキーム及び運転士出向に関する合意書の内容について説明を行い、貸切バス事業者とバス運行事業者間で斡旋スキーム活用の第１号となる合意書締結の調印を行った。

２０２４年１０月３日に、２０２３年に設置した「万博駐車場交通連携システム検討会」（第３回）を開催し、万博Ｐ＆Ｒ駐車場予約システムの検討状況、万博Ｐ＆Ｒ利用料金の報告などを行い、検討会を終了した。

２０２４年１０月１０日に、２０２３年に設置した「大阪・関西万博 駅シャトルバス予約決済サービス等システム連携検討会」（第３回）を開催し、KANSAI MaaS を活用した駅シャトルバスの予約システムが稼働するにあたり、博覧会協会が構築した来場者MaaS との連携を含むシステムの最終確認を行い検討会を終了し、駅シャトルバスの運行便数、桜島駅シャトルバスダイヤの公表を行った。

２０２４年１０月３１日に、２０２３年に設置した「大阪・関西万博 夢洲会場タクシー運用ルール検討会」（第４回）を開催し、タクシー乗降場レイアウト、万博交通ターミナルへの入構方法の周知の進め方などについて取りまとめを行い、検討会を終了した。

２０２４年１１月５日に、２０２３年に設置した「大阪・関西万博 自転車アクセス協議会」（第３回）を開催し、自転車による万博会場へのアクセス方法や自転車駐車場等の利用方法の確認、シェアサイクル等の導入、地域連携等などについて取りまとめを、検討会を終了した。

２０２４年１１月１３日に、「夢洲北岸浮桟橋の使用許可申請に係る説明会」を開催し、水上航路を活用した大阪・関西万博会場への安心・安全な来場者輸送を実現することを目的に、夢洲北岸浮桟橋の使用許可申請に向けた説明会を実施した。

２０２４年１２月４日に、同年に設置した「大阪・関西万博 大型荷物持ち込み対策検討会」（第３回）を開催し、公共交通機関への大型荷物持ち込み増加に対し、安全で円滑な移動の確保に向けた対策の取りまとめを行い、検討会を終了した。また、２月６日に宿泊、旅行等の各事業者団体に対して、検討会で取りまとめた対策の実施についての働きかけを行った。

１月３０日に、２０２３年に設置した「大阪・関西万博 日帰り教育旅行の輸送に関する検討会」（第３回）を開催し、日帰り教育旅行の来場需要及び交通手段が確保されたことを示すとともに、団体入場ゲートの設置や暑熱対策の実施等、会場側の受け入れ体制について取りまとめを行った。

イ　来場者輸送具体方針に基づき、2025 年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議において、関係機関と共に一般交通への時差出勤等の働きかけにかかる周知を図るとともに、試行を実施する。

２０２４年１１月１９日に第１０回幹事会、２０２４年１２月２３日に「２０２５年

大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」（第４回）を開催し、２０２４年９月３０日から１０月４日に実施した万博ＴＤＭトライアルの効果について報告を行った。

また、２０２４年に開始した「万博ＴＤＭパートナー」の企業募集について、１万事業所の登録を目標とし、インセンティブの導入や、府県市民への広報・周知などについて、関係機関と引き続き連携して取り組みを進めて行くこととした。

ウ　交通ターミナル等の工事を完了するとともに、運営に向けた準備を進める。

２０２４年１０月１３日に、会場へのアクセスに関する情報をまとめたサイト（EXPO２０２５ 交通インフォメーション）をオープンし、交通アクセスの日時予約を開始した。

２０２４年１０月１５日に、「２０２５年日本国際博覧会 大型荷物等一時預かり及び配送業務委託」に係る公募の最優秀提案事業者と契約を締結し、弁天町駅周辺及び桜島駅シャトルバスターミナルに大型荷物一時預かり所を事業者により整備を行った。

２０２４年１２月１０日から１月１５日までの間、新しいモビリティのスタイルとしてシェアサイクル等を導入するため、「２０２５年日本国際博覧会 夢洲自転車駐車場内でのシェアサイクル等ポートの運営事業委託」に係る委託事業者の公募を行い、２月２８日に事業者を決定した。

駐車場並びに建築物等の賃貸借について、１月１０日から順次施設の引渡しを受けて２月末で概成した。

（７）企業・団体等の参加計画

ア　企業・団体等は、ともにテーマの実現を目指すパートナーであり、これまでの万博よりも幅広い参加ができるよう、多様な参加メニューを用意することでより多くの参加を促す。

幅広い協賛の獲得に向け、大企業のみならず、中小企業及びスタートアップ企業等の参加促進を主眼に置きながら、万博の会場整備および運営に必要な施設・物品・サービス等の協賛募集・受け入れを継続して実施した。（２０２４年１２月２３日から２０２５年２月２８日：第７回運営参加（航空輸送支援））

２０２４年９月３０日までに新たに協賛が決定した６７者について、協会ホームページ上で社名公表を行った。これにより、会場整備参加・運営参加の協賛者は、計３００者となった。

イ　民間パビリオン出展参加者とともに、魅力あふれるパビリオンを実現する。

出展者会議を毎月継続的に開催し、パビリオン出展者への展示・運営等の支援を行った。

ウ　催事特典など参加メニューに応じた個別特典を用意し、より多くの参加を促す。

協賛プロモート活動を進めるにあたり、各催事場やスタジオ施設、ユニフォームなどに表示する名称表示ルールの設計を行った。

また、催事協賛プロモート活動の強化を目的に、催事施設内での名称表示設置個所やサイズ、映像表示における名称表示ルールなどの個別設計を具体的におこなった。

エ　キャッシュレス決済及び EXPO 2025 デジタルウォレットサービスを効率的、効果的に運営する。

「キャッシュレス決済」と「EXPO2025 デジタルウォレット」の機運醸成のため、三井住友銀行グループ、りそな銀行グループ、SBI ホールディングス（アプラス社）、三菱 UFJ グループ、HashPort 社、キャッシュレス推進協議会、大阪観光局、大阪商工会議所、大阪外食産業協会、VJA 加盟店、近鉄百貨店、日本デジタル空間経済連盟等と連携し、プロモーション施策を実施した。

また、「EXPO2025 デジタルウォレット」の事業連携サービスでは、JNTO、JETRO、大阪市、鳥取県、グリーンロケッツ等との万博機運醸成につながる様々なコラボイベントを実施した。

さらに２０２４年１２月４日に、はるな愛氏、宮田プロデューサーにご登壇いただき、デジタルウォレットのバージョン UP とデジタルウォレットパークの概要を発表した。デジタルウォレットパークは、２０２５年１月に区画引き渡しを実施し、同年１月に施工を開始した。

加えて、KITTE 大阪の「Giftpad space」 にて、２０２４年１２月３１日より、ミャクポ！ポイントと入場券（一日券・開幕券）の交換を開始した。また、ミャクポ！景品交換店舗サービス（EC サイト）の開設と限定グッズの交換を、２０２５年２月１４日から開始した。

なお、キャッシュレス決済の対応ブランド、プリペイドカード対応協賛企業の発表を２０２５年２月１４日に行った。加えて、３月４日からデジタルウォレットのバージョン UP を発表するとともに、３月下旬にデジタルウォレットパークのサービス内容の公表を行う予定。キャッシュレス決済・EXPO2025 デジタルウォレットガイドラインの改正・発出を同年１月末に行うとともに、会場内決済の BCP 計画書については、同年３月に発出する予定。

オ　協会公式クラウドファンディングを実施し、万博への参加意識を高める。

実施に向けて具体的な検討・整理を進める中で、協会の会計上受け入れられないこと、寄付を受ける場合の事前確認がシステム上難しいことなどが判明したため、検討を中止ている。

（８）持続可能性管理システム（ESMS）の構築と運用

ア　持続可能性方針を踏まえ、個別の取組・指標及び万博全体の指標について検討・整理し、持続可能な万博運営に係る取組を具体化して、ESMS を構築・運用し、ISO20121 の認証を取得する。

持続可能な万博運営に係る個別の取組を具体化し４月より運用開始した ESMS について、８月１３日に ISO20121 の認証を取得し、９月２６日に認証取得に関する記者発表を行うとともに HP で公表した。

また１月１６日に第１１回持続可能性有識者委員会を開催し、持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画（開催前報告書）及び EXPO2025 グリーンビジョンについて検討を行った。

人権に関する取組について、１０月１７日に第２回、２月５日に第３回人権ワーキンググループを開催し、人権デュー・デリジェンス（事業が及ぼす人権への負の影響と対応）について検討を行った。

イ　物品やサービスの調達プロセスにおける持続可能性への配慮を図るため、持続可能性に関する基準や担保方法等を定めた調達コードを運用する。

１０月１６日に第１１回持続可能な調達ワーキンググループを開催し、調達コードの実施状況について検討を行った。

調達コードに関する通報受付対応（グリーバンス・メカニズム）について、通報を１件受け付けた。通報対応アドバイザリー会議の助言を得ながら情報収集し検討した結果、処理手続を開始することは困難と判断し、手続を終了した。

（９）万博ＩＣＴシステム及び万博通信インフラの整備

ア　万博ＩＣＴ-ＰＦシステムを安定的に運用する。また、データ利活用に向けて機能強化を行う。

データ利活用に向けての機能強化として、２０２４年９月１日より、サービス連携機能の本格運用を開始した。

イ　会場内の情報通信インフラ構築を完了し、会期に向けて会場内ネットワークおよびデータセンターの保守運用を円滑に実施する。

２０２４年１０月１日より、夢洲にて会場内ネットワークの運用を開始した。

ウ　会場内での無線機利用に必要な手続き等を規定する万博会場内無線機利用にかかるガイドライン（運用編）を策定し、会場内の電波利用環境保護のための体制を確立する。

「万博会場内無線機利用に係るガイドライン（運用編）」に基づき、２０２４年１０月１日より無線機利用申請の受付を開始した。

（１０）万博におけるサイバーセキュリティ対策

ア　会期中の各システムの安定運用に向けたサイバーセキュリティオペレーション体制の構築および協会内外との連携強化を実施する。

情報セキュリティの運用および管理について、委託事業者とともに実施している。

（１１）データ利活用に向けた取り組み

ア　２０２３年度に制定したデータ利活用ガイドラインに基づき、出展者等からの申請受付、データ連携基盤との接続を進める。

出展者などからのデータ利活用申請受付を締め切り、準備の完了したシステムよりデータ連携基盤と各種システムへの接続を実施し運用を開始した。

（１２）来場者サービス・会場管理の具体化

ア　来場者サービスやサービス施設、サービス提供体制の検討・実施

来場者サービス実施運営のため、２０２４年４月から６月にかけゲストサービスアテンダントの募集が行われ、６００名強の定員に対して、国内外から１６，８２８名の応募があり、約１，０００名の内定者が決定し、１０月１５日に約８００名の参加者にて入社式を実施した。

内定された方々に対して、スタッフ研修を１０月基礎研修（接遇など）、１２月専門研修（ICT・ユニバーサルなど）、３月現地研修のスケジュールで進めている。

会場サービス計画の要件を整理し、案内所等の各サービス施設の運用について検討の上、運営マニュアルの完成に向けて準備を進めている。

イ　情報提供サービスの検討・実施

２０２４年９月より会場内デジタルサイネージの具体的コンテンツを各原課と調整し、２０２５年１月には実際のコンテンツ画面を協会内でデモンストレーションした。

今後コンテンツの修正と充実と進めていく。サイネージ本体の設置は２０２５年２月より開始し、２０２５年３月には会場現地での総合テストを進める

来場者向けアプリケーション「EXPO 2025 Visitors」の開発を進め、２０２４年９月１８日に第一段階での一般向けリリースを実施した。２０２５年３月に第二段階リリースを実施し会期本番に備える。

会場内放送については、放送内容の検討と整理を実施した。多言語への対応システムの構築を進めた。

ウ　ユニバーサルサービスの検討・実施

２０２４年５月からユニバーサル関連マップ「バリアフリーマップ」「センサリーマ

ップ」「触知図」についての検討を行った。同年１０月から万博 HP 内にユニバーサルページの作成を検討し様々なユニバーサル関連情報の掲載のため多部局との調整を行い、バリアフリーマップ及びセンサリーマップについては、当該ページへのデータ掲載予定。会期中は現地でのプリントアウトにて配布。触知図については各団体などへ寄贈し事前閲覧及び情報発信を検討し、当該ページでの情報発信も検討。

エ　ボランティアの募集・運営

２０２４年１０月以降、ボランティア活動の基礎知識等を習得していただくための研修を実施した。

オ　ペット同伴の検討

２０２４年９月１３日の理事会にて「ペット同伴来場実施見送り」について決議し、ペット同伴来場の実施見送りが決定した。

カ　アクレディテーションの検討・実施

２０２４年１０月７日に AD 証の受渡しを行う「メイン AD センター」を ATC に開設し、１０月１７日には AD 証登録サイトをリリースし、AD 証の登録・発行申請の受付から受渡しまでを開始した。

また、２０２５年３月末の運用開始を目指して、関係者ゲートにおける AD 証認証機器の設置工事や「サブ AD センター」（夢洲会場東ゲート付近）のレイアウト工事を実施した。

キ　清掃・廃棄物処理等、会場管理の検討・実施

廃棄物管理業務及び清掃業務の実施計画及び作業マニュアルの作成や調整を行うとともに、廃棄物処理業者との契約締結を進め、１月１４日から会場内廃棄物管理業務を、１月２０日から会場内清掃業務を開始した。

ク　営業施設の配置や事業収支の検討・実施、事業者の募集

期間を通じて営業参加公募で決定した事業者と参加契約及び出店へ向けた継続協議を実施した。また、９月１２日から２月１９日にかけて事業者へ運営にかかる各種説明会を計８回実施した。さらに、１２月９日に大規模小売店舗立地法に基づき大阪市で開催された審議会に参加し、１３日には「意見なし」との通知を受け取り、手続きが完了した。

ケ　場内輸送の検討・実施

会場内・外周バス事業について、協賛者（関西電力株式会社・大阪市高速電気軌道株式会社・株式会社ダイヘン・株式会社大林組）と２０２４年１２月２６日に協賛契約書

を締結し、EV バス運行等に係る協議を実施した。

また、来場者向けパーソナルモビリティについて、機体メーカーと協賛に向け継続協議を実施するとともに、２０２４年１２月１１日に実施計画の策定、会期中の運用等に係る業務委託契約をＴＳＰ太陽株式会社と締結。万博会場内での同機体の運用について検討を実施した。

さらに、関係者モビリティについて、自動車メーカー７社（マツダ株式会社、株式会社ＳＵＢＡＲＵ、日産自動車株式会社、ダイハツ工業株式会社、三菱自動車工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、本田技研工業株式会社）、ヤマハ発動機株式会社と協賛契約書を締結した。

コ　物流に関する検討・実施

協会が運営する倉庫について、１１月１日から運用を開始した。

車両の入退場を管理するシステムについて、４月の本稼働に向けて１１月１日から協会内のみの仮運用を開始した。

宅配便セキュリティセンターについて、１０月２２日に事業者と契約を締結し、３月１日からの運用開始に向け調整を進めた。

（１３）危機管理体制の構築・実施

ア　会場警備対策

９月以降も、協会警備隊を委託した事業者と毎週定例会議を開催、警備マニュアル等を作成している。

９月末に警備資器材の１回目の搬入を行った。

１０月１日より会期前Ⅰ期警備から会期前Ⅱ期警備に移行した。

１１月７、８日にスクリーニング機器の実証実験を行った。

イ　災害対策

第７回安全対策協議会を経て、２０２４年９月２日に防災実施計画及びその概要版を策定のうえ、公表した。

会場外一時滞在施設として

９月５日　　アジア太平洋トレードセンター株式会社

１０月１７日　　社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会

１１月８日　　学校法人森ノ宮医療学園

と協定を締結した。

また、来場者の帰宅支援に関し、大阪府市と協議、調整を進めた。

加えて１２月以降、災害用備蓄品について、会場内倉庫への納入を開始した。

２０２４年１２月３日に、協会内の大規模震災発災後の情報収集及び事務局の運営に

係る訓練を実施し協会内の認識の共有を図った。

その成果を反映し、２０２５年１月１７日に、大阪府が主催する「令和６年度大阪府地震・津波訓練」に参加して、机上訓練を通じた大規模地震に係る協会災害対策本部の設置・会議による対処能力の向上及び大阪府との WEB 会議による被害状況の認識の共有を図る等、連携強化を図った。また、ヘリや船舶による実動訓練を通じ、各救助機関等との連携強化及び尺度を獲得した。

同日、大阪市消防局と連携し、公式参加者に対する第１回防火管理講習を実施した。

ウ　医療救護対策

２０２４年１０月９日に開催した第４回医療救護協議会における構成員の意見を踏まえ、１１月２９日に医療救護対策実施計画を策定し協会ホームページに掲載した。

また、９月１０日・１１月２６日・１月１４日・２月２５日に第６回～９回運営検討分科会を開催し、医療救護対策実施計画に基づいた医療救護スタッフ向けの医療救護マニュアルや研修会について協議した。

エ　会場衛生対策

９月１９日に開催した第４回会場衛生協議会で出た構成員からの意見を踏まえ、９月３０日に会場衛生実施計画を策定し、協会ホームページに掲載した。

また、会場衛生実施計画に基づき、参加者等が開催前に行うべき必要な手続き及び開催期間中に行うべき衛生管理についての留意点を示す「衛生及び保健にかかるガイドライン（追補版）」を策定した。

さらに、会期中に発生の恐れがある、麻しん・侵襲性髄膜炎菌感染症等の発生時（疑いを含む）の流れや情報連携を確認するため、行政機関を含めた訓練を１１月１２日に実施した。

オ 事業リスク対策

一般規則及び特別規則第８号に基づき、協会が加入しなければならない強制保険３種類すべてについて１１月末に契約手続を完了した。付保漏れのないよう万博事業の進捗に合わせて引受保険会社への通知を開始しており、並行して協会内の確認作業を継続実施した。

参加者の強制保険手配を支援するため、初めて説明資料を作成しポータルにて開示するとともに、ＯＳＳを通じて支援した。あわせて保険事故発生時の対応マニュアル作成に着手し、引受保険会社・代理店との協議を継続実施した。

（１４）迎賓・接遇体制の構築・実施

ア　賓客接遇の検討

賓客接遇実施計画完成に向けて協会内最終調整中。国・府市関係機関などと引き続き連携、調整を実施した。

賓客接遇業務の委託事業者と会期向けて定例会議を継続して実施した。

イ　迎賓館運営

８月９日に業者決定した迎賓館運営業務の委託事業者（株式会社ロイヤルホテル）と、９月１７日に業務委託契約を締結した。

１２月２０日に整備局より迎賓館引渡しが行われ、家具・什器などの設置の開始をした。

ウ　日本館との連携

日本館業務のさらなる連携強化のため、協会と国及び委託事業者で構成する定例会議を隔週で開催した。

協会・日本館の接遇対応の情報共有なども合わせて実施した。

エ　賓客の警護体制

賓客警護の方針や配置案など大阪府警との調整を実施した。

ナショナルデー、スペシャルデー賓客対応として、ＩＰＭ　２０２５ 姫路にて、各国に現在の進捗状況などを説明した。

（１５）机上リハーサル/テストランの実施

ア　机上リハーサルの実施

日常的に発生するトラブルを想定したリハーサルを１０月１１日に、インシデントを想定したリハーサルを１０月２５日にそれぞれ実施した。

イ　テストランの実施に係る計画の策定

公式参加者に対し、テストラン実施計画をＩＰＭ　２０２５で説明した。

（１６）公式記録作成への取組

ア　公式記録（書籍・映像）基本方針の策定

公式記録（書籍・映像）制作業務について、プロポーザル方式により事業者を公募し、２０２５年２月に事業者を決定した。また、各部局の業務資料、業務記録の収集・保管を継続実施した。

イ　公式撮影業務委託の準備・募集

主要なイベント、発表会、説明会等の公式映像や公式写真の撮影を行った。

会期中の業務委託については、プロポーザル方式により事業者を公募し、２０２５年２月に事業者を決定した。

ウ　レガシーの記載

万博のレガシーについて会期後に公式記録に記載することを目標とし、経営企画室や広報部と協議を行いながら、引き続きレガシー候補の項目整理作業・検討を行った。

（１７）会期後の財産処分のための体制整備

ア　リユース・リサイクルのあり方検討

財産処分に係る資産譲渡のルール作成、譲渡先決定プロセスや公募日程の検討、財産処分要綱制定準備を進めた。

８月にリリースしたリユースサービス「ミャク市！」は「施設」「建材・設備」「什器・備品」に分類される。

「施設」については、８月から対象施設を順次掲載し、１月１日時点で２６施設掲載し、適宜需要家候補と協議を進めている。

「建材・設備」については、リース建築以外の施設を対象に、リユース対象品目を選定し、システムでの公募の準備を進めるとともに、リユース解体事業者の調達、閉幕後の解体計画との調整を進めている。

「什器・備品」については、次年度９月頃のリリースに向け、準備を進めている。

大屋根リング木材については、有識者を交えた検討会を開催、今年度３月に向け、構造材活用のための環境測定装置の設置に向けた準備を行っている。

ＩＰＭや出展者会議、フォーラムやシンポジウムを通じ、リユース促進のための、PR 活動を進めている。

２ 博覧会の機運醸成と入場券販売拡大に向けた取組

（１）戦略的ＰＲの実施

ア　機運醸成委員会の取組

第４回機運醸成委員会を１０月３日に開催し、「機運醸成行動計画 ver.2」に基づく活動状況と今後の取組み等を意見交換した。

また、既に公表している新キービジュアルを含むデジタルサイネージ用のスライドショーやテレビ CM 動画２本を発表した。

イ　協会ＩＰ（ロゴマークやキャラクター等）を活用したライセンス事業の展開

会場外オフィシャルストア（４店舗、累計２０店舗）、ポップアップストア（７カ所）を新規展開した。また、公式ライセンス商品の契約・製造・販売を促進した。

さらに、ＯＭＤコラボ商品の交渉・製造・販売等のライセンス事業の展開を行った。

（参考）

〔新規・会場外オフィシャルストア関連〕

9/4（東京）大丸東京店、9/5（兵庫）大丸神戸店、9/20（愛知）丸善名古屋店、10/12（大阪）エディオンなんば本店

〔新規・会場外オフィシャルポップアップストア（期間限定店舗）〕

8/27～9/27（東京）ハンズ新宿店、9/25～1/31（東京）いのち輝くシリーズ 外苑前店、10/26～10/27（大阪）BAYCREW'S FESTIVAL 店、2025/1/11～1/19（大阪）ららぽーと EXPOCIT 店、1/18～3/30（愛知）松坂屋名古屋店、2/11～5/31 予定（高松）ジュンク堂高松店、2/14～3/23 予定（仙台）丸善仙台アエル

〔新規コラボ商品関連〕

９月～２０２５年１月までに自治体キャラクターとのコラボ商品の販売を行った。箕面市「滝の道ゆずる」、東大阪市「トライくん」、泉佐野市「イヌナキン」、旭川市「あさっぴー、ゆっきりん」、島根県「しまねっこ」（企業 IP キャラクターコラボ）関西テレビ「ハチエモン」、朝日放送「エビシー」。

ウ　アンバサダー、スペシャルサポーターを活用した機運醸成活動の実施

〔アンバサダー（敬称略）〕

９月２５日、コブクロ、佐渡裕、山中伸弥が２００日前 SNS 投稿。

１０月１３日、コブクロ、佐渡裕、山中伸弥が半年前 SNS 投稿。

１１月１５日、コブクロが万博会場で収録したメッセージ動画を SNS に投稿。

１２月１日、佐渡裕が開幕日の「一万人の第九」出演を発表。

１月３日、コブクロ、佐渡裕、山中伸弥が１００日前 SNS 投稿。

〔スペシャルサポーター（敬称略）〕

９月２４日、NMB48 が河森館アテンダントユニホーム発表会にモデルとして出演。

９月３０日、はるな愛がスペシャルサポーターに就任。

１０月１２日、ゆうちゃみ＆ゆいちゃみがスペシャルサポーターに就任。

１０月１３日、東京で開催した開幕半年前イベントに青木崇高、はるな愛、ゆうちゃみ＆ゆいちゃみ、ハローキティ、くまモンが、また大阪では NMB48 が出演。

１２月４日、はるな愛がデジタルウォレット新サービス発表会に出演。

１月３日、開幕１００日前のメッセージ動画を１４組のスペシャルサポーターが SNS に投稿。

エ　公式テーマソングの認知・利用拡大

公式テーマソングの使用申請は１，５０７件（１月１７日現在）、楽譜の申し込みは、のべ１，４６３件。

１１月３日、コブクロが御堂筋ランウェイに出演しテーマソングを披露。

１１月１４日、コブクロがベストヒット歌謡祭に出演し万博会場からテーマソングを披露。

オ　ラッピング車両などによる万博ＰＲの拡大

開幕半年前、１００日前の時期に合わせて、山手線、東北新幹線、東急東横線、九州新幹線など、関西以外の地域でも新たな万博ラッピング車両の運行を開始。

また、１２月１２日から ANA の万博ラッピング機が国内線に就航。

カ　万博教育旅行誘致に関し、国・自治体と連携を図りつつ、取り組む

１２月１８日・２０日に内閣官房主催の教育旅行関係者・旅行会社を対象とした説明会を開催し２,０００名の参加があった。

教育旅行実施に関する会場内の施設情報等（マップ）や安全情報を掲載した「しおり」を３月中旬発行に向けて準備している。

キ　観光関係団体・事業者等と連携した国内外でのプロモーション活動に取り組む

「万博を契機とした観光推進ネットワーク会議」を２回開催し、観光ポータルサイト、海外プロモーション、機運醸成の取組状況の共有、及び今後の連携の取組やポータルサイトなど観光情報の充実、アクセス数増加などに向けて検討を行った。

（２）機運醸成のための各種プログラム、イベントの実施

ア　TEAM EXPO 2025 プログラムの推進

共創チャレンジや共創パートナーの登録者、「TEAM EXPO 2025」プログラムに関心のある方の交流を図るため、１１月２７日に第５回「TEAM EXPO 2025 MEETING」を大阪で、１２月１１日に第２回「TEAM EXPO 2025 MEETING in TOKYO」を東京で開催した。イベントには「TEAM EXPO 2025」プログラムに参加する数多くの団体が参加し、大阪・関西万博への機運醸成と参加者同士の共創活動を行った。

〔「TEAM EXPO 2025」プログラムへの登録数〕

共創チャレンジ　２,２４５件、共創パートナー４１６団体（１２月３１日時点）

イ　自治体等と連携した機運醸成活動の実施

全国知事会万博推進本部やブロック知事会への出席、各県知事への表敬訪問の機会等を活用し、地域における主体的な機運醸成の取組や万博の更なる活用要請を行った。

また、開幕半年前に合わせて作成した新たな広報 PR ツールを全国の自治体、経済団体等へ提供し、積極的な利活用を要請するとともに、全国各地のイベントへのミャクミャク派遣や PR ブース出展等により効果的な露出拡大を図った。

ウ　開幕１年前イベントなどの実施

２０２４年１０月１３日に「大阪・関西万博 来場日時予約キックオフイベント～開幕まで半年！～」を東京で開催した。併せて、関係者に各地で半年前関連イベントや SNS 発信等を実施していただいた。

エ　ジュニア EXPO2025 教育プログラムの推進等、教育機関と連携した若年層への啓発の促進

４月からジュニア EXPO2025 教育プログラムの募集を開始し、１２月末時点で全国３５都道府県の小中学校等２４７校、１０の国・地域の在外教育施設等の小中学校等２７校、計２７４校（昨年度は１２７校）が参加した。

また、１０月から１月に SDGs に取り組む企業と中学校２９校がオンラインで交流を行うリサーチミーティングを実施するとともに、２月に SDGs 達成のためのアイデア発表会「ジュニア EXPO」を開催した。

（３）入場券・パビリオン予約に関する取組

ア　販売体制の構築・充実

協会直販としては、主要経済団体および関西広域連合傘下の自治体と連携を取りながら、企業への購入依頼等の取組を継続した。また、経済産業省などとの連携を図り、寄付企業や協賛・出展企業、イベント主催者、公式参加国へチケット購入の働きかけを行い販売拡大に努めた。

販売事業者向けとしては、引き続き販売事業者契約を各旅行代理店等と締結し、販売体制の充実を図った。また２０２４年１０月１３日から来場日時予約が開始となり、各販売事業者への旅行商品造成の働きかけを行った。

イ　販売戦略の遂行

２０２４年６月から１０月にかけて、前売りチケット購入者を対象に景品が当たるプレゼント企画を３回実施し、当選者には特別記念チケット等のオリジナルグッズやミャクペ等の景品を贈呈した。

また、前売りチケットの販売拡大に向け、本企画でイベントの実施や SNS 広告を実施した。

ウ　パビリオン予約制度内容の決定

２０２４年９月２５日から１０月６日まで、超早割一日券をお持ちの方を対象に超早割特別抽選を実施した。

２０２５年１月１３日からは２か月前抽選の受付を開始した。

エ　パビリオン出展関係者、公式参加者との調整

９月～１０月に、要請のあった公式参加者とＯＳＳ（咲州）またはオンラインでミーティングを実施した。併せて、２０２４年１０月２８日と１１月２５日に国内民間パビリオン出展者会議にて関係者へパビリオン予約システムに関連する情報共有を行った。

その結果、超早割特別抽選には、８つの国・地域・国際機関を含む３１のパビリオンが参画、２ヶ月前抽選には、更に４つの国・地域・国際機関を含む５つのパビリオンが参画した（イベントを除く）。

２０２５年１月１７日のＯＳＳの場で、パビリオン予約制度の説明と参加要請を行った。

（４）広報活動の実施

ア　各種メディアを活用した広報の実施

各 PV、イベント等のコンテンツ発表等を中心に国内外へ情報発信を行った。また、英語版プレスリリースによる発信を強化し、在日海外メディアへの情報提供を強化した。

（参考）

〔情報発信を実施した事業〕

東京・大阪開幕半年前イベント（１０月１３日）

EXPO ゲストサービスアテンダント入社式（１０月１５日）

夢洲取材ツアー（１２月２０日）

初日の出取材会（１月１日）

ＩＰＭ ２０２４ Summer（１月１５、１６日）

年末年始番組、企画の取材、ロケ対応（１２月末）

イ　メディアセンター、サテライトスタジオ及び会場内放送設備の準備・開設

会期中のメディアによる情報発信に向けて、メディアセンター内のマスターコントロールルーム、インターネット回線、ライブ情報カメラ、会場全体の中継用設備、光回線の敷設等の整備を実施した。

また、メディアセンター実施計画の策定業務を実施した。

さらに、テレビの中継などで使用するサテライトスタジオにおいては、利用候補者との利用契約の締結を実施した。

ウ　公式 Web サイト、公式 SNS 等での多言語展開による国内外への情報発信

公式 SNS では、パビリオンの具体的な中身やイベント情報、活動報告、公式キャラクターミャクミャクの活動などの情報を投稿し、フォロワー数の増を図った。開幕１００日前には、会場の様子をドローンで撮影した臨場感のある動画や、スペサポからの年始

メッセージ、ステークホルダーへの SNS 投稿協力依頼など、機運醸成に向けた発信を強化した。

公式 Web サイトでは、入場チケットの販売に寄与するために、チケット購入サイトのユーザー導線を検証し、各券種情報へアクセスしやすくするデザイン変更や「今すぐ購入する」ボタンを追加設置するなどの取り組みを実施した。

エ　海外広報・プロモーションの促進

２０２４年９月～２０２５年２月まで海外・国内の国際イベントに積極的に参加し、万博の PR を実施した（下記「参考」参照）。また、２０２５年のＩＰＭのタイミングで参加国のメデイア・学生向けの発信イベント「グローバルショーケース」を実施（１月１５日、１６日）。また１月１６日、１７日は在日海外メディアツアーを実施し、１９社２５名の海外メデイアが参加した。２０２５年２月５日にフォーレンプレスセンター（FPCJ）のオンラインメディアブリーフィングに石毛総長が登壇し、77 名の海外メデイアと在日大使館関係者が参加。FPCJ のウェブのアーカイブで録音動画と資料を掲載し、同動画と資料を広く海外メデイア向けに共有した。

（参考）

海外イベントにおいて万博 PR を実施した。

８月３０日～９月１日　タイ　バンコク日本博

９月１３日～１５日　中国　広州国際旅行博、

９月１４日～１５日　インドネシア　日本ジャカルタおまつり

９月１２日～１６日　中国　北京サービス貿易交易会

９月２２日　韓国　ソウル　日韓交流まつり、

９月２３日　米国　NY　観光庁日米観光イベント、国連総会講演

１１月１日～４日　台湾　台北　台湾 ITF（旅行博）

１１月４日～１０日　UAE　アブダビ国際石油展示会

１１月５日～１０日　中国上海　中国国際輸入博

１１月８日～１０日　タイ　バンコク　FIT　Fair 旅行博

１１月２２日～２４日　中国上海　中国国際旅行博（※参加調整中）

１１月２７日　中国北京　関西財界中国ミッション派遣時の北京観光イベント

１２月１９日　台湾 iPASS×万博のコラボイベント

２０２５年

１月２５日～２６日　米国　ニューヨーク　TRAVEL AND ADVENTURE SHOW

１月３１日～２月１日　インド旅行博

２月２２日～２３日　米国　ロサンゼルス　TRAVEL AND ADVENTURE SHOW

２月２２日～２４日　香港旅行博

２月２２日～２４日　フィリピン　マニラ旅行博

国内開催の国際イベントにおいて万博の PR を実施した。

１０月２３日、２６日～１７日　「IGLT 世界総会およびレインボーフェスト」@大阪

１１月５日　「万博教室 in 青山学園大学」

１２月１３日～１４日　日 ASEAN ヤングビジネスリーダーズサミット@京都

２０２５年１月８日　「万博教室 in 西町インターナショナル」

１月２２日　「関西空港　春節インバウンド向け歓迎イベント」

３ 公式参加者への対応と支援

（１）公式参加者への対応

ア　万博の実施に向け、博覧会国際事務局（ＢＩＥ）と連絡・調整を行う。

２０２４年１０月１１日から１４日にかけて博覧会国際事務局（ＢＩＥ）の情報コミュニケーション委員会及び執行委員会が、同年１１月２６日には総会がフランス・パリで開催された。これらの会議において、協会は万博開催の準備状況に関するプレゼンテーションを行い、各国・地域に対して準備及びプロモーションの加速を呼びかけた（情報コミュニケーション委員会及び執行委員会は櫟副事務総長、総会は石毛事務総長が発表）。

また、２０２４年１０月、同年１１月及び２０２５年１月に、ＢＩＥケルケンツェス事務局長と十倉会長、石毛事務総長等との間で意見交換を行った。

イ　昨年度に引き続き International Participants Meeting（国際参加者会議）を開催し、最新情報の提供や質疑応答を通じ、公式参加者の理解促進、出展準備の加速を図る。

１月１５日・１６日にアクリエひめじ（兵庫県姫路市）において「国際参加者会議 2025 年（ＩＰＭ　２０２５）」を開催した。

本会議には約１６０か国・地域、国際機関の国際博覧会責任者が出席し、開幕を４月に控え、万博準備の中心が建設からイベント、運営、広報・機運醸成の３つへと大きくシフトする中で、フェイス・トゥ・フェイスでの情報提供に加え、リアル会合ならではの、公式参加者同士による進捗共有等もなされた。

また、１５の公式参加者と３つのシグネチャーパビリオンによる魅力発信の場として、「Pavilion Showcase Forum」を実施した。

ウ　公式参加者宿舎の申込受付・決定、宿舎管理・運営に係る準備を行い、2025 年 3 月[一部２０２４年１２月]からの円滑な宿舎入居を支援する。

宿舎を申し込んだ公式参加者と順次賃貸借契約を締結した。守口宿舎は、２０２４年１１月に宿舎ガイドブックを作成し、２０２５年１月から入居を受け入れた。梅田宿舎及び東喜連宿舎は、２０２５年１月に宿舎ガイドブックを作成し、３月からの入居に向け準備を進めた。

エ　公式参加者支援のためのワンストップショップ（ＯＳＳ）のさらなる機能強化を図るとともに、２０２５年１月にはＯＳＳセンターを夢洲会場内に設け、公式参加者に寄り添った形での運営支援を実施する。

２０２４年６月のＯＳＳオープン以来、半年間での累計相談件数は３，５００件を超え、公式参加者が持つハード、運営面での課題を解決するために、ＯＳＳの各分野の専門家が寄り添って、効果を出すことができた。また、必要となる申請もスムーズに一元化して行うことができた。公式参加者の万博準備のフェーズが運営分野に移行するなかで、公式参加者のニーズに合わせて、継続的に関係機関へ派遣増員を要請する等、ＯＳＳ内の人員体制整備を行った。

また、ＩＰＭ　２０２５に合わせて、１月１４日～１７日にＯＳＳ個別相談会ならびに銀行口座開設会を開催し、計１，６７１件の相談を受け付けた。

（２）途上国支援プログラムの準備・実施

ア　政府と予算協議を行いつつ、政府の委託等で関連事業を実施する機関（JICA 等）とも連携し、支援内容の具体的プログラムの企画・調整を進め、公式参加者に対し情報提供を行う。また、途上国支援プログラムの対象となる公式参加者パビリオン等の展示内装工事や運営の準備作業を担う事業者を選定し、支援事業を実施する。

途上国支援プログラムに関するガイドブックに基づき、公式参加者（途上国）から各支援項目に関する申請フォームを受理し、支援を実施する受託事業者との調整等を通じて、各パビリオンやバーチャル展示にかかる展示コンテンツ、会期に向けた運営準備、展示品の輸送（往航）、各国スタッフ等の訪日支援の準備等を行った。

また、ＩＰＭ　２０２５に参加する途上国に対する招聘事業を実施した。

（３）展示・内装工事支援

ア　公式参加者パビリオンの展示・内装工事がスムーズに行われるよう支援する。

展示・内装工事を円滑に進めるための内装監理室を２０２４年９月１２日に立ち上げ、事業者と工区統括ゼネコンとの意思疎通、展示計画図面の審査を行った。

また、One Stop Shop においては公式参加者、設計者、施工者からの相談に対応し、公式参加者のスムーズな万博準備に寄与した。

共同館の展示・内装については、公式参加者との連携を密にし、サプライヤーリストの提供を行うなど各公式参加者による展示・内装工事が円滑に行われるよう支援した。

加えて、途上国支援を実施する受託事業者との調整等を通じて、支援対象国の各パビリオンの共用部及び各国展示施工を実施した。

４ 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

（１）事務局体制の整備・強化

ア　効率的・効果的な事務局体制の整備・強化、国・経済界・自治体などからの業務に応じた専門人材の確保等

国・経済界・自治体等に対して専門人材等の派遣要請を行った結果、９月１日時点で８０６名体制、２月２８日時点で８６１名体制に増員し、事務局体制の強化を行った。人員の配置については、万博の会期も見据えた効果的・効率的な配置を検討した。

イ　会期中運営体制の構築

博覧会会期中の運営体制を構築するため、協会事務局の組織を部および課を廃止し、局長レベルで責任をもって判断する体制に向けて段階的に組織再編を実施することが理事会において承認された。具体的には会期中の組織体制への移行は、２０２５年１月から段階的に進めており、２０２５年３月に完了する予定である。

ウ　コンプライアンスの強化及び徹底

１１月８日にコンプライアンス委員会を開催し、前期の取り組み内容や、不適切事案の周知・改善策の共有を行うなど、協会内のコンプライアンスの徹底を確認した。また、内部統制システム案を策定し、１２月２６日の理事会において承認を受けた。１月２０日個人情報取扱規程の改正及び関係規程の整備を実施し、コンプライアンスの強化に取り組んだ。

その他、コンプライアンスの「理解の定着・深化」→「実施・検証」→「改善」のサイクルを回し、協会職員に一層の理解を求めるため、以下の取組を進めた。

〔コンプライアンス通信の発行〕

１１月１１日　コンプライアンス通信第６号（コンプライアンス違反事例の紹介と留意いただくポイントについて）を発行した。

１２月２日　コンプライアンス通信第７号（年末年始の会食贈答の機会で注意することについて）を発行した。

１２月３日　コンプライアンス研修⑧（ケーススタディ①）を実施した。

１月２１日　コンプライアンス研修⑨（個人情報保護）を実施した。

（２）財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行

ア　博覧会基本計画に沿った資金の調達

イ　予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減

万博の準備のため、入場券売上等を原資に実施する運営費事業に関し、協会役員を構成員とする運営費執行管理会議を２回開催した（第四回１１月６日、第五回２月１９日）。

さらに経済産業省において設置された 2025　年大阪・関西万博予算執行監視委員会において博覧会協会における予算執行管理について引き続き説明を行った（第五回１０月

２日、第六回１月２３日)。そのほか、運営費事業の適正執行を目的として財務部門での一括管理型予算マネジメントを行うこととし、全体最適化の予算運用を図った。

ウ　収納債権管理体制の構築

開幕に向けて実務内容の具体的検討・調整を実施し、これらを反映すべく、収納・債権管理業務に係る業務委託の変更契約を２０２４年１２月に締結した。

使用希望者に対するユーティリティ供給及び使用料金の請求を以下のとおり開始した。

電気：２０２４年６月

上水：２０２４年７月

下水：２０２４年１２月

（３）財政基盤強化に向けた具体的な資金調達

ア　寄附金の募集・拡充に向けた取り組み

寄附を検討している個人・企業等に対し寄附の依頼を継続して実施した。

イ　補助金等各種資金の活用

大阪・関西万博協賛競輪を２４開催（向日町競輪場、宇都宮競輪場、岐阜競輪場、青森競輪場、熊本競輪場、川崎競輪場、別府競輪場、弥彦競輪場、京王閣競輪場（１０月)、防府競輪場、小倉競輪場、大垣競輪場、松山競輪場、広島競輪場、佐世保競輪場、静岡競輪場、立川競輪場、和歌山競輪場、大宮競輪場、松阪競輪場、京王閣競輪場（1 月)、高松競輪場、奈良競輪場、豊橋競輪場）いただき、機運醸成にご協力いただいた。

５　社員総会・理事会の開催

（１）　理事会（２０２４年９月１３日）

開催方法：大阪国際会議場　１０階「１００４～１００７」を開催場所として、Ｗｅｂ会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

審議事項

・会期中組織への移行の件
・メタンガス対策の件
・タイプＸのＣ活用等、休憩所等整備の件
・会場整備にかかる工事等の変更の件
・夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借の契約変更の件
・紙チケットの来場日時予約なしでの利用条件の件

・2025 年日本国際博覧会ペット同伴来場実施見送りの件報告事項

報告事項

・運営費及び会場建設費の執行状況の件
・会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件
・大阪・関西万博の機運醸成に関する件
・イベントの現況の件
・会場内・外周バス乗車料金の件
・桜島駅シャトルバスの準備状況の件
・公式参加者による運営委員会等の件
・海外パビリオンの出展状況の件
・防災実施計画の策定の件

出 席 等

理事現在数　３４名　　定足数　１８名　　出席理事数　２６名
監事現在数　　２名　　出席監事数　　２名

（２） 理事会（２０２４年１０月１１日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

・理事選任・報酬額の決定について、臨時社員総会を開催することなく書面決議の方法により付議する件
・副事務総長・業務執行理事の選定の件
・副事務総長の職務権限規程の改定の件
・会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件

出 席 等

提案書に対し、理事３４名全員の書面による同意及び監事２名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

（３） 社員総会（２０２４年１０月１１日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

・理事１名選任の件
・副事務総長（水谷 徹）の報酬額の決定の件

出 席 等

提案書に対し、社員１１名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、社員総会の決議があったものとみなされた。

（４） 理事会（２０２４年１１月１５日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

・役員賠償保険の件

・会期中組織への移行に伴う規程の一部改定の件

出 席 等

提案書に対し、理事３５名全員の書面による同意及び監事２名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

（５） 理事会（２０２４年１１月２９日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

・指定寄附金の指定申請の件

・寄付受入に関する件

・保険に関する件

出 席 等

提案書に対し、理事３５名全員の書面による同意及び監事２名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

（６） 理事会（２０２４年１２月２６日）

開催方法：東京国際フォーラム５階「Ｇ５１０」を開催場所として、Ｗｅｂ会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

審議事項

・職員就業規程改定及び非常勤職員就業規程策定の件

・内部統制システムの整備の件

・大阪・関西万博安全確保事業の変更の件

・途上国出展支援事業の受託契約（経産省）及び共同館（タイプC）展示・運営業務の発注の件

報告事項

・チケットの販売状況と機運醸成についての件

・運営費及び会場建設費の執行状況の件

・イベントの現況の件

・施設・設備等のリユースの件

・博覧会会場における大型荷物の取り扱いの件

・会場内営業施設の概要の件

・万博会場への交通アクセス及びサービスの案内状況の件
・ＩＰＭ２０２５の開催の件
・海外パビリオンの状況の件
・暑熱対策に関する件
出 席 等
理事現在数　３５名　　定足数　１８名　　出席理事数　２９名
監事現在数　　２名　　出席監事数　　２名

（７） 理事会（２０２５年１月１７日）
開催方法：決議省略の方法による
審議事項
・理事選任について、臨時社員総会を開催することなく書面決議の方法により付議する件
・副会長の選定の件
・会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件
出 席 等
提案書に対し、理事３５名全員の書面による同意及び監事２名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

（８） 社員総会（２０２５年１月１７日）
開催方法：決議省略の方法による
審議事項
・理事１名選任の件
出 席 等
提案書に対し、社員１１名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、社員総会の決議があったものとみなされた。

６　役員就退任

・２０２４年　１０月１５日　理事及び副事務総長就任（水谷　徹氏）
・２０２４年　１２月３１日　理事及び副会長退任（塚本　能交氏）
・２０２５年　　１月１７日　理事及び副会長就任（堀場　厚氏）

７　事務局体制

（１）職員数の推移
・２０２４年９月　１日　職員８０６名に増員

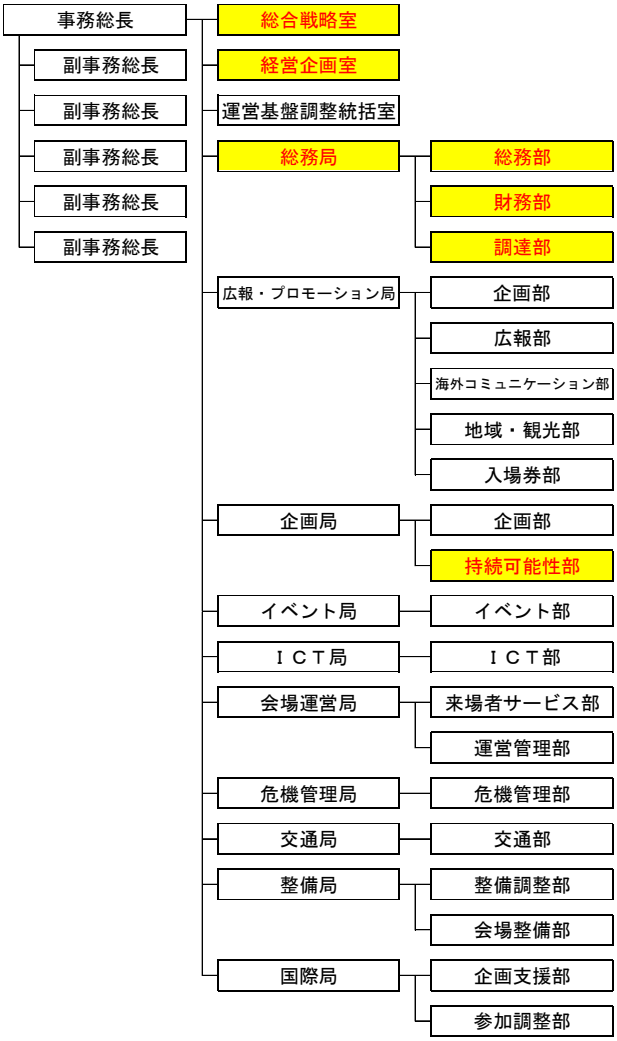
・２０２５年２月２８日　職員８６１名に増員

（２）事務局組織の変遷

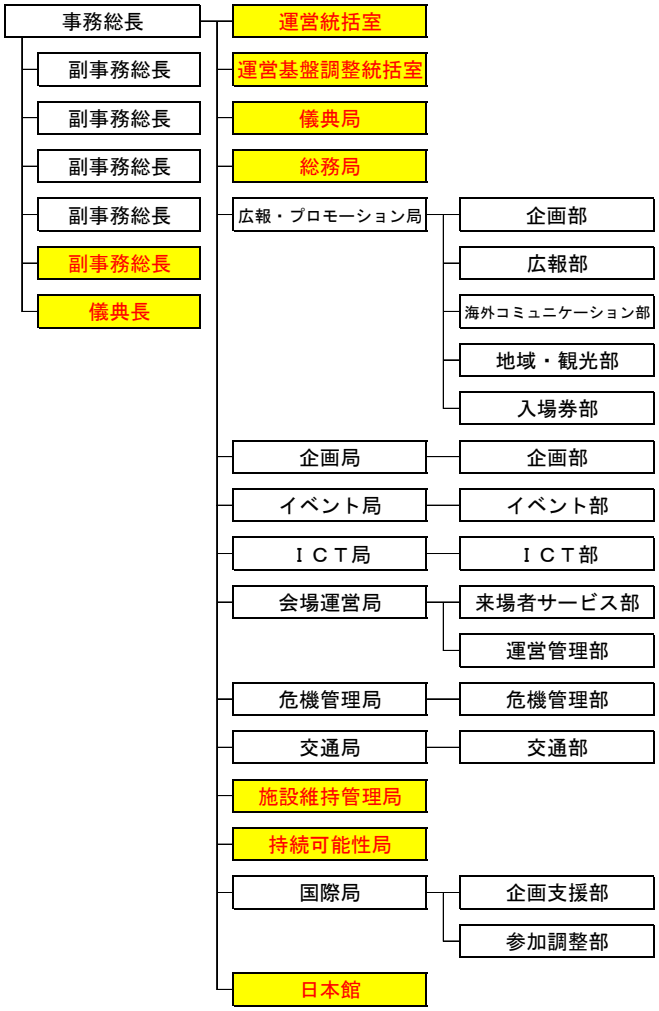
・２０２４年１０月１５日　副事務総長を増員。

・２０２５年１月１日　儀典長を新設。
総合戦略室と経営企画室を統合し、運営統括室を新設。
総務局を儀典局、総務局の２局に分割し、総務局の部・課を廃止。
持続可能性部を企画局から独立して持続可能性局を新設し、
持続可能性局の部・課を廃止。
整備局の名称を施設維持管理局に変更し、部・課を廃止。
日本館を新設。

【９月１日時点組織図】



【１月１日時点組織図】



８　主な契約案件

（１）「静けさの森インスタレーション」における運営支援業務及び総合監理・製作業務（Ｂ：運営支援及び総合監理業務及び製作業務）

・契約の相手方　　静けさの森インスタレーションパートナーズ共同企業体（代表構成員：株式会社博報堂プロダクツ）
・契約金額　　４１３，６００，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年９月１日
・契約期間　　２０２４年９月１日～２０２６年１月３１日

（２）途上国支援対象タイプＢ館運営準備業務

・契約の相手方　　途上国支援対象タイプＢ館運営準備業務共同企業体（代表構成員：株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ）
・契約金額　　１３４，８６０，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年９月１０日
・契約期間　　２０２４年９月１０日～２０２５年３月３１日

（３）メディアセンター関連業務（整備業務）

・契約の相手方　　メディアセンター関連業務（代表者：株式会社電通）共同企業体（代表構成員：株式会社電通）
・契約金額　　１８０，９６３，０４７円（税込）
・契約日　　２０２４年９月１１日
・契約期間　　２０２４年９月１１日～２０２６年１月３０日

（４）メディアセンター関連業務（運営業務）

・契約の相手方　　メディアセンター関連業務（代表者：株式会社電通）共同企業体（代表構成員：株式会社電通）
・契約金額　　１，３５１，２２４，４０７円（税込）
・契約日　　２０２４年９月１１日
・契約期間　　２０２４年９月１１日～２０２６年１月３０日

（５）２０２５年日本国際博覧会舞洲会場外（パーク＆ライド）駐車場 シャトルバス運行業務委託(変更契約)

・契約の相手方　　大阪市高速電気軌道株式会社
・契約金額　　２，４９３，８７９，９６０円（税込）
・変更金額（増額）５１４，７０８，０４０円（税込）
・契約日　　２０２４年９月１２日

・契約期間　　２０２３年１１月１３日～２０２５年１０月３１日

（６）２０２５年日本国際博覧会公式参加者の内装監理支援業務
・契約の相手方　　株式会社大広
・契約金額　　１６８，９４１，３００円（税込）
・契約日　　２０２４年9月１２日
・契約期間　　２０２４年9月１２日～２０２５年１２月３１日

（７）２０２５年日本国際博覧会施設整備事業ＰＷ北東工区（工事請負）（変更契約）
・契約の相手方　　大林組･大鉄工業･TSUCHIYA 共同企業体･株式会社安井建築設計事務所
・契約金額　　３０,７８７,３９８,４００円（税込）
・変更金額（増額）９３５，９５１，５００円（税込）
・契約日　　２０２５年9月１２日
・契約期間　　２０２３年４月２１日～２０２５年２月２８日

（８）２０２５年日本国際博覧会　施設整備事業 テーマ館「いのちを守る」河瀬Ｐ（建設工事）（変更契約）
・契約の相手方　　村本建設・ＳＵＯ・平岩構造・総合設備グループ
・契約金額　　１，２６６，８２５，０００円（税込）
・変更金額（増額）９０３，１７１，６００円（税込）
・契約日　　２０２４年9月１２日
・契約期間　　２０２３年１２月８日～２０２４年１２月２８日

（９）２０２５年日本国際博覧会施設整備事業ＧＷ工区（建設工事）（変更契約）
・契約の相手方　　鹿島建設・飛島建設共同企業体
・契約金額　　１３，５３７，８７３，８１９円（税込）
・変更金額（増額）１４６，０１４，４０５円（税込）
・契約日　　２０２４年9月１９日
・契約期間　　２０２３年7月３１日～２０２５年2月２８日

（10）２０２５年日本国際博覧会施設整備事業ＧＷ工区（解体撤去）（変更契約）
・契約の相手方　　鹿島建設・飛島建設共同企業体
・契約金額　　７６６，０８９，２６７円（税込）
・変更金額（増額）１１６，３６５，７９３円（税込）
・契約日　　２０２４年9月１９日
・契約期間　　２０２５年１０月２０日～２０２７年2月２８日

（11）２０２５年日本国際博覧会　一般廃棄物収集運搬業務（概算契約）
・契約の相手方　　大阪市清掃連合協同組合
・契約金額　　１７１，７７１，８２０円（税込）
・契約日　　２０２４年９月２０日
・契約期間　　２０２４年９月２０日～２０２５年１０月３１日

（12）２０２５年日本国際博覧会会場で使用する非化石電気調達業務（2025 年度）（単価契約）
・契約の相手方　　関西電力株式会社
・契約金額　　１，１５７，３６３，４４２円（税込）
・契約日(覚書締結)２０２４年９月２５日
・契約期間　　２０２５年４月１日～２０２６年３月３１日

（13）２０２５年日本国際博覧会静けさの森北西営業施設インフラ及び舗装整備等工事（インフラ工事）
・契約の相手方　　株式会社オノコム
・契約金額　　１１４，４００，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年９月２７日
・契約期間　　２０２４年９月２７日～２０２５年３月２０日

（14）ICT-PF 構築における 2024 年 10 月～2025 年 3 月の外部人員の派遣契約
・契約の相手方　　アクセンチュア株式会社
・契約金額　　１３６，２０４，２００円（税込）
・契約日　　２０２４年９月３０日
・契約期間　　２０２４年１０月１日～２０２５年３月３１日

（15）２０２５年日本国際博覧会 サステナドーム実施製作・運営管理業務（C 工事及び展示業務）
・契約の相手方　　大日本印刷株式会社
・契約金額　　１１８，８００，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年９月３０日
・契約期間　　２０２４年１０月１日～２０２６年３月３１日

（16）協会事務室使用に係る府有財産貸付契約
・契約の相手方　　大阪府

・契約金額　　１１３，８９３，４４０円（税込）
・契約日　　２０２４年9月３０日
・契約期間　　２０２５年４月１日～２０２６年３月３１日

（17）大阪・関西万博メディアプラン業務契約
・契約の相手方　　株式会社電通
・契約金額　　５９９，９８１，００３円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月２日
・契約期間　　２０２４年１０月２日～２０２５年７月３１日

（18）２０２５年日本国際博覧会 備蓄品調達回収業務
・契約の相手方　　株式会社ミヨシ
・契約金額　　２１１，０９８，１１０円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月４日
・契約期間　　２０２４年１０月４日～２０２６年３月３１日

（19）２０２５年日本国際博覧会 主催者催事（One World,One Planet）に関わる実施計画策定及び管理運営業務（①実施計画作成業務）
・契約の相手方　　株式会社博報堂プロダクツ関西支社
・契約金額　　１１２，４２０，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月４日
・契約期間　　２０２４年１０月４日～２０２４年１１月１３日

（20）２０２５年日本国際博覧会　テーマウィークスタジオ内装工事
・契約の相手方　　ＴＯＰＰＡＮ株式会社
・契約金額　　１８１，５００，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月１５日
・契約期間　　２０２４年１０月１５日～２０２５年１２月２８日

（21）２０２５年日本国際博覧会 救護隊運用業務
・契約の相手方　　株式会社メディカル・コンシェルジュ
・契約金額　　１０４，０８０，６７４円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月１６日
・契約期間　　２０２４年１０月１６日～２０２５年１１月１３日

（22）２０２５年日本国際博覧会施設整備事業ＧＷ工区（建設工事）（変更契約）
・契約の相手方　　鹿島建設・飛島建設共同企業体
・契約金額　　１５，４８５，８０９，６９９円（税込）
・変更金額（増額）１，９４７，９３５，８８０円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月１７日
・契約期間　　２０２３年7月３１日～２０２５年2月２８日

（23）タイプＣ共同館（コモンズ-E・コモンズ-F）共用部のパビリオン内外装等整備、管理
・契約の相手方　　博報堂プロダクツ・日展共同企業体（代表者構成員：株式会社博報堂プロダクツ）
・契約金額　　１９５，０８２，４４８円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月１７日
・契約期間　　２０２４年１０月１７日～２０２５年１１月３０日

（24）２０２５年日本国際博覧会 宅配便セキュリティセンター（会場外施設）運営業務
・契約の相手方　　日本通運株式会社
・契約金額　　１１６，１３３，３２２円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月２２日
・契約期間　　２０２５年3月１日～２０２５年１０月３１日

（25）２０２５年日本国際博覧会 来場者サービス実施計画策定・実施運営業務委託
（変更契約）
・契約の相手方　　ＴＳＰ太陽・ＴＯＰＰＡＮ共同企業体
・契約金額　　６，２９０，３８５，００８円（税込）
・変更金額（増額）４４０，１１１，１０７円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月２２日
・契約期間　　２０２４年1月９日～２０２５年１２月２２日

（26）２０２５年日本国際博覧会入場券販売関連システムサービス提供業務委託（変更契約）
・契約の相手方　　ぴあ・ＧＦ・ＪＣＤ共同企業体
・契約金額　　３，８９５，８５１，６００円（税込）
・変更金額（増額）７６８，８９６，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月２２日
・契約期間　　２０２２年5月２０日～２０２５年１２月３１日

（27）２０２５年日本国際博覧会　舞洲地区会場外駐車場整備工事（その２）（変更契約）

・契約の相手方　　大成ロテック株式会社・昭和株式会社グループ
・契約金額　　９１１，６１４，０００円（税込）
・変更金額（増額）３４５，１１４，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月２２日
・契約期間　　２０２３年８月３日～２０２６年３月１９日

（28）２０２５年日本国際博覧会 団体休憩所設置工事等業務（建設工事・計画策定等業務・設備什器等設置・維持管理業務・解体撤去工事）
・契約の相手方　　ＴＳＰ太陽株式会社
・契約金額　　５８２，２４１，４４０円（税込）
・契約日　　２０２４年１０月３０日
・契約期間　　２０２４年１０月３０日～２０２５年11月１３日

（29）２０２５年日本国際博覧会 開会式並びに主催者催事（Physical Twin Symphony）の実施計画作成及び運営業務
・契約の相手方　　株式会社電通・株式会社電通ライブ・株式会社NHKエンタープライズ共同企業体（代表構成員：株式会社電通ライブ）
・契約金額　　８８６，６２０，９００円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月１日
・契約期間　　２０２４年１１月１日～２０２５年５月３０日

（30）２０２５年日本国際博覧会夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借(変更契約)
・契約の相手方　　大和リース株式会社
・契約金額　　２，０８１，５３０，０００円（税込）
・変更金額（増額）２２６，１６０，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月１１日
・契約期間　　２０２３年１１月１０日～２０２６年１月３１日

（31）物品調達「大型パラソルのレンタル」（その２）
・契約の相手方　　コーユーレンティア株式会社
・契約金額　　１０４，１７０，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月１２日
・契約期間　　２０２４年１１月１２日～２０２５年１０月３１日

（32）令和５年度２０２５年日本国際博覧会「日本政府館」展示実施設計・運営実施計画等

業務（変更契約）
・契約の相手方　　日本館展示等コンソーシアム
・契約金額　　１，７７６，８９３，９９５円（税込）
・変更金額（増額）２４３，１８５，９９５円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月１５日
・契約期間　　２０２４年3月２９日～２０２５年3月３１日

（33）２０２５年日本国際博覧会 休憩/催事施設 内外装設備工事等及び運営管理業務（基本契約）
・契約の相手方　　株式会社博報堂プロダクツ関西支社
・契約金額　　９９３，０５８，３５６円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月１５日
・契約期間　　２０２４年１１月１５日～２０２５年１２月３１日

（34）２０２５年日本国際博覧会施設整備事業ＰＷ南東工区（工事請負）（変更契約）
・契約の相手方　　清水・東急・村本・青木あすなろ共同企業体
・契約金額　　２５，９９８，０２１，５００円（税込）
・変更金額（増額）１９２，２４５，９００円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月１５日
・契約期間　　２０２３年4月１９日～２０２５年2月２８日

（35）２０２５年日本国際博覧会 休憩/催事施設 内外装設備工事等及び運営管理業務（Ｅグループ）（管轄施設の内外装設備工事等業務）
・契約の相手方　　株式会社博報堂プロダクツ 関西支社
・契約金額　　６０７，６２４，９５６円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月２１日
・契約期間　　２０２４年１１月２１日～２０２５年１２月３１日

（36）２０２５年日本国際博覧会 主催者催事（One World,One Planet）に関わる実施設計策定及び管理運営業務（②管理運営業務）
・契約の相手方　　株式会社博報堂プロダクツ関西支社
・契約金額　　２３７，５６１，５００円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月２２日
・契約期間　　２０２４年１１月２２日～２０２５年１０月３１日

（37）テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」ユニット１『いのちを知る』『いのちを育

む』実施製作統括管理業務 2024 年度委託料（変更①）
・契約の相手方　　株式会社博報堂
・契約金額　　１，４７６，１２３，２００円（税込）
・変更金額（増額）１０３，４４４，４７０円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月２２日
・契約期間　　２０２４年4月1日～２０２５年3月３１日

（38）テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」ユニット３『いのちを拡げる』『いのちを響き合わせる』実施製作統括管理業務 2025 年度委託料（変更契約）
・契約の相手方　　株式会社電通・株式会社電通ライブ共同企業体
・契約金額　　２，１９５，３１３，０５１円（税込）
・変更金額（増額）１２５，２０４，９５６円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月２２日
・契約期間　　２０２４年4月1日～２０２５年3月３１日

（39）２０２５年日本国際博覧会 改札室実施計画策定・実施運営業務委託
・契約の相手方　　株式会社ステージ
・契約金額　　１８５，８８９，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月２５日
・契約期間　　２０２４年１１月２５日～２０２５年１０月３１日

（40）２０２５年日本国際博覧会 スクリーニング機器賃貸借（変更契約）
・契約の相手方　　綜合警備保障株式会社
・契約金額　　１，０５１，８２４，７３０円（税込）
・変更金額（増額）２４４，４４２，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月２６日
・契約期間　　２０２４年5月２０日～２０２５年１１月３０日

（41）バーチャル万博コンテンツ制作・運営管理業務
・契約の相手方　　株式会社 JTB コミュニケーションデザイン
・契約金額　　４４１，６７２，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月２７日
・契約期間　　２０２４年１１月２７日～２０２５年１２月３１日

（42）２０２５ 年日本国際博覧会 関係者入場証発行・入退場管理システム構築等業務（入退場管理システム構築業務）（変更契約）

・契約の相手方　　大日本印刷株式会社・パナソニック コネクト株式会社コンソーシアム
・契約金額　　６４７，９３１，９８８円（税込）
・変更金額（増額）１２３，９１１，３４８円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月２９日
・契約期間　　２０２３年１０月２３日～２０２５年１２月３１日

（43）２０２５年日本国際博覧会　施設整備事業　PW 西工区（工事請負）（変更契約）
・契約の相手方　　竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
・契約金額　　２９，５２４，８９３，７００円（税込）
・変更金額（増額）１，１１９，７１４，７００円（税込）
・契約日　　２０２４年１１月２９日
・契約期間　　２０２３年４月１８日～２０２５年２月２８日

（44）２０２５年日本国際博覧会 EXPO サロン内装工事及び運営管理業務
（EXPO サロンの空間計画及び内装設備工事等業務）
・契約の相手方　　ＴＯＰＰＡＮ・コンベンションリンケージ共同企業体
・契約金額　　１８９，２７１，９７２円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月３日
・契約期間　　２０２４年１２月３日～２０２５年１２月１３日

（45）２０２５年日本国際博覧会 ゲート前チケット引換所実施計画策定・実施運営業務
・契約の相手方　　株式会社ステージ
・契約金額　　２６７，８０７，７６０円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月６日
・契約期間　　２０２４年１２月６日～２０２５年１０月３１日

（46）２０２５年日本国際博覧会尼崎地区会場外駐車場整備工事（変更契約）
・契約の相手方　　大成ロテック㈱・扇コンサルタンツ㈱グループ
・契約金額　　８２９，２９０，０００円（税込）
・変更金額（増額）１６２，３６０，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月６日
・契約期間　　２０２３年８月３日～２０２６年３月１９日

（47）２０２５年日本国際博覧会スマートモビリティ万博「会場内パーソナルモビリティ」運営にかかる実施計画策定、運営実施業務
・契約の相手方　　ＴＳＰ太陽株式会社

・契約金額　　２５９，８５８，６０７円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月１１日
・契約期間　　２０２４年１２月１１日～２０２５年１２月３１日

（48）２０２５年日本国際博覧会 催事施設（屋外イベント広場）運営管理業務（Ｃグループ）運営体制構築等業務 個別契約（変更契約）
・契約の相手方　　博報堂プロダクツ・ＴＯＰＰＡＮ共同企業体
・契約金額　　２２１，２３６，９０７円（税込）
・変更金額（増額）１２１，４１１，９０７円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月１１日
・契約期間　　２０２４年1月１６日～２０２５年１１月３０日

（49）大阪・関西万博メディアプラン業務契約（変更契約）
・契約の相手方　　株式会社電通
・契約金額　　１，１７８，５８１，００３円（税込）
・変更金額（増額）５７８，６００，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月１６日
・契約期間　　２０２４年１０月２日～２０２５年7月３１日

（50）子ども向け案内サイン制作・設置等業務
・契約の相手方　　大日本印刷株式会社
・契約金額　　２０２，４００，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月１８日
・契約期間　　２０２４年１２月１８日～２０２５年１２月３１日

（51）２０２５年日本国際博覧会来場者輸送に係る交通運営本部体制運営業務委託(変更契約)
・契約の相手方　　東武トップツアーズ 阪急交通社共同企業体
・契約金額　　１，５９３，７０２，５８９円（税込）
・変更金額（増額）５２８，２３２，３７４円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２０日
・契約期間　　２０２４年2月６日～２０２５年１０月３１日

（52）大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務(変更契約)
・契約の相手方　　大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーショ

ン業務 EXPO2025 共同企業体（代表構成員：株式会社電通）
・契約金額　　１，３９２，６００，０００円（税込）
・変更金額（増額）３４１，０００，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２０日
・契約期間　　２０２４年８月２３日～２０２５年１０月３１日

（53）２０２５年日本国際博覧会 警備隊資材等賃貸借（その２）
・契約の相手方　　株式会社デザインアーク 大阪本店
・契約金額　　１２０，４５０，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２３日
・契約期間　　２０２４年１２月２３日～２０２５年１１月３０日

（54）２０２５年日本国際博覧会万博 ICT-PF サービス提供業務委託（変更契約）
・契約の相手方　　エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
・契約金額　　３，３５９，３３２，４２１円（税込）
・変更金額（増額）１７７，３２０，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２４日
・契約期間　　２０２２年１１月２２日～２０２５年１２月３１日

（55）２０２５年日本国際博覧会夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借
・契約の相手方　　大和リース株式会社
・契約金額　　２，４０６，５８０，０００円（税込）
・変更金額（増額）３２５，０５０，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２４日
・契約期間　　２０２３年１１月１０日～２０２６年１月３１日

（56）２０２５年日本国際博覧会廃棄物収集運搬業務委託（段ボール・その他産業廃棄物）（概算契約）
・契約の相手方　　日本通運株式会社
・契約金額　　９６３，１１１，６００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２５日
・契約期間　　２０２４年１２月２５日～２０２５年１０月３１日

（57）２０２５年日本国際博覧会夢洲地区交通ターミナル等整備工事（変更契約）
・契約の相手方　　大成ロテック㈱・昭和㈱グループ

・契約金額　　３，４９１，８０７，０００円（税込）
・変更金額（増額）７７５，７２０，０００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２５日
・契約期間　　２０２３年8月3日～２０２６年3月１９日

（58）２０２５年日本国際博覧会尼崎会場外(パーク＆ライド)駐車場シャトルバス運行業務(変更契約)
・契約の相手方　東武トップツアーズ 阪急交通社共同企業体
・契約金額　　３，５２０，７６３，４００円（税込）
・変更金額（増額）１，０２２，４６５，４００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２６日
・契約期間　　２０２３年9月１４日～２０２５年１０月３１日

（59）２０２５年日本国際博覧会堺会場外（パーク＆ライド）駐車場シャトルバス運行業務(変更契約)
・契約の相手方　東武トップツアーズ 阪急交通社共同企業体
・契約金額　　２，８３５，４８９，１８４円（税込）
・変更金額（増額）５７１，８７８，３８４円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２６日
・契約期間　　２０２３年9月１４日～２０２５年１０月３１日

（60）２０２５年日本国際博覧会 主催者催事（One World,One Planet）に係る実施設計策定及び管理運営業務（②管理運営業務）（変更契約）
・契約の相手方　株式会社博報堂プロダクツ関西支社
・契約金額　　５８０，０３０，０００円（税込）
・変更金額（増額）３４２，４６８，５００円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２７日
・契約期間　　２０２４年１１月２２日～２０２５年１０月３１日

（61）物品購買「屋外ファニチャーの購入」(変更契約)
・契約の相手方　株式会社コトブキ
・契約金額　　５８５，０７１，７４０円（税込）
・変更金額（増額）１２５，４３１，２４０円（税込）
・契約日　　２０２４年１２月２７日
・契約期間　　２０２４年5月１６日～２０２５年5月３０日

（62）２０２５年日本国際博覧会マルビル大阪・関西万博バスターミナルの運営に関する業務委託

・契約の相手方　　東武トップツアーズ 阪急交通社 共同企業体（代表構成員：東武トップツアーズ株式会社）

・契約金額　　１９３，５７７，７６９円（税込）

・契約日　　２０２５年１月７日

・契約期間　　２０２５年１月７日～２０２５年１０月３１日

（63）２０２５年日本国際博覧会 催事施設用備品賃貸借

・契約の相手方　　コーユーレンティア株式会社

・契約金額　　１３５，３００，０００円（税込）

・契約日　　２０２５年１月８日

・契約期間　　２０２５年１月８日～２０２５年１１月２８日

（64）２０２５年日本国際博覧会 来場者サービス実施計画策定・実施運営業務委託（変更契約）

・契約の相手方　　ＴＳＰ太陽・ＴＯＰＰＡＮ共同企業体

・契約金額　　６，６４５，９０８，３５２円（税込）

・変更金額（増額）３５５，５２３，３４４円（税込）

・契約日　　２０２５年１月１０日

・契約期間　　２０２４年１月９日～２０２５年１２月２２日

（65）2025 年日本国際博覧会 ゲート前後・バックヤードサイン制作・設置等業務（変更契約）

・契約の相手方　　ＴＯＰＰＡＮ株式会社

・契約金額　　４０７，０９７，６８０円（税込）

・変更金額（増額）１９９，１９７，６８０円（税込）

・契約日　　２０２５年１月１０日

・契約期間　　２０２４年７月１９日～２０２５年１１月３０日

（66）2025 年日本国際博覧会 全催事施設統括管理業務及び催事施設（大催事・小催事・小規模ステージ）運営管理業務（A グループ）（運営体制構築等業務）（変更契約）

・契約の相手方　　㈱電通ライブ・㈱JTB コミュニケーションデザイン共同企業体

・契約金額　　６０８，８７９，０２４円（税込）

・変更金額（増額）１２２，０９６，０２４円（税込）

・契約日　　２０２５年１月１０日

・契約期間　　２０２４年２月１日～２０２５年１１月３０日

（67）２０２５年日本国際博覧会施設整備事業ＰＷ西工区（工事請負）（変更契約）
・契約の相手方　竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
・契約金額　　３０，１３１，９８３，７００円（税込）
・変更金額（増額）６０７，０９０，０００円（税込）
・契約日　　２０２５年１月１７日
・契約期間　　２０２３年４月１８日～２０２５年２月２８日

（68）２０２５年日本国際博覧会施設整備事業 テーマ館「いのちを守る」河瀬Ｐ（建設工事）（変更契約）
・契約の相手方　村本建設・ＳＵＯ・平岩構造・総合設備グループ
・契約金額　　１，３８９，５８５，０００円（税込）
・変更金額（増額）１２２，７６０，０００円（税込）
・契約日　　２０２５年１月２１日
・契約期間　　２０２３年１２月８日～２０２５年４月１０日

（69）タイプＣ共同館(国際機関館・コモンズ-C・コモンズ-E・コモンズ-F）運営管理業務
・契約の相手方　タイプＣ共同館運営管理業務共同企業体（代表構成員：株式会社大広）
・契約金額　　２８１，４７７，０２４円（税込）
・契約日　　２０２５年１月２１日
・契約期間　　２０２５年１月２１日～２０２５年１１月３０日

（70）会場外施設等で使用する電気受給契約サービス
・契約の相手方　ミツウロコグリーンエネルギー株式会社
・契約金額　　１１６，１４２，０５２円（税込）
・契約日　　２０２５年１月２２日
・契約期間　　２０２５年１月２２日～２０２５年１０月３１日

（71）２０２５年日本国際博覧会施設整備事業ＰＷ北東工区（工事請負）（変更契約）
・契約の相手方　大林組･大鉄工業･TSUCHIYA 共同企業体･株式会社安井建築設計事務所
・契約金額　　３２，０３５，９８３，１００円（税込）
・変更金額（増額）９９９，００６，８００円（税込）
・契約日　　２０２５年１月２２日
・契約期間　　２０２３年４月２１日～２０２５年２月２８日

（72）２０２５年日本国際博覧会 施設整備事業 大催事場（建設工事）（変更契約）
・契約の相手方　　大成建設株式会社・株式会社昭和設計
・契約金額　　８，４４５，３９１，１００円（税込）
・変更金額（増額）２２５，６１０，０００円（税込）
・契約日　　２０２５年１月２４日
・契約期間　　２０２３年１２月１日～２０２５年２月２８日

（73）大阪市営住宅にかかる賃貸借契約
・契約の相手方　　大阪市
・契約金額　　１８６，９５０，７００円（税込）
・契約日　　２０２５年１月２９日
・契約期間　　２０２５年２月１日～２０２５年１１月３０日

（74）2025 年日本国際博覧会 スクリーニング機器賃貸借（変更契約）
・契約の相手方　　綜合警備保障株式会社
・契約金額　　１，１７０，３９５，９３０円（税込）
・変更金額（増額）１１８，５７１，２００円（税込）
・契約日　　２０２５年１月３０日
・契約期間　　２０２４年５月２０日～２０２５年１１月３０日

（75）2025 年日本国際博覧会　施設整備事業　小催事場（建設工事）（変更契約）
・契約の相手方　　鴻池・安井・平田晃久グループ
・契約金額　　４，６０５，５３３，８９０円（税込）
・変更金額（増額）３２６，３４９，１００円（税込）
・契約日　　２０２５年１月３１日
・契約期間　　２０２３年１０月１６日～２０２５年３月７日

（76）２０２５年日本国際博覧会 会場外駐車場及びバスターミナル入退場予約・決済システムサービス 業務Ａ（変更契約）
・契約の相手方　　タイムズ共同企業体
・契約金額　　７２５，５７５，０００円（税込）
・変更金額（増額）１０５，６００，０００円（税込）
・契約日　　２０２５年２月７日
・契約期間　　２０２４年７月２２日～２０２５年３月３１日

（77）ＩＣＴシステム運用保守支援業務

・契約の相手方　　株式会社ＣＳＣ
・契約金額　　１０４，７２０，０００円（税込）
・契約日　　２０２５年２月１０日
・契約期間　　２０２５年２月１７日～２０２５年１０月３１日

（78）令和５年度補正大阪・関西万博安全確保事業(変更契約)（受託契約）
・契約の相手方　　経済産業省
・契約金額　　２５，４５７，６９４，９２０円（税込）
・変更金額（増額）５，５４８，７８６，９２１円（税込）
・契約日　　２０２５年２月１３日
・契約期間　　２０２４年１月２２日～２０２６年１月３０日

（79）２０２５年日本国際博覧会 BE8 施設「ロボット＆モビリティステーション」内外装設備工事等業務″
・契約の相手方　　株式会社電通ライブ
・契約金額　　１０３，４６２，８６５円（税込）
・契約日　　２０２５年２月１４日
・契約期間　　２０２５年２月１４日～２０２５年１２月３１日

（80）２０２５年日本国際博覧会 施設警備実施業務（変更契約）
・契約の相手方　　綜合警備保障株式会社
・契約金額　　６，８６９，４５０，４３１円（税込）
・変更金額（増額）２，５２４，４５０，４３１円（税込）
・契約日　　２０２５年２月１４日
・契約期間　　２０２４年２月１日～２０２５年１１月３０日

（81）２０２５年日本国際博覧会 Signature Music Fes（仮称）イベント企画・運営業務
・契約の相手方　　ぴあ株式会社
・契約金額　　１４８，５６６，０００円（税込）
・契約日　　２０２５年２月１７日
・契約期間　　２０２５年２月１７日～２０２５年８月３１日

（82)「アート万博静けさの森インスタレーション」トマス・サラセーノ アート制作･監理業務
・契約の相手方　　Ｓｔｕｄｉｏ　Ｔｏｍａｓ　Ｓａｒａｃｅｎｏ　ＧｍｂＨ
・契約金額　　１２６，７５０，０００円（税込）

・契約日　　２０２５年２月２５日
・契約期間　　２０２５年２月２５日～２０２５年１１月１５日

（83）２０２５年日本国際博覧会　施設整備事業　PW 北東工区（工事請負）（変更契約）
・契約の相手方　　大林組・大鉄工業･TSUCHIYA 共同企業体･株式会社安井建築設計事務所
・契約金額　　３２，６０６，１４３，９００円（税込）
・変更金額（増額）５１１，９１２，５００円（税込）
・契約日　　２０２５年２月２１日
・契約期間　　２０２３年４月２１日～２０２５年３月３１日

（84）２０２５年日本国際博覧会 車両管理運用業務
・契約の相手方　　日本通運株式会社
・契約金額　　３８８，３１０，０５９円（税込）
・契約日　　２０２５年２月２１日
・契約期間　　２０２５年２月２１日～２０２５年１０月３１日

（85）２０２５年日本国際博覧会 施設整備事業　静けさの森工区（建設工事）（変更契約）
・契約の相手方　　ジェイロジック・旭工建共同企業体
・契約金額　　１，６７６，１５５，８００円（税込）
・変更金額（増額）１８８，９５５，８００円（税込）
・契約日　　２０２５年２月２７日
・契約期間　　２０２５年８月１０日～２０２５年３月２８日

（86）２０２５年日本国際博覧会　会期直前における会場警備実施業務
・契約の相手方　　東洋テック株式会社
・契約金額　　１８３，６９４，５００円（税込）
・契約日　　２０２５年２月２８日
・契約期間　　２０２５年２月２８日～２０２５年４月１２日

９　資金の確保

（１）寄附金収入　　４，０８９，７３４，０２９円
　1 一般寄附金　　９，８８０，０００円
　2 特別寄附金　　４，０９９，６１４，０２９円
　※現物寄附は除く

（２）補助金収入※　　０円
　1 国庫補助金　　０円

2 地方公共団体補助金等　　０円
※国、大阪府、大阪市へ補助申請済み。補助金収入額は検査合格後に確定するため、
　２月２８日時点では０円にて記載。

報告事項３

指定寄附金の申請金額の件

報告事項４

イベントの現況の件

イベントの現況について

報告事項①　実施予定のイベント

1．現在の状況について

・催事を実施する場所、時期、期間を決める第二次催事カレンダー編成を実施し、2024年4月9日にイベント情報（第１弾）として102か国・地域、4国際機関のナショナルデー、スペシャルデー開催日を公表した。その後、6月20日（第２弾）に31か国、9月3日（第３弾）には14か国、12月10日（第４弾）には3か国を追加公表した。
・催事の内容については公式アプリ「EXPO 2025 Visitors」で適宜公表
・各催事実施者と施設運営管理事業者（催事管理センター）との打合せや施設見学会を順次開催中。

2．公式参加者（158か国・地域、7国際機関）の状況　【2025年2月13日時点】

（１）ND/SD（ナショナルデー/スペシャルデー）　**165者**
（２）公式参加者自主催事　**506件**



3．公式参加者以外の状況　【2025年2月25日時点。申込単位】

（１）シグネチャーイベント（テーマ事業プロデューサーが行う催事）　**15件**
（２）省庁連携催事（省庁が中心となって実施する催事）　**38件**
（３）自治体参加催事（都道府県などが中心となって実施する催事）　**45件**
（４）出展者参加催事（民間パビリオン出展者が実施する催事）　**11件**
（５）協会協力催事（協会より協力要請を受けた外部団体等が行う催事）
　●在京、在阪のメディア　**25件**
　●会期前から機運醸成に携わっていた様々な事業者、各種団体　**24件**
　●コンテンツホルダーは、博覧会のテーマに合致し、来場者に共感いただけ、誘客力のあるコンテンツを人選　**6件**
（６）一般参加催事（一般に公募して行う催事）
　応募総数　1014件（うち海外からの申込109件）→**内定239件**

イベントの現況について

（参考）現在のイベントカレンダー状況　【2025年2月25日時点】

・現在、主要なイベント施設（下記６施設）に関しては、平均約96%の使用率。
　（EXPOアリーナに少し空きあり）
・EXPOアリーナに関しては、公式参加者・一般参加催事からの受付を継続するとともに、協会協力催事なども声がけし、使用率の増をめざしている。
・フェスティバル・ステーションは、前回（12月）約51%の使用率から、約95%まで進捗。
・現状、施設利用に余裕があるのは、「ポップアップステージ」で、半数の50%ほどの使用率。
　（5箇所×4回転×184日間　3680枠の内、残り約1800枠）
・公式参加者・一般参加催事の需要は一定で伸びているものの、キャンセルも度々発生しており、使用率は横ばいとなっている。

・主要イベント施設の状況	イベント開催日	設営・メンテ日	調整中	使用率
EXPOホール「シャインハット」	131日間	46日間	7日間	**96.2%**
EXPOナショナルデーホール「レイガーデン」	177日間	2日間	5日間	**97.3%**
EXPOアリーナ「Matsuri」	112日間	46日間	26日間	**85.8%**
EXPOメッセ「WASSE」	123日間	55.5日間	5.5日間	**97.0%**
ギャラリーWEST	143日間	41日間	0日間	**100%**
ギャラリーEAST	149日間	35日間	0日間	**100%**
ポップアップステージ（5箇所）	※約1800枠のイベントに内定を発出。			**52.1%**
フェスティバル・ステーション	148日間	7日間	29日間	**95.1%**

イベントの現況について

報告事項②　イベント情報（参加催事・アート万博）

◆公式参加者及び参加催事

- **祝ムーミン80周年　～ムーミン　アラビアとの共同キャンペーン～**
  【国際赤十字・赤新月運動】（６月21日・EXPOアリーナ）
- **ブラスエキスポ2025 【朝日新聞】**
  （５月11日・ポップアップステージ北、西、東内、東外）
- **「徹子の部屋」公開収録 【テレビ朝日】**（４月24日・EXPOホール）
- **EXPO KYOTO MEETING ～和のこころと地球の未来～ 【京都府・市】**
  （4月23日・EXPOホール）



ムーミンアラビア/ MOOMIN ARABIA



一緒につくろう、京都の未来　伝統と革新で拓く

◆アート万博

「アオと夜の虹のパレード」（会期中日没後毎日・ウォータープラザ）

2024年12月24日にキャラクターデザインや声優キャスト、テーマソングなどを発表。



提供：ダイキン工業・サントリーHD





開会式の演出について

報告事項　開会式次第・構成

2025年大阪・関西万博の幕開けを告げる世界的な式典として、華やかな演出と最新技術を駆使したショーで
万博のビジョンやメッセージを驚きと感動とともに世界中へ発信する。

【式典演出テーマ】 **Re-Connect　巡り、響き、還り、繋がる**

主催者・来賓挨拶、国歌斉唱や国旗掲揚などを行う「プロトコルパート」と
万博開会の祝祭やメッセージをパフォーマンスで発信する「アーティスティックパート」で構成

2025年4月12日（土）　開会 14：00　閉会 15：10

①オープニング　②プロトコル　③旗手入場　④パフォーマンス
⑤プロトコル　⑥パフォーマンス　⑦クロージング

【出演者・出演団体】（敬称略）

コブクロ　※2025年日本国際博覧会アンバサダー
佐渡　裕　※同上
大阪交響楽団
Osaka Shion Wind Orchestra
大阪フィルハーモニー交響楽団
関西フィルハーモニー管弦楽団
日本センチュリー交響楽団
尾上　菊之助（5代目）
中村　隼人（初代）
中村　莟玉（初代）

日本放送協会（NHK）にて全国生放送予定　13：55～15：15


EXPO ホール「シャインハット」


EXPO ナショナルデーホール「レイガーデン」

（参考）催事施設の場所



ギャラリー WEST
展示面積：約600㎡
アニメ、ファッション等の展示会を会期中入替制で実施を想定

万博サウナ「太陽のつぼみ」
施設：サウナ、水風呂
リラックスラウンジ棟

EXPOアリーナ「Matsuri」
収容人数：最大16,000人
屋根付きステージ
大型映像装置
大型ライブイベント、映像上映、祭り等の屋外催事の実施を想定

EXPOメッセ「WASSE」
展示面積：約4,000㎡
様々な展示会を会期中入替制で実施。2,000㎡の２面で分割使用を想定

ウォータープラザ
幅約200m、奥行約60m、ショーエリア面積約8,800㎡

ポップアップステージ 西
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

ポップアップステージ 北
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

ポップアップステージ 南
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

ギャラリー EAST
展示面積：約300㎡
アニメ、ファッション等の展示会を会期中入替制で実施を想定

ポップアップステージ 東内
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

ポップアップステージ 東外
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定

フェスティバル・ステーション
収容人数：約300～350席
LEDビジョン設置予定
同敷地に体験イベントブースも設置
国内外の祭りや伝統工芸・芸能をはじめとする、様々なイベントや体験型ワークショップ等の実施を想定

EXPOホール「シャインハット」
収容人数：約1,900席
センターステージ型ホール
大型映像装置
音楽、演劇、芸能、未来型エンターテイメント等の劇場催事の実施を想定

EXPOナショナルデーホール「レイガーデン」
座席数：約500席
ナショナルデー・スペシャルデー式典、その他の劇場催事の実施を想定

報告事項５

　万博会場への交通アクセス及びサービスの案内状況の件

万博会場への交通アクセス及びサービスの案内状況

●記載のとおり、万博会場への交通アクセス等の状況について理事会に報告する。

項目	内容
案件名称	万博会場への交通アクセス及びサービスの案内状況について
案件概要	**万博会場への交通アクセスについて、ダイヤの公表や予約等を開始** **１．駅シャトルバス等の準備状況** 〇駅シャトルバスについては、昨年１２月２７日に運行ダイヤ及び料金を公表し、３月１日までにすべてのバス運行事業者が予約を開始 〇中長距離バスについては、おおむね運行ダイヤを公表済み。予約についても、３月１２日から順次開始。 〇１月２４日から、夢洲第１交通ターミナル等において習熟運転実施中。 **２．水上交通の準備状況** 〇水上交通については、２月２８日から順次予約開始。 〇水上交通と組み合わせた旅行商品については、旅行会社にて販売準備中。 〇１月２２日から、夢洲北岸浮桟橋への接岸等について習熟運航実施中。 **３．団体バス待機場利用料金等の一部改定** 〇団体バスにおける混雑加算料金の適用を運用実態を踏まえて一部改定。

万博会場への交通アクセス及びサービスの案内状況

○駅シャトルバス等の準備状況

KANSAI MaaSシャトルバス予約画面



シャトルバス習熟運転の実施状況

夢洲第１交通ターミナルでの運行確認の様子





交通インフォメーションに掲載している時刻表



EVバスの充電確認状況





↑EVバスの充電設備

報5-2

万博会場への交通アクセス及びサービスの案内状況

○水上交通の準備状況

予約サイトイメージ（運航事業者）



参考：大阪水上バスHPより

習熟運航の実施状況



夢洲浮桟橋（西）での着桟訓練の様子



夢洲浮桟橋（東）での着桟訓練の様子

岩谷産業㈱が就航させる水素燃料電池船「まほろば」



「まほろば」概要

全長：33m
全幅：8m
旅客定員：150名
総トン数：177トン

桟橋施設（待合所等）：夢洲浮桟橋（東）の設置状況



待合所入口



待合所内



待合所外観

報5-3

万博会場への交通アクセス及びサービスの案内状況

○団体バス待機場利用料金等の一部改定

・①団体バスは、待機場の利用料金へ変動料金の適用により効果が期待できること、②団体旅行は、会場内のパビリオン等予約枠により、団体バス乗降場等の予約可能時間が制約されることから、利用料金を簡素化する改定を行う。
・具体には、①乗降場利用料金への変動料金、②待機場利用料金への混雑時間帯の上乗せ料金の適用を削除する。

バス待機場／乗降場　利用料金《改定前》

施設名	利用料金（円）	基本料金（円）	変動料金（円）				高速道路インセンティブ（円）※1
			日			混雑時間帯	
			繁忙期	通常期	閑散期	8～10時台	阪神高速中心部迂回
待機場（舞洲万博P&R駐車場Ｂ）	9,000～13,000	11,000	1,000	0	▲1,000	1,000	▲1,000
乗降場（夢洲第2交通ターミナル）	1,100～1,900	1,500	200	0	▲200	200	▲200

※1　阪高指定出口を利用しない場合は、上表に一律2,000円を加算した料金を予約時に徴収します。

バス待機場／乗降場　利用料金《改定後》

施設名	利用料金（円）	基本料金（円）	変動料金（円）				高速道路インセンティブ（円）※2
			日			混雑時間帯	
			繁忙期	通常期	閑散期	8～10時台	阪神高速中心部迂回
待機場（舞洲万博P&R駐車場Ｂ）	9,000～12,000	※1 11,000	1,000	0	▲1,000	－	▲1,000
乗降場（夢洲第2交通ターミナル）	1,500	1,500	－	－	－	－	－

※1　待機場の基本料金は、待機場利用＋降車場1回＋乗車場1回を予約した場合の料金です。
※2　阪高指定出口を利用しない場合は、上表に一律2,000円を加算した料金を予約時に徴収します。

報告事項６

公式参加者の準備状況（宿舎）の件

報告事項７

メタンガス対策の件

メタンガス対策について

夢洲の万博会場に発生するメタンガスについて、９月理事会で承認された対応方針を踏まえて、会期中の安全確保に向けて以下の対策を講じている。

１．ガス濃度把握と安全確認の徹底

会場内全域でのガス安全管理について、専門家の指導の下、ガス濃度の測定方法・安全確認の体制を構築し、安心してご来場いただける環境を確保する。（協会による継続的なガス濃度測定、各施設管理者・事業実施者によるガス濃度測定・安全確認）

２．ハード面の安全対策

GW工区では、（１）全ての施設（開放施設を除く）における機械換気設備・検知器の設置、侵入抑制措置、（２）マンホール穴開け、（３） 透水性舗装のすべての工事を実施。（開幕までに完了）。PW工区では、ガス濃度測定の結果を踏まえて、マンホール穴開け、地下鉄工事上部付近のガス既検知施設での侵入抑制措置のすべての工事を実施（開幕までに完了）。

なお、継続的にモニタリングを実施し、その結果を踏まえて、必要な追加対策を実施していく。

３．会場内の連絡・連携体制の確立および研修

各施設管理者・事業実施者と協会との間で、会場内の連絡・連携体制を確立するとともに、現場で対応にあたる各施設運営スタッフ等への研修を徹底する。

1.ガス濃度把握と安全確認の徹底

- 会場内全域でのガス安全管理について、専門家の指導の下、**ガス濃度の測定方法・安全確認の体制を構築し、安心してご来場いただける環境を確保する。**
- 協会は、会期中、**会場内全域でのガス濃度測定を継続的に実施する**とともに、各施設管理者・事業実施者に協力を頂き、**各施設等での換気実施・安全確認を徹底する。**
- 安全確認の状況については、**常時公表**していく。

●各施設管理者・事業実施者が行う日常の対応

①換気　　・・・24時間（常時）換気（換気設備がなければ毎朝、窓を開放）
②ガス測定　・・・ハンディ検知器を協会より各施設等へ貸与
　　室内等で、各施設管理者および事業実施者が測定
③記録・連絡・・・測定結果を記録簿に記入
　　検知した濃度に応じて、各施設から協会へ連絡
※ガス検知状況に応じたエリアごとの対応を要請

●GWエリアで別途措置すべき対応

①火気使用　　・・・禁煙を徹底し、火気使用を原則禁止
　　電源確保等でやむを得ず火気を使用する場合、
　　有識者へ構造等の事前確認及び運用等の助言を受ける
②工作物の設置・・・倉庫、物置などの工作物は高床式とし、送風機などを用いて換気を行う

●協会の対応

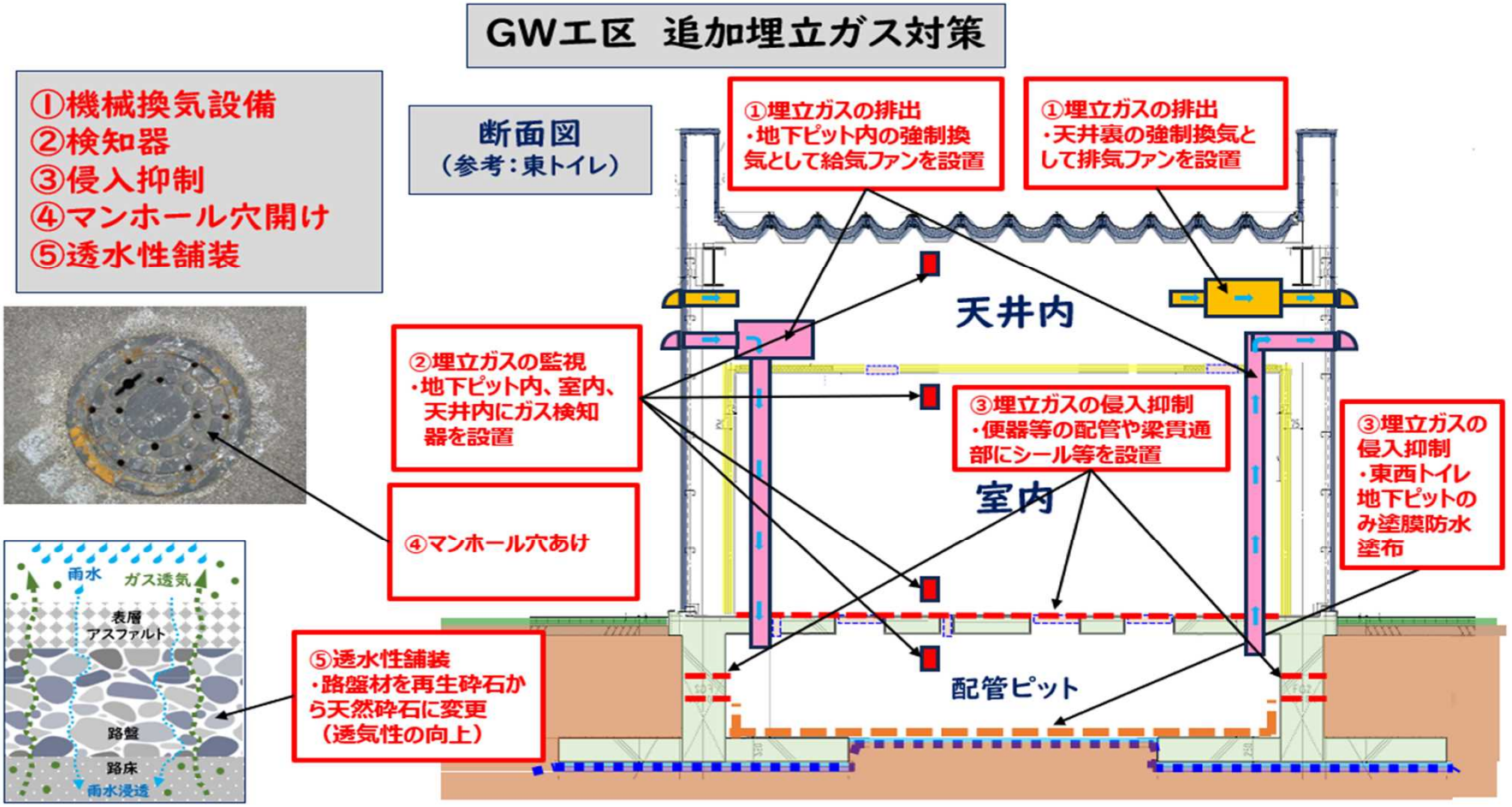
会場内全域でのガス安全管理について、専門家の指導の下、ガス濃度の測定方法・安全確認の体制を構築し、安心してご来場いただける環境を確保する。



ハンディ検知器イメージ

2 .ハード面の安全対策

- GW工区では、2024年6月24日に公表した「会期中の安全対策」に基づき進めてきた、
  （１）全ての施設（開放施設を除く）における機械換気設備・検知器の設置、侵入抑制措置
  （２）マンホール穴開け、（３）透水性舗装のすべての工事を実施。（開幕までに完了）
- PW工区では、ガス濃度測定の結果を踏まえて、マンホール穴開け、地下鉄工事上部付近のガス既検知施設での侵入抑制措置のすべての工事を実施。（開幕までに完了）
- ガス抜き管に対し、嵩上げや先端部への金網設置等の措置を実施。（2025年2月完了）



3.会場内の連絡・連携体制の確立および研修

①会場内の連絡・連携体制の確立

各施設管理者・事業実施者と協会との間で、ガス濃度測定や換気等の状況について、常時密接に連絡を取り合う体制を構築するとともに、ガス濃度に変化が生じた場合の連携・協力体制を構築する。
（協会内体制の整備、業者への説明会開始等）

②各施設の運営スタッフ等に対する研修の徹底

ガス測定、記録の方法や、ガス測定濃度に変化が生じた場合など、各施設管理者・事業実施者ならびに各施設の運営スタッフ等が取るべき対応について、オンライン研修会や現地での測定シミュレーションを通じて、現場の対応体制を高める為の準備を進める。

報告事項８

　万博における環境の取組と施設・設備等のリユースの件

持続可能性に関する取組について

持続可能性方針（2022年4月）

- ❑ 「いのち輝く未来社会のデザイン」という大阪・関西万博のテーマに基づき、持続可能な大阪・関西万博の基本的な考え方や姿勢として、持続可能性に関する有識者委員会でのご審議に基づき策定。

ESMS（持続可能性マネジメントシステム）

- ❑ 近年のオリンピック・パラリンピックや万博で取得されている国際標準規格ISO20121に基づいたマネジメントシステムを組織内に構築。ESMSを活用し、PDCAに基づいた継続的な改善を行い、環境、経済、社会へのプラスの影響を増大させ、マイナスの影響を低減することを目指す。
- ❑ 2024年8月13日に当協会も、ISO20121の認証を取得。

持続可能な大阪・関西万博開催に向けた行動計画

- ❑ 人権も含めた持続可能性に関する課題について、指標、取組方針とこれまでの取組内容を掲げたもの。
- ❑ 2022年度より、毎年度末に作成、持続可能性に関する有識者委員会において取組の進捗をご確認いただいている。

EXPO 2025 グリーンビジョン

- ❑ 持続可能性に関する有識者委員会や脱炭素WG、資源循環WG等で環境課題に関するビジョンを検討いただいている。
- ❑ 2021年度より毎年改定。
- ❑ 脱炭素編、資源循環・循環経済編、自然環境編、横断的事項の４編構成

検討体制

＊会合はウェブ会議（公開）で実施

「持続可能性有識者委員会」

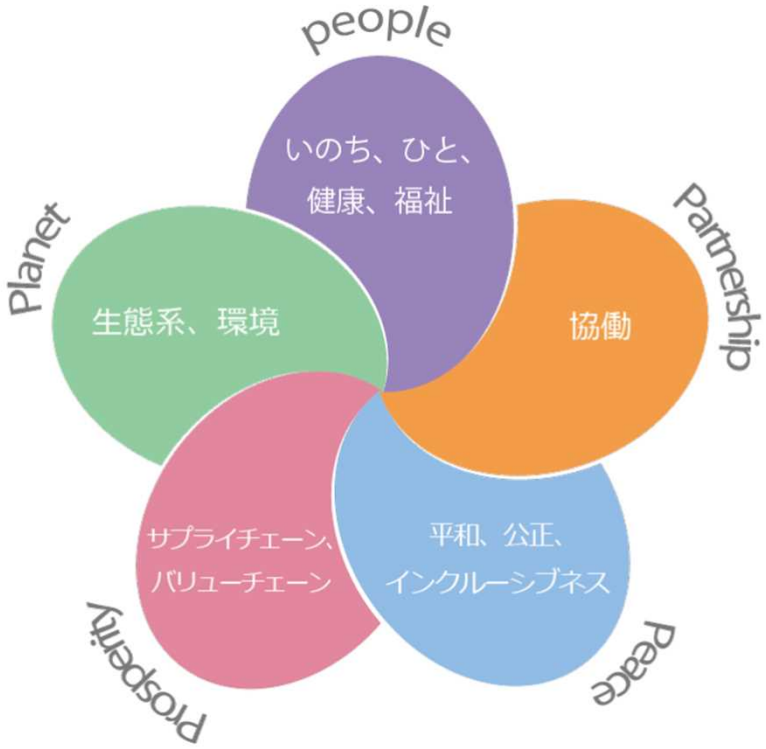
※2021年12月設置（委員長：伊藤元重 東京大学名誉教授）

持続可能性の観点から配慮すべき分野などについて、専門的見地から意見及び提案を行うと同時に、持続可能な万博運営に関して議論を行う。

持続可能な調達WG	脱炭素WG	資源循環WG	人権WG
※2022年3月設置 （委員長：加賀谷哲之 一橋大学大学院 経営管理研究科教授）	※2022年7月設置 （委員長：下田吉之 大阪大学大学院 工学研究科 環境エネルギー 工学専攻教授）	※2023年1月設置 （委員長：崎田裕子 ジャーナリスト・ 環境カウンセラー）	※2024年４月設置 （委員長：山田美和 日本貿易振興機構 アジア経済研究所 新領域研究センター 上席主任調査研究員）

持続可能性に関する取組について

「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」（持続可能性方針）の概要



People（いのち、ひと、健康、福祉）
生態系を構成するすべての「いのち」を守り育てることの大切さを訴求する。

Planet（生態系、環境）
国際的合意（パリ協定、大阪ブルー・オーシャン・ビジョン、昆明・モントリオール生物多様性枠組）の実現に寄与する会場整備・運営を目指す。

Prosperity（サプライチェーン、バリューチェーン）
「もの」だけでなく、「生活」を豊かにし、可能性を広げることにつながる社会や環境に関する知見をレガシーとして、次世代に継承する。

Peace（平和、公正、インクルーシブネス）
多様な人々が積極的に、また安心して参加できる環境を整えるとともに、大阪・関西万博からテーマに基づく多様な考え方を発信できるよう、一人一人を尊重したインクルーシブな万博運営を目指す。

Partnership（協働）
誰もが参加でき、自由にアイディアを交わせる機会を提供する。その中で一人一人がつながりコミュニティが形成されることを目指す。

持続可能性有識者委員会でご議論いただき、2022年4月27日に決定、公表した「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」に基づいてマネジメントシステムを構築。

持続可能性に関する取組について

持続可能な大阪・関西万博開催に向けた行動計画（開催前報告書）目次

https://www.expo2025.or.jp/overview/sustainability/

第１章　はじめに

1.1　大阪・関西万博が目指すもの
1.2　博覧会協会の組織運営における統治原則
1.3　持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針
1.4　持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針とSDGs
1.5　持続可能性に配慮した運営
1.6　行動計画の適用範囲
1.7　大阪・関西万博のこれまでの準備状況

第２章　ISO20121に則した持続可能性マネジメントシステム

2.1　ISO20121に則した持続可能性マネジメントシステム

第３章　持続可能な万博の運営にむけた指標・取組

3.1　People（いのち、ひと、健康、福祉）
3.2　Planet（生態系、環境）
3.3　Prosperity（サプライチェーン、バリューチェーン）
3.4　Peace（平和、公正、インクルーシブネス）
3.5　Partnership（協働）

第４章　持続可能な大阪・関西万博全体の指標

別添１　各実施主体（部署）が実施する取組
別添２　公益社団法人2025年日本国際博覧会協会人権方針

別添３　用語集

資料編　目次

１　持続可能性有識者委員会の開催状況
２　GRI内容索引
３　職員の状況

報8-3

持続可能性に関する取組について

EXPO 2025 グリーンビジョン（環境課題に特化したビジョン）概要

https://www.expo2025.or.jp/overview/sustainability/

方針

1. 2025年現在の時点で、先進性、経済性がありつつも採用可能な技術を用いてカーボンニュートラルや循環型社会及び自然共生社会のための取組を行う
2. 政府の計画で掲げている将来の脱炭素社会、循環型社会等を実現するために、2050年を見据えて開発していくべき先進的な技術や仕組みをお見せし、体験いただくための取組を整理していく

脱炭素

国際博覧会及び国内の大規模イベントとして初めてGHGプロトコルに基づいて排出量を推計

目　標：会期中の会場内での排出等の排出量（SCOPE1,2）は、省エネ、排出係数がゼロとなる電力の使用で削減する。
ガス、軽油等の使用については省エネ、電化等で削減し、その他はカーボンクレジットで手当てしてカーボンニュートラル達成を目指す

取　組：以下を4本柱として、未来の技術を披露する
①水素　②再生可能エネルギー
③カーボンリサイクル　④省エネ

資源循環・循環経済

（会場運営（食品、プラ等）関係）

目　標：発生する廃棄物はリデュース・リユースにより最大限削減し、分別した廃棄物は100%リサイクルを目指す

取　組：フードトラックでのリユース食器の利用
給水スポットの設置等によるマイボトルの利用環境整備、電子化による紙の削減
食べきれる量やサイズのメニュー提供　等

（施設設備関係）

目　標：リースの積極的活用、リユースのための仕組みや運営体制を構築し、今後の日本全体の施設設備のリユースの推進に役立つものとなることを目指す。

取　組：リユースマッチングービス「ミャク市！」を構築・運営し、公募入札により施設や大屋根リング、建材・設備等のリユースを実現する。

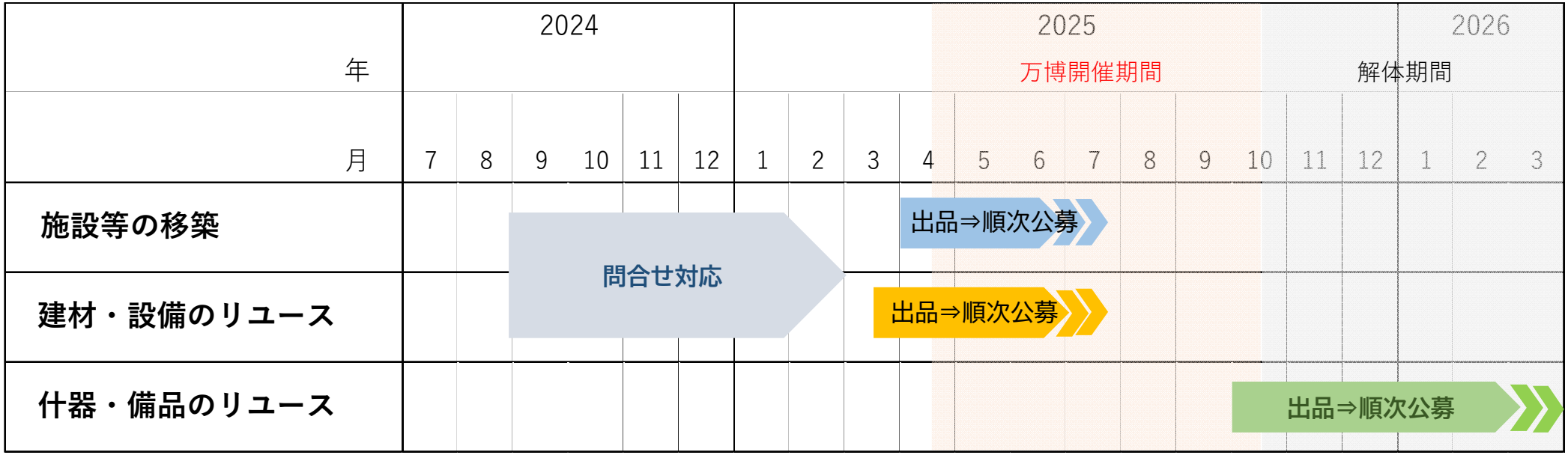
横断的取組（ジュニアSDGsキャンプの取組）

1. 会場内のSDGsの観点からのマップ作成、ツアー実施
2. ①国際交流要素のあるもの、②企業、市民団体等に提供のもの、③会場内にある技術に関するものなどの体験型教育プログラム

報8-4

施設・設備等のリユースについて

- 2024年8月に、万博サーキュラーマーケット「ミャク市！」のサイトを立ち上げ、リユース検討に関する問い合わせ対応などを行い需要開拓に努めてきた。
- 最近では、「大阪関西万博大屋根リング　再利用に関しての説明会」（2025.1.21 大阪府木材連合会主催）や「大阪・関西万博 地方創生シンポジウム」（2025.2.14 内閣官房国際博覧会推進本部事務局主催）などで、万博理念の継承としてのリユースを訴えてきた。
- 2025年3月から、リユースに関する入札・公募等を開始している。



施設・設備等のリユースについて

- 大屋根リング(一部)及び静けさの森の残置等については、2月18日に公表された夢洲第2期区域マスタープランVer1.0(案)において以下の通りとされている。

（大屋根リング）

- 2025年1月に決定した優秀提案では、大屋根リングの一部を残置改修してモニュメントとして活用する提案、大屋根リングを解体し、その部材をリユースし、ベンチやパーゴラなど来街者が触れられる箇所に使用する提案があった。今後、提案内容をベースに、大屋根リングの所有者である博覧会協会及び関係者と協議を進めていく。

（静けさの森）

- 2025年1月に決定した優秀提案では、概ね区域を変更せず樹木を再配置する提案、区域を夢洲駅南側に移設し樹木を再配置する提案があった。今後、提案内容をベースに、静けさの森の所有者である博覧会協会及び関係者と協議を進めていく。

施設・設備等のリユースについて

ミャク市！の説明（お問合わせ方法）







協会に連絡が届く

需要家候補に移設計画・予算等をヒアリング
NDA締結の上、図面等情報提供

適宜出品のうえ、公募を実施

※　引き続き、「ミャク市！」への登録、問い合わせを募集しています。

報告事項９

　チケットの販売状況と機運醸成についての件

現在のチケット販売状況①

○ 現在のチケット販売枚数（売上げ）は、**総計約821万枚**（3月12日時点）。

○ 「万博イヤー」となった年明け以降、パビリオン・イベントの具体的内容の発表、準備が進む会場内の様子の発信、２か月前抽選の開始などにより、公式Web販売を中心に**チケット販売の伸びは加速**。週間販売枚数は年末に比べて数倍のペース。

12月下旬　１週間で1.9万枚増（12/18：744万枚→12/25：746万枚）
３月上旬　１週間で13.7万枚増（ 3/5：807万枚 → 3/12：821万枚）

○ 企業向けを中心とした**直接販売は約640万枚**まで積み上がっている。一般向けを中心とした**公式Web販売は約86万枚**、**旅行会社等による委託販売は約94万枚**。

販売チャネル	販売目標（前売）	現状（3/12）	年末（12/18）
総数	**2300万枚** （1400万枚）	**約821万枚**	**約744万枚**
直接販売		約640万枚	約613万枚
公式web販売		約　86万枚	約　47万枚
旅行会社等委託販売		約　94万枚	約　84万枚

※ **コンビニ等での引換券の販売**は、現段階では総計**１万枚**程度。ネットが得意ではない方やプレゼント需要といったWeb販売の補完との位置付けであり、予約なしでの来場用途が主流であれば、**前売りよりも来場直前から需要が高まるもの**と想定される。

現在のチケット販売状況②

○ また、今の段階では販売実績枚数にカウントされないが、**教育旅行や団体旅行予約の一部として、さらに200万枚程度の販売が現時点で見込**まれている。

- 修学旅行や校外学習といった教育旅行関係の見込数170万枚のうち、既に販売実績に含まれている分を除いた140万枚程度
- 一般向け団体旅行の見込数の一部として60万枚程度

○ これを総計約821万枚に加えれば、**約1021万枚相当**となって、すでに愛・地球博の前売販売の実績939万枚を超えている。

※ 愛・地球博（2005年）の前売販売実績939万枚の内訳
：企業等への販売382万枚＋旅行会社等への販売557万枚

○ 今後も、昨年末に示した**マーケティング戦略に基づく取組を着実に実施**していく。開幕まで残り１ケ月で、**前売券などの駆け込み需要が期待**されるため、もう一段のチケット販売の伸びが見込まれる。

○ また、開幕後も、チケットの買いやすさ向上策や早期来場促進策を活かしつつ、実際の会場での体験を、臨場感をもって広く伝えていくことにより、チケット販売を加速させていく。

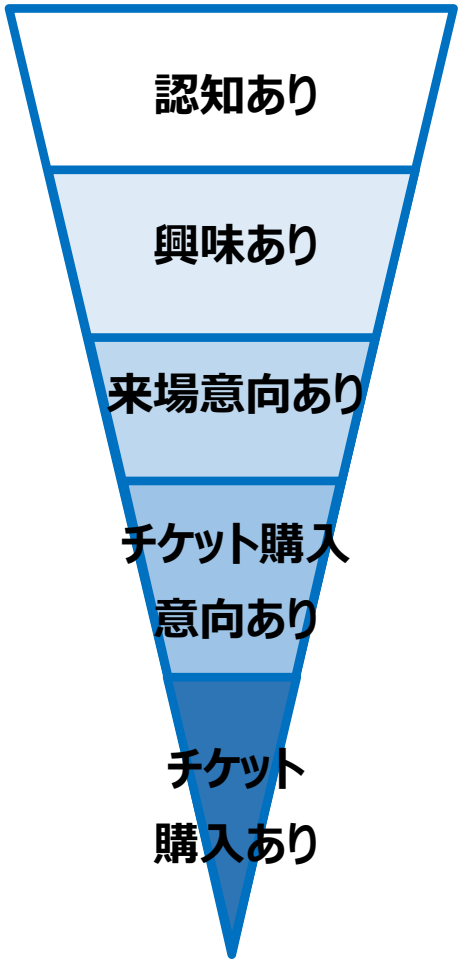
（参考）券種ごとのチケット販売状況

チケット販売枚数（3/12）　**8,206,598枚**

開幕券	226,876枚
前期券	348,958枚
一日券(超早割・早割)	7,285,050枚
特別割引券	35,927枚
通期パス	34,331枚
夏パス	27,031枚
3歳以下無料券	25,449枚
一般団体割引券	5,408枚
前期学校団体割引券	1,678枚
後期学校団体割引券	623枚
こども招待一日券	210,737枚
おとな招待一日券	4,530枚

機運醸成とチケット販売の課題

12月理事会
資料再掲



○ **万博を認知している層がチケットを買わない理由**は、**「万博の内容・魅力・楽しみ方が伝わっていない」**ことに加えて、**「開催地が遠い」**、**「費用」**、**「混雑や暑さなどが心配」**が**４大要因**

○ **来場意向ある層がチケット購入に踏み切らない理由**は、上記の４大要因と並んで、**「まだ早い（タイミング）」**も大きな要因

○ 開幕まで約４ケ月あるため、**多くのユーザーにとって、まだチケット購入を本格的に考える時期になっていない（これは一般的な傾向）**

○ 今後増えていく**来場意向ある層やチケット購入層**にとっては、**チケット購入・予約方法をできるだけわかりやすいものとする**ことも不断に必要

○ このため、ユーザー層ごとのボトルネックに対して、効果的な訴求ポイントを、**地域・年代・関心等でより詳細に分析**して、**チケット購入が本格的に検討される開幕直前期のタイミング**で、チケット購入の喚起に**効果的なコミュニケーション、チケット販売戦略、情報提供などが必要**

今後の対応方針と取組み

12月理事会
資料再掲

来場の動機付け

会期前半への来場誘導

関西圏のリピーター拡大

（１）コミュニケーション戦略

（２）チケット販売・営業戦略

（３）ユーザーフレンドリーな情報提供

（４）会場でのユーザー体験の向上

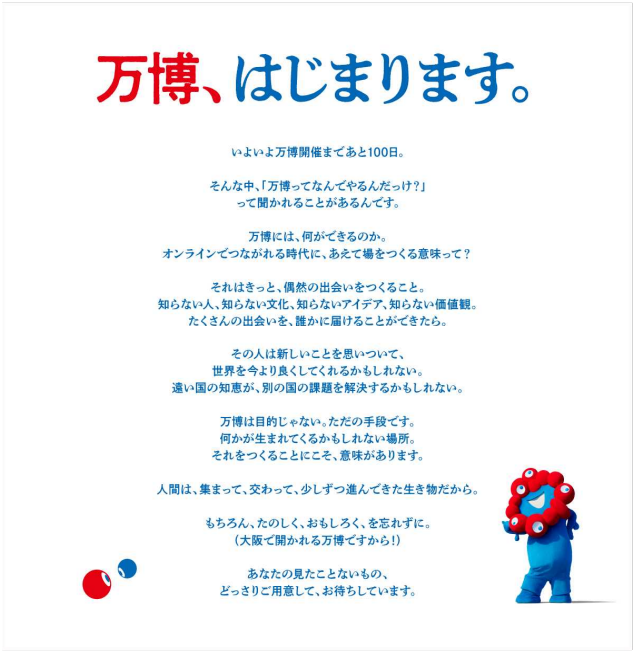
コミュニケーション戦略に基づく取組状況①

＜1月～＞

・正月のメディア特番での会場露出、会場のドローン撮影映像の公開、インターネット広告やスペサポなどからのSNS発信など、**「万博イヤー」を契機とした興味喚起**（1/1～）

・開幕100日前に、**万博の意義を改めて訴求する「ステートメント」**を発信（1/3～）

・**パビリオンや会場の楽しみ方を紹介**する**ショート動画**をSNSなどで順次発信（1/28～）



開幕100日前ステートメント



会場ドローン動画



魅力まとめ
ショート動画



SNS発信
（Xで3600万件以上
表示された投稿もあり）

コミュニケーション戦略に基づく取組状況②

＜２月～＞

・会場シンボルである**大屋根リングの実写画像**を使った**新キービジュアル**を公開（2/10～）

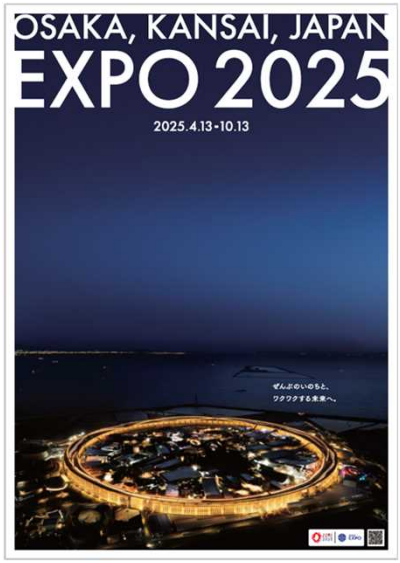
・**ミャクミャクとハローキティの対談**で万博の意義や魅力をわかりやすく伝える**プロモーション動画３編**を使ったインターネット広告、**デジタルサイネージ向け動画７編**の展開（2/10～）

・会場内で『**Pokémon GO**』が楽しめるイベント実施を公表（2/13～）

・**開幕に向けた準備を行う人や会場を撮影した新しいテレビCM**の放送開始（2/22～）

・**スマホなどでの手続きなしでも万博を楽しむことができるガイド**の公表（2/25～）

・「ぴあ」や「小学館」など、多数の**雑誌や新聞とタイアップした万博テーマの特集**（2月～）



キービジュアル



プロモーション動画



テレビCM
（「未来を準備する人たち」篇）



雑誌タイアップ例

コミュニケーション戦略に基づく取組状況③

＜３月～＞

・関西圏の主要な新聞各紙で**最新パンフレットの新聞折込**を実施（3/1～）

・**人気動画クリエーターのHIKAKINさんとSEIKINさん**が、大屋根リングやパビリオンなどを**会場内から臨場感を持って伝える動画をテレビCMなどで発信**（3/7～）

・万博の開幕とチケット販売を訴求する**ラジオCMの放送開始**（３月～）

・「いのち輝く未来社会」をテーマにした**ミャクミャクのテレビアニメ公開**（3/3～6）

・**大屋根リングのギネス世界記録公式認定「最大の木造建築物」**（3/4～）

・会場案内やパビリオン・イベントなどの情報を網羅した**公式ガイドブックの発売**（3/19～）



テレビCM
（「万博からこんにちは」篇）



ミャクミャクのテレビアニメ



ギネス世界記録
公式認定



公式ガイドブック

コミュニケーション戦略に基づく取組状況④

＜今後＞

テレビやラジオの番組、新聞広告、大阪府市など自治体の広報紙、インターネット広告やSNSなど、開幕に向けて、様々な媒体で以下のようなメッセージを発信していく。

- **4月12日で販売終了になるお得な前売券の訴求**
- コンビニ・旅行会社などでの**身近で簡便なチケット購入方法の周知**
- **事前予約なくても多くのパビリオンやイベントを楽しめることの周知**
- 会期後半は混雑が予想されるため、気候も快適な**４～５月（特に平日）の来場促進**
- 開幕直前直後には、**テレビ・ラジオ番組での取り上げによる露出拡大**とともに、**インフルエンサー等による実際の会場でのパビリオン・イベント体験のタイムリーな発信も強化**

チケット販売・営業戦略に基づく取組状況

＜１月～＞

・**コンビニや旅行会社の店頭でチケット販売中であることの周知強化**（１月～）

・旅行会社による会場視察などを通じた、**旅行商品の充実・販売強化**（１月～）

・**大口チケット購入済企業向け説明会での早期来場の働きかけ**（1/17～）

＜２月～＞

・パビリオン・イベント観覧予約の**「２か月前抽選」の開始**（2/13～）

・**ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ・ｽﾀｼﾞｵ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ公式サイトでのチケット購入者**に**万博チケット割引販売**（2/13～）

・**入場チケットの制度改善の公表**（2/25～）

（1）チケットの買いやすさ向上のため、簡単入場チケット「EXPO Quick」の導入（4/13～）

・入場する機能に特化して簡単に購入できる電子チケットを開幕日から販売
（万博IDの登録不要。来場日時指定。来場予約変更やパビリオン等の事前予約はなし）

（2）入場ゲート前での当日券販売（4/13～）

・来場予約状況に応じて、会期中、入場ゲート前で購入できる当日券を販売

（3）早期来場促進のための通期パス割引と各種チケットの使いやすさ改善（4月第１週～）

・４・５月来場者限定で、通期パスの割引販売（大人通常30000円→24000円）

・通期パス等での入場可能時間を拡大（11時から→9時から）　など

＜今後＞

４、５月来場者（特に平日）へのノベルティ配布などのキャンペーン検討　など

コンビニエンスストア店頭でのPR

コンビニで販売中であることを周知徹底するため、ポスターやポップによる露出拡大を実施中。
また、購入端末のTOPページに特設ボタンを設置することで、わかりやすい購入動線を実現。

セブン-イレブン



2月3日～7月31日の6か月間、全国で「引換券販売中」のポスターを掲出



※対象は関西のみ
※常時ではございません



全国約21,000店舗内のマルチコピー機のTOPページに「購入用ボタン」を設置
※チケット販売画面はタイミングにより表示が異なる場合がございます

FamilyMart



全国約10,000店舗に設置の「FamilyMartVision（ファミリーマートビジョン）」での掲出
（2024年10月15～28日）
（2025年3月11～24日）



全国約16,200店舗のマルチコピー機のTOPページに「購入用ボタン」を設置



関西2府4県の約2,600店舗でポスターを掲出予定（2025年4月～）



レジスタッフの名札下に「引換券販売中」のPOPでの告知を3月から関西2府4県の約2,600店舗で実施予定

LAWSON



ローソン近畿・北陸店舗のレジ横モニターにて11月8日、9日にて告知実施



全国店舗のPOSレジモニターにて「引換券販売中」の告知バナーを掲出（2025年3月～）



ミニストップ近畿（大阪、兵庫、京都他）1月1日～4月30日までポスターを掲出予定



全国店舗のLoppi端末のTOPページに「購入用ボタン」を設置（2025年2月25日～）

簡単入場チケット「EXPO Quick」 の購入手順イメージ



※日本語・英語に対応予定

ユーザーフレンドリーな情報提供などの取組状況

１）公式ウェブサイトのデザイン改善

・コンビニや旅行代理店で販売中の**「紙チケット/チケット引換券」の情報を整理**（1月～）
・公式サイトのトップ画面からワンクリックでチケット購入サイト表示など**サイト導線改善**（２月～）
・**購入・予約やログインがしやすくなるよう文言やボタンのデザイン変更**（３月～）

２）スマホなどでの手続きなしでも万博を楽しむことができるガイドの公表

＜ポイント＞

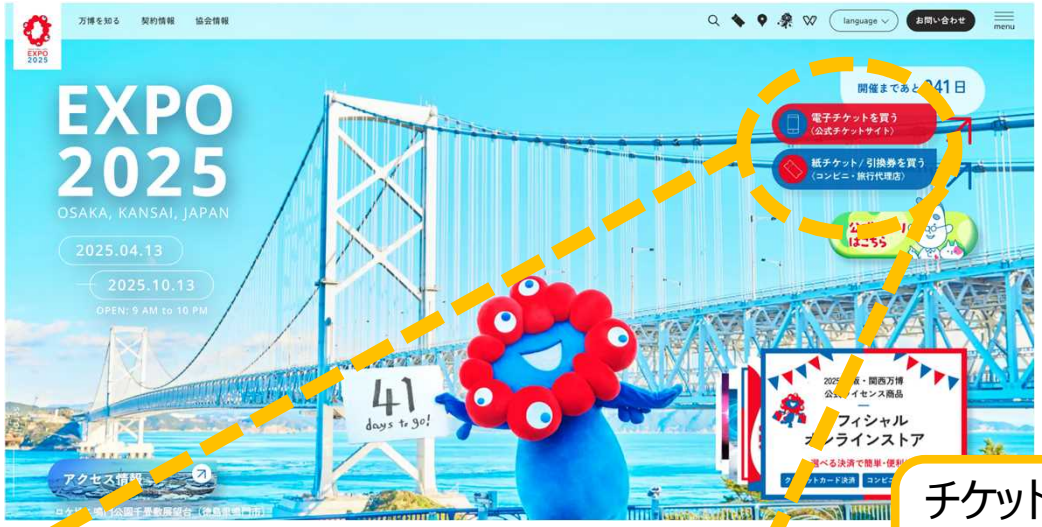
・入場チケットは、**最寄りのコンビニ・旅行会社**で**紙のチケット/引換券**を**来場当日まで**販売
・来場予約状況に応じて、**入場ゲート前での当日券**も販売
・**事前予約なしで多数のパビリオン・イベントを観覧**でき、**会場内で当日登録**（予約）も可能
・会期後半は混雑が予想されるため、**気候もよい会期前半、特に４・５月の来場がおすすめ**

＜今後＞

・公式ウェブサイトや公式アプリ上の**最新情報の更なる整理・充実**
・開幕後は、**会場でのユーザー体験の向上**のため、会場内の混雑状況やパビリオン・イベントの空き情報などのタイムリーな発信、アンケート等を通じた運営の改善　　など

（参考）公式ウェブサイトのデザイン改善の例

＜公式ウェブサイトのトップ画面＞





チケットサイトの購入時の
表現やボタンを整理して
わかりやすく

ワンクリックで
電子チケットの購入サイト
または紙チケット・引換券の
情報まとめサイトへ遷移

＜チケットサイトのトップ画面＞



（参考）パビリオン・イベントの予約

○ 予約システムでは**事前予約枠（２ヵ月前抽選、７日前抽選、３日前からの先着空枠予約）**と**当日登録枠**を設定。予約システムを使わずに**当日の先着順や整理券配布、自由入館**とすることも可能。

○ **抽選対象となるパビリオンのリスト**を**公式ウェブサイトなどで公表**。

○ あわせて、来場前の**事前予約がなくても、多数のパビリオン・イベントを楽しめる**ことの発信も強化。

- 事前予約を活用すれば、確実に観覧することができますが、必須ではありません。
- パビリオンについては、来場前の事前予約がなくとも、全てのパビリオンにおいて十分な当日対応（※）が原則用意される予定です。

※当日対応には、協会システムによる当日登録（予約）での対応、先着順、自由入館など、各パビリオン毎にパターンがあります。
※なお、イベントについては、特定のライブなどは「事前予約」が必須なものがあります。





（参考）「２か月前抽選」と「７日前抽選」の対象パビリオン

〇パビリオン観覧予約の「２か月前抽選」と「７日前抽選」の対象は以下の通りです。

シグネチャーパビリオン

テーマ「いのちを響き合わせる」
Better Co-Being　宮田　裕章

テーマ「いのちを拡げる」
いのちの未来　石黒　浩

テーマ「いのちを高める」
いのちの遊び場 クラゲ館　中島　さち子

テーマ「いのちを磨く」
null2　落合　陽一

テーマ「いのちを知る」
いのち動的平衡館　福岡　伸一

テーマ「いのちを育む」
いのちめぐる冒険　河森　正治

テーマ「いのちをつむぐ」
EARTH MART　小山　薫堂

テーマ「いのちを守る」
Dialogue Theater – いのちのあかし –
河瀬　直美

国内パビリオン

日本館
ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier
大阪ヘルスケアパビリオン
関西パビリオン
未来社会ショーケース 「未来の都市」
未来社会ショーケース　空飛ぶクルマ ステーション
※7日前抽選のみ

民間パビリオン

NTT Pavilion
電力館　可能性のタマゴたち
住友館
パナソニックグループパビリオン「ノモの国」
三菱未来館
よしもと waraii myraii館
※2か月前抽選のみ、対象は5月15日以降
PASONA NATUREVERSE
BLUE OCEAN DOME
GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION
TECH WORLD
ガスパビリオン　おばけワンダーランド
飯田グループ×大阪公立大学共同出展館

海外パビリオン

アラブ首長国連邦館
※2か月前抽選・7日前抽選の対象は5月25日まで
イタリア館
※7日前抽選のみ、対象は5月31日まで
オーストラリア館
オランダ館
カナダ館
クウェート館
※7日前抽選のみ、対象は4月14日以降
セルビア館
タイ館
大韓民国館
※2か月前抽選の対象は5月19日以降
ハンガリー館
ブラジル館
ポーランド館
ポルトガル館
国際赤十字・赤新月運動館
国連パビリオン

（2025年3月13日時点）

インバウンド向けの取組み

【前　提】

来場者想定2820万人のうち、インバウンドは350万人を見込み

（参考）日本へのインバウンド上位10国・地域

：韓国、台湾、中国、香港、米国、タイ、フィリピン、豪州、シンガポール

【主要な取組み】

１）販売チャネルの拡充

○ 公式ウェブサイトの多言語対応に加えて、簡単入場チケット「EXPO Quick」の英語対応の準備
○ チケットの委託販売を実施する海外旅行会社・チケット会社の販売チャネルを拡充中

２）PRツールの整備・充実

○ 多言語でのパンフレット、ホームページ自動翻訳機能、プレゼン資料、動画などを整備
○ ＳＮＳ発信について、英語に加えて中国語や韓国語への翻訳・地元サイトへの投稿
○ 海外インフルエンサーの活用などを検討

３）海外向け万博PR

○ 主要な旅行博覧会、主要な日本関連イベントで、JNTO、大阪観光局、関西観光本部、JETRO、公式参加国・地域・国際機関、在外日本大使館等と連携してPR実施
○ 日本にいる留学生をはじめとする外国の方からの発信の強化

４）海外メディアとの連携

○ プレスツアー、メディア招へい、広告出稿　　など